



CORE

取付・設置説明書

もくじ

安全上のご注意	1
取付・設置の前に	3
取付・設置のながれ	5
1 組み付けの準備	7
2 ユニットの連結	9
3 ユニットの固定と仕上げ	27
4 オプションの取り付け	53
取付・設置の後に	94
ホルムアルデヒド発散区分	94
VOC放散性能	裏表紙

本書の読みかた

- 本書では、COREの組み立て方法を、次のユニット構成を例に説明しています。
お客様のご注文内容によってユニット構成は異なります。ユニットの増減がある場合は、適宜読み替えて使用してください。
 - ・シンクユニット
 - ・引き出しユニット
 - ・加熱機器ユニット
- 組み立て説明ではタイプにより、異なる補足説明を行っている手順があります。
以下のマークの箇所は、タイプ特有の注意事項や手順が記載されています。マークを参考に、タイプに合った取り付けを行ってください。



アイランドタイプの場合



ペニンシュラタイプの場合



オンウォールタイプの場合



- 本製品にはさまざまなオプションを取り付けることができます。組み立て説明の途中で取り付けるタイミングが決まっているオプションは、次のような記載をしています。
該当するページの説明を参照してください。

◀オプション 分岐ヘッダ止水栓 (81ページ参照)



安全上のご注意

取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく行ってください。




■表示内容を無視して誤った取付・設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
 注意	この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。


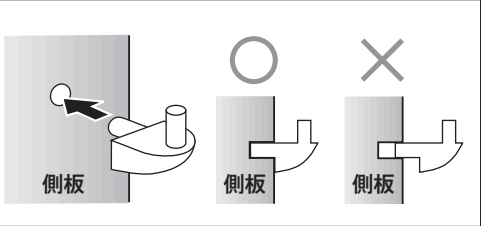

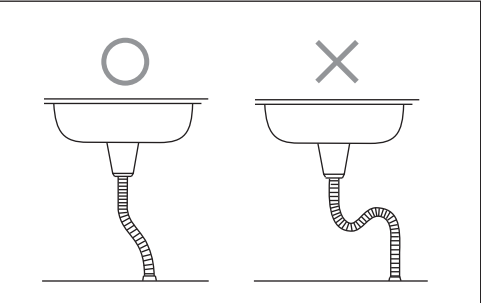
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この図記号は、製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	この図記号は、製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

警告

	ステンレス製品を取り扱うときは、必ず保護手袋をしてください。 切断面にさわると、けがをする恐れがあります。
	ウォールユニット、収納ユニットおよびキッチンパーツの取付・設置は、建築壁の構造を確かめて正しく行ってください。 落下して、けがをする恐れがあります。
	電気工事・ガス工事・水道工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。 火災、感電、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。

注意

	棚板を設置するときは、棚受け（ダボ）をすきまのないよう根元まで確実に差し込んでください。 確実に差し込まれていないと、棚板が外れ、収納物が落下して、けがをする恐れがあります。	
	排水ホースは、U字型に曲げたり、折り曲げて取り付けしないでください。 排水能力が低下してシンクから水があふれ、床を汚す恐れがあります。	

⚠ 注意



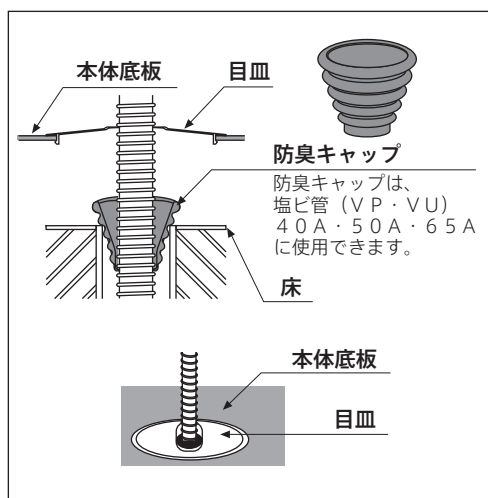
組み込まれる電気機器・水栓については、それぞれの施工説明書および製品本体の表示事項を守り、正しく設置してください。
思わぬ事故や故障の原因になることがあります。



収納ユニットは、必ず壁面に固定してください。
転倒して、けがをする恐れがあります。



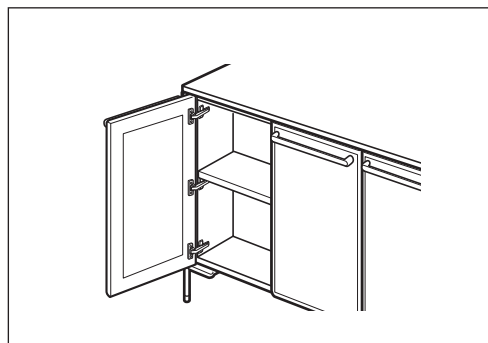
排水器具・排水ホースの取り付けおよび給排水管の接続部分のシールは、確実に行ってください。
水が漏れたり、湿気がこもることによって床等が腐る恐れがあります。



ユニットは脚を軸にして起こしたり、引きずらないでください。
床を傷つけたり、ユニットが破損する恐れがあります。



取付・設置完了後は、扉のがたつきや丁番のゆるみがないことを確認してください。
使用中に扉が落下して、けがをする恐れがあります。



取付・設置前の確認

☐ 注文した製品が納入されていますか？

□取付・設置図および指示どおりに、給水・給湯管、排水管、ガス管、および各機器の電気配線、換気口等が施工されているか確認してください。

☐壁面の取付位置に、取付枠があることを確認してください。

□壁の直角、垂直を確認してください。

☐床の強度、水平レベルを確認してください。

■2D/3Dシンク専用ユニット



○ Lタイプ

水栓取付穴

給湯管

CL 給水管

125 (150※注)

100 150 (120※注)

125 705

40 Aの場合: $\phi 55$ 穴

50 Aの場合: $\phi 65$ 穴

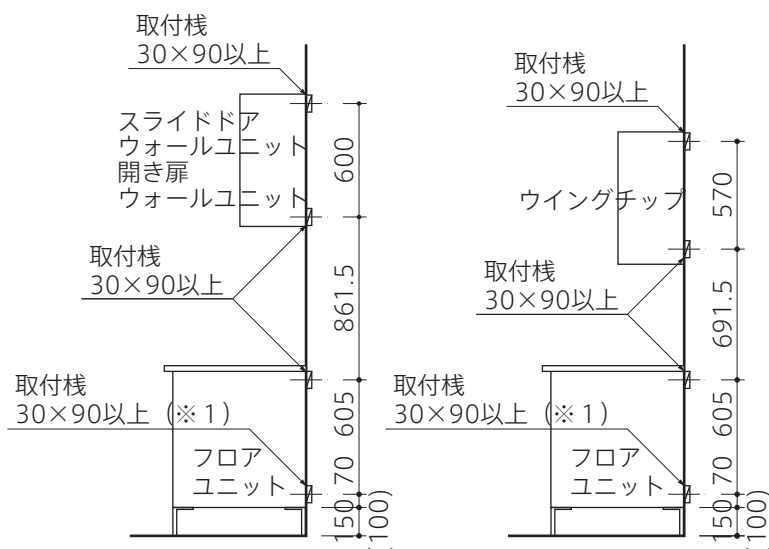
(排水管用)

取付棧位置

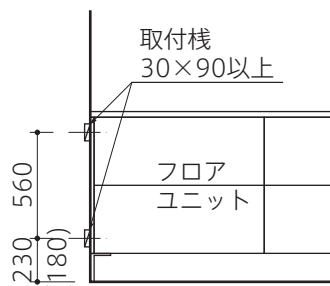
■オンウォールタイプの場合

※ () 内寸法は、A F仕様
【H=100】の場合を示す。

※1 奥行き450・670
トップの場合は不要です。

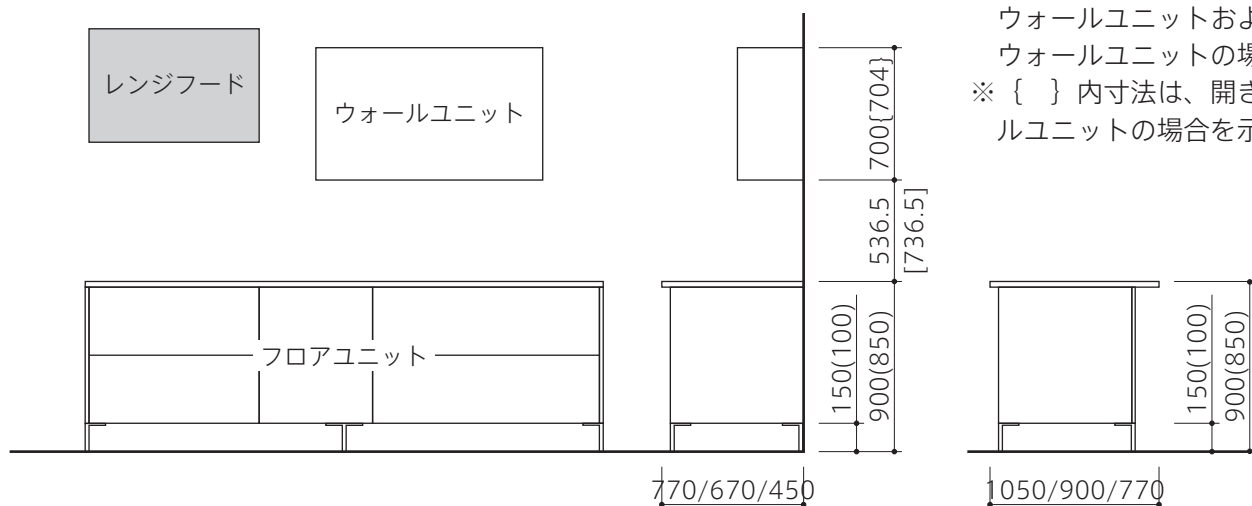


■ペニンシュラタイプの場合



ユニット構成図

4



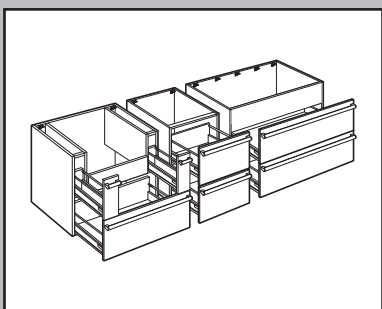
※ () 内寸法は、A F仕様
【H=100】の場合を示す。
※ [] 内寸法は、スライドドア
ウォールユニットおよび開き扉
ウォールユニットの場合を示す。
※ { } 内寸法は、開き扉ウォール
ユニットの場合を示す。

取付・設置のながれ

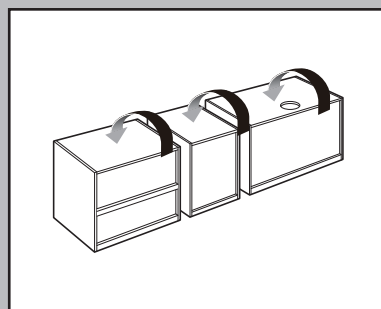
1 組み付けの準備

組み付けを行うための、ユニットの準備を行います。

①引き出し、扉、横棧の取り外し



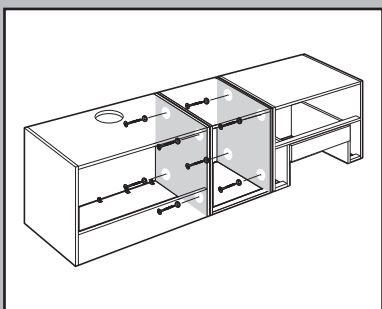
②ユニットを裏返す



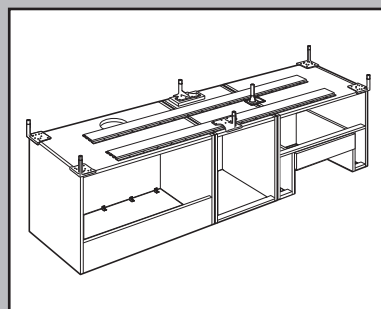
2 ユニットの連結

ユニットを連結し、CORE AFを取り付けます。

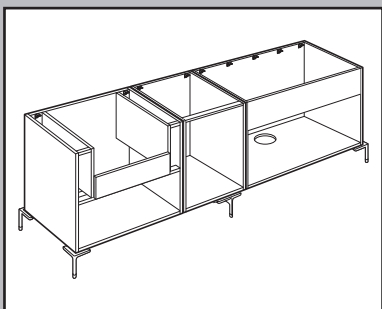
①ユニット同士の連結



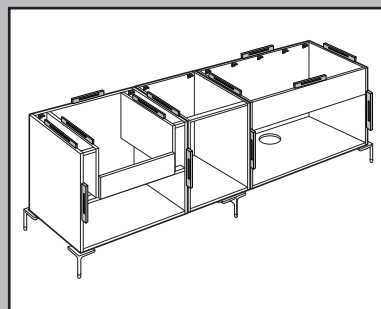
②連結プレート、脚、アジャストパーツの取り付け



③ユニットを元に戻して設置



④レベル調整

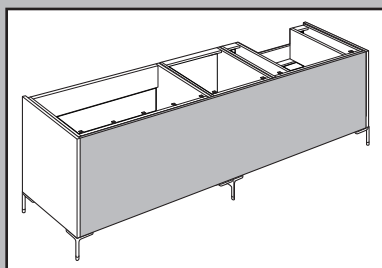


取付・設置作業のながれは次のとおりです。

3 ユニットの固定と仕上げ

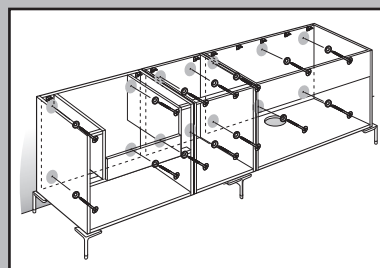
組み付けたユニットを壁面等に固定し、各種パーツを取り付けます。

① パネル関係の取り付け

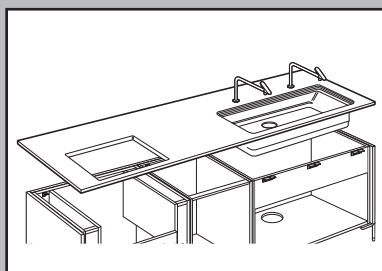


② ユニットを壁面に固定

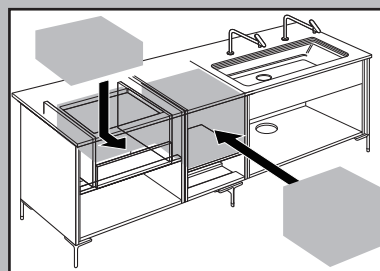
※ペニンシュラタイプ、オンウォールタイプの場合のみ



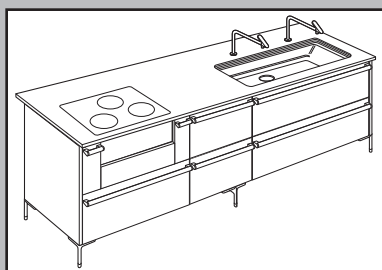
③ ワークトップの取り付け



④ 水栓、排水栓、加熱機器、食洗機等の取り付けと配管



⑤ 横桟、引き出し、扉の取り付け



⑥ 引き出し、扉の調整

◀オプション

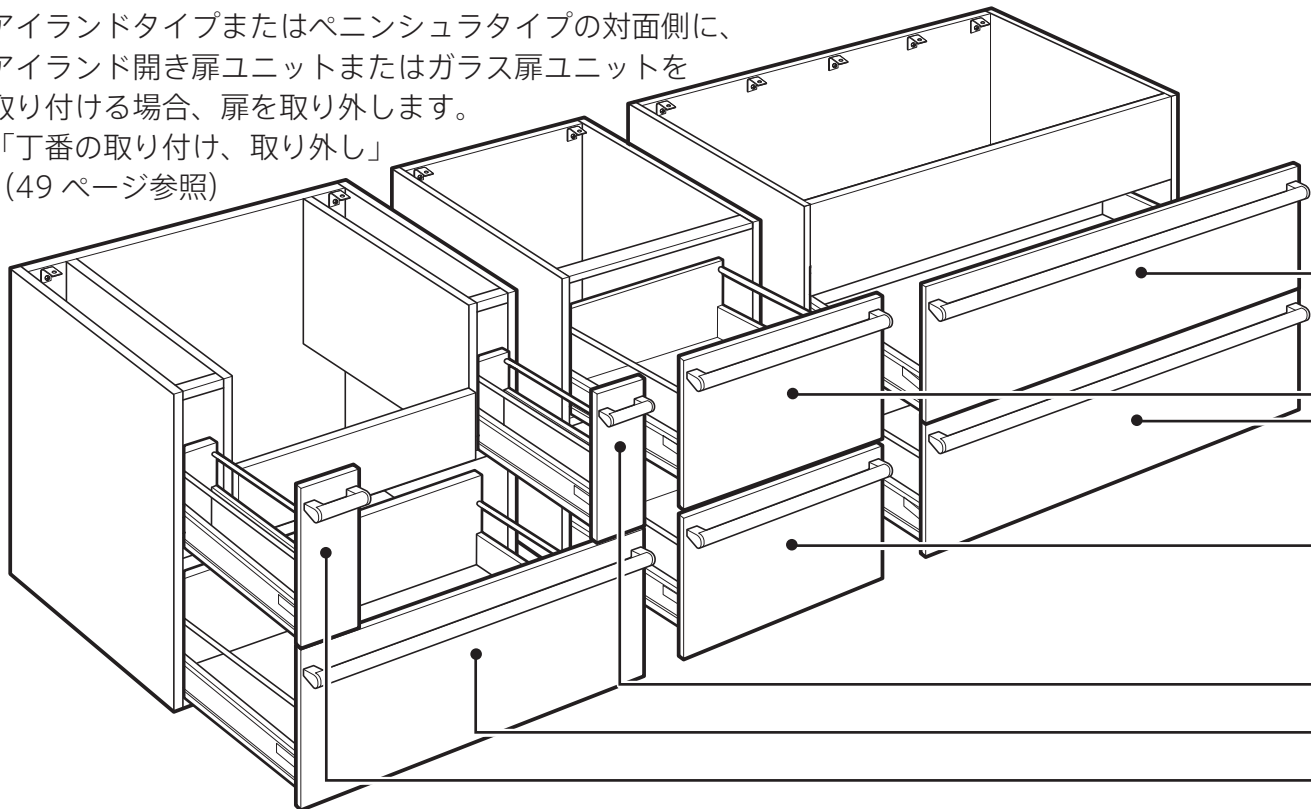
4 オプションの取り付け

ステンレス配管カバー	53ページ	排水隠しカバー	55ページ
配管ボックス			56ページ
プルオープン食器洗い乾燥機ユニット用配管隠しカバー			58ページ
CORE AF	61ページ	食器洗い乾燥機配管図	63ページ
ミーレ食器洗い乾燥機用配管隠しカバー			65ページ
AEG食器洗い乾燥機用配管隠しカバー			67ページ
GAGGENAU食器洗い乾燥機用配管隠しカバー			71ページ
フロントパネル点検口			73ページ
ガスオープンレンジ用配管隠しカバー			75ページ
日立電気オープンレンジ用配管隠しカバー			77ページ
コンセントの取り付け	79ページ	分岐ヘッダ止水栓	81ページ
ベース固定用下地	82ページ	転倒防止パーツ	83ページ
ガラスバックガード	84ページ	リカバリータンク	85ページ
把手	87ページ	クロスギャラリー	88ページ
パイブラックパーツ	89ページ	ステンレス照明カバー・照明器具	91ページ

1 組み付けの準備

1 引き出し、扉を取り外す

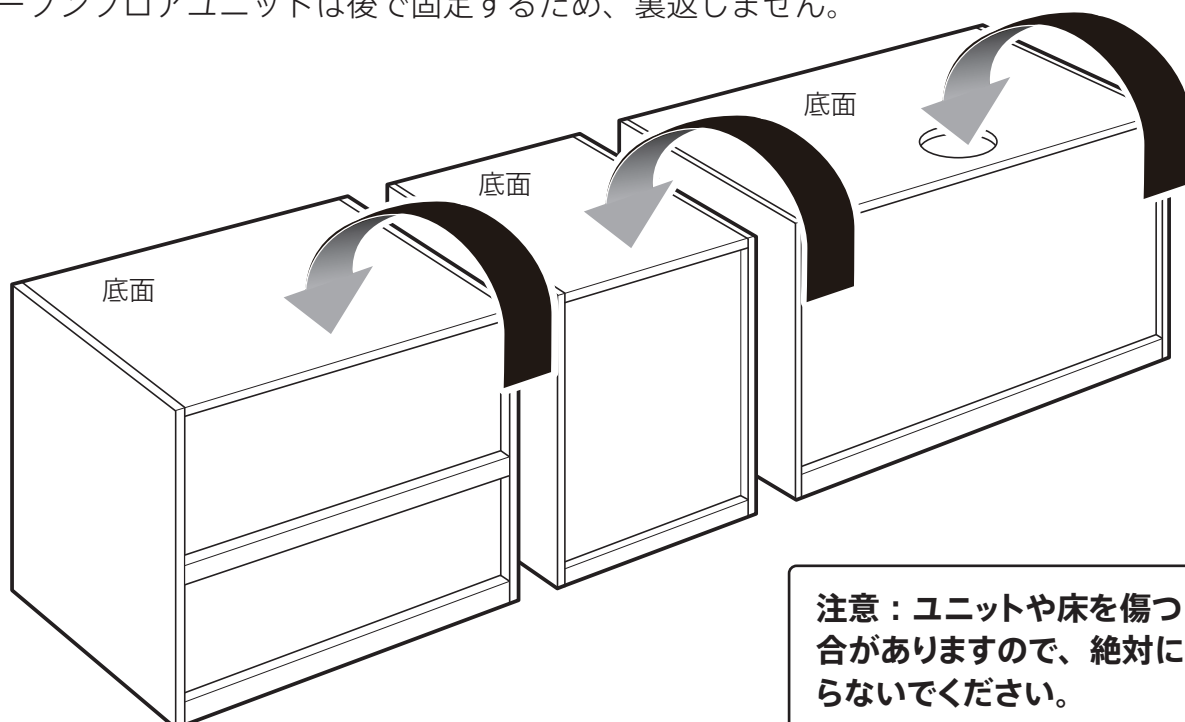
ユニットの引き出しを取り外します。
アイランドタイプまたはペニンシュラタイプの対面側に、
アイランド開き扉ユニットまたはガラス扉ユニットを
取り付ける場合、扉を取り外します。
「丁番の取り付け、取り外し」
(49 ページ参照)



7

3 ユニットの裏返す

ユニットを 180° 回転させ、底面を上にします。
オープンフロアユニットは後で固定するため、裏返しません。



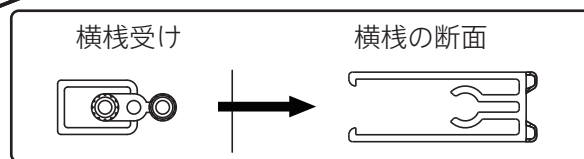
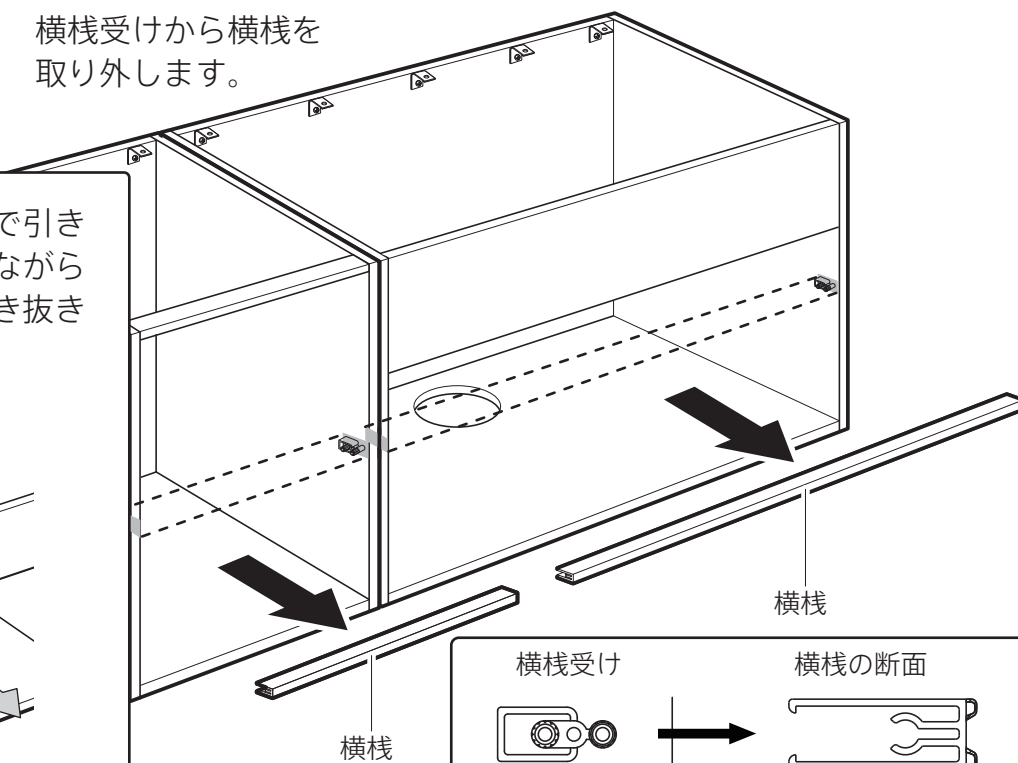
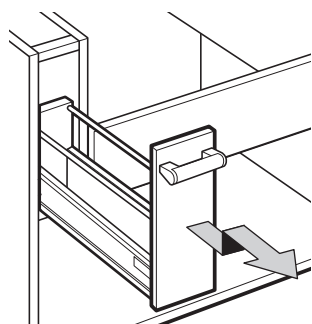
注意：ユニットや床を傷つける場合がありますので、絶対に引きずらないでください。

組み付けを行うための、ユニットの準備を行います。

2 横棧を取り外す

横棧受けから横棧を取り外します。

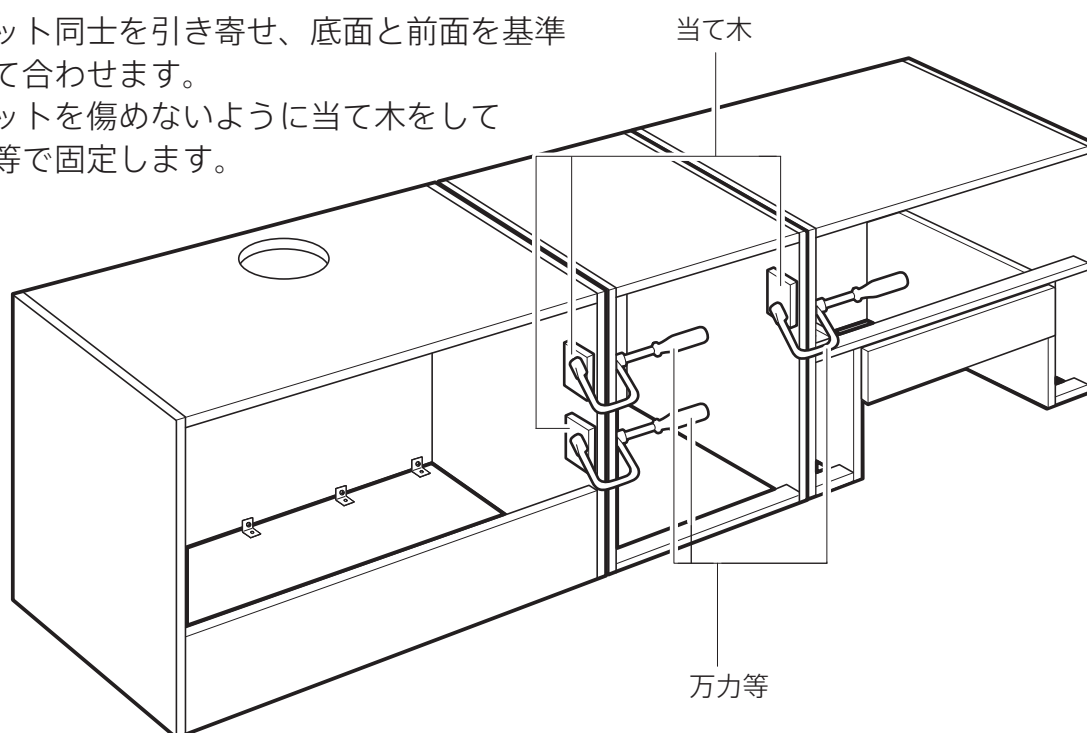
引き出しをいっぱいまで引き出し、手前を持ち上げながら引き出しレールから引き抜きます。



8

4 万力等でユニットを固定する

ユニット同士を引き寄せ、底面と前面を基準にして合わせます。
ユニットを傷めないように当て木をして万力等で固定します。



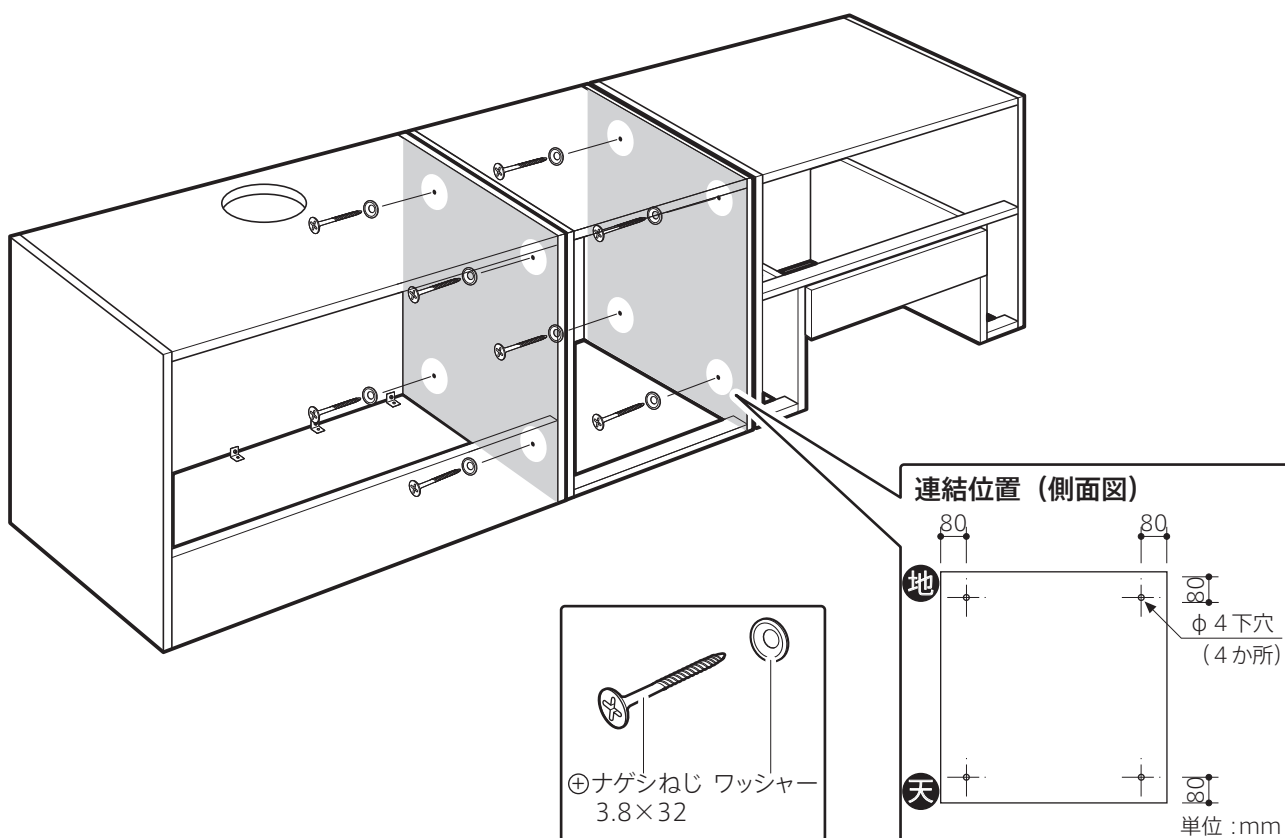
2 ユニットの連結 -1

1 ユニットを連結する

図の位置に下穴を開け、⊕ナゲシねじ（3.8×32）にワッシャーを通して、隣接するユニット同士を連結します。

連結したあと、ヘッドキャップカバーを取り付けます。

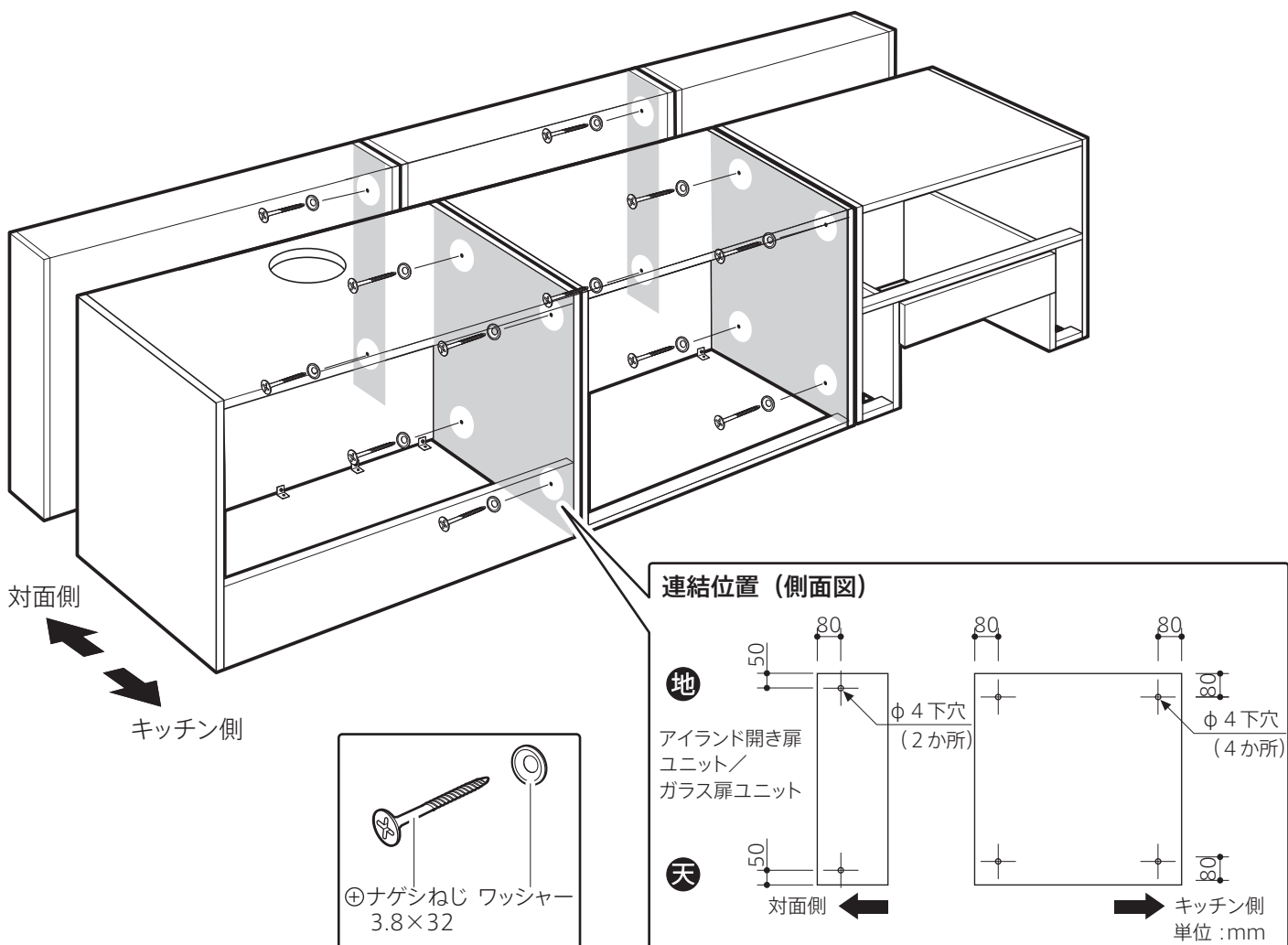
（ねじの位置を示すため、この図では万力等は省略しています）



ユニットを連結し、CORE AF を取り付けます。

アイランドタイプまたはペニンシュラタイプの対面側に、アイランド開き扉ユニット／ガラス扉ユニットを取り付ける場合、図の位置で連結します。

※キッチン側のユニットとアイランド開き扉ユニット／ガラス扉ユニットの幅がそれぞれ同じ場合は、手順2の「アイランド開き扉ユニット／ガラス扉ユニットを取り付ける」作業を先に行っても構いません。



2 ユニットの連結 -2

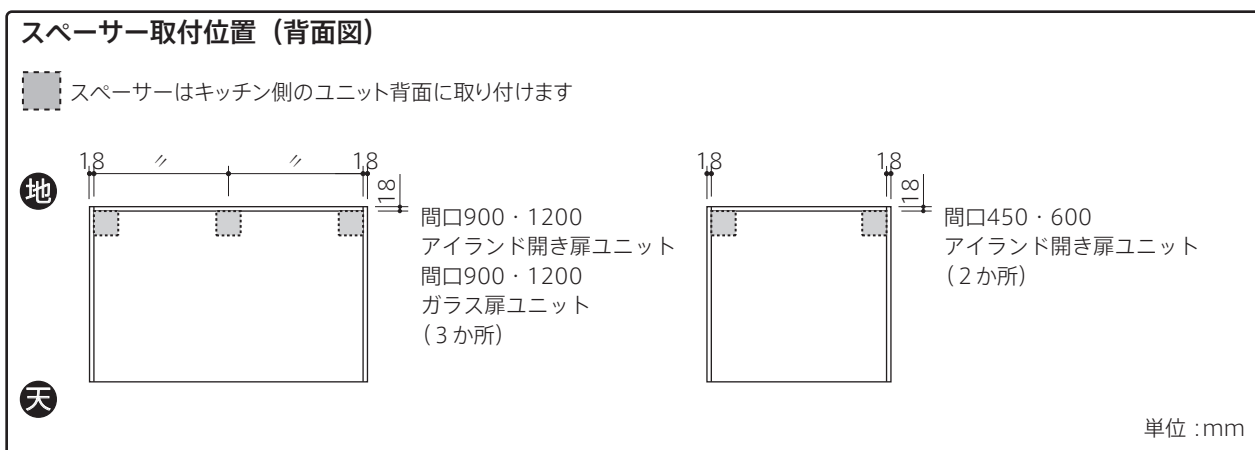
2 アイランド開き扉ユニット／ガラス扉ユニットを取り付ける



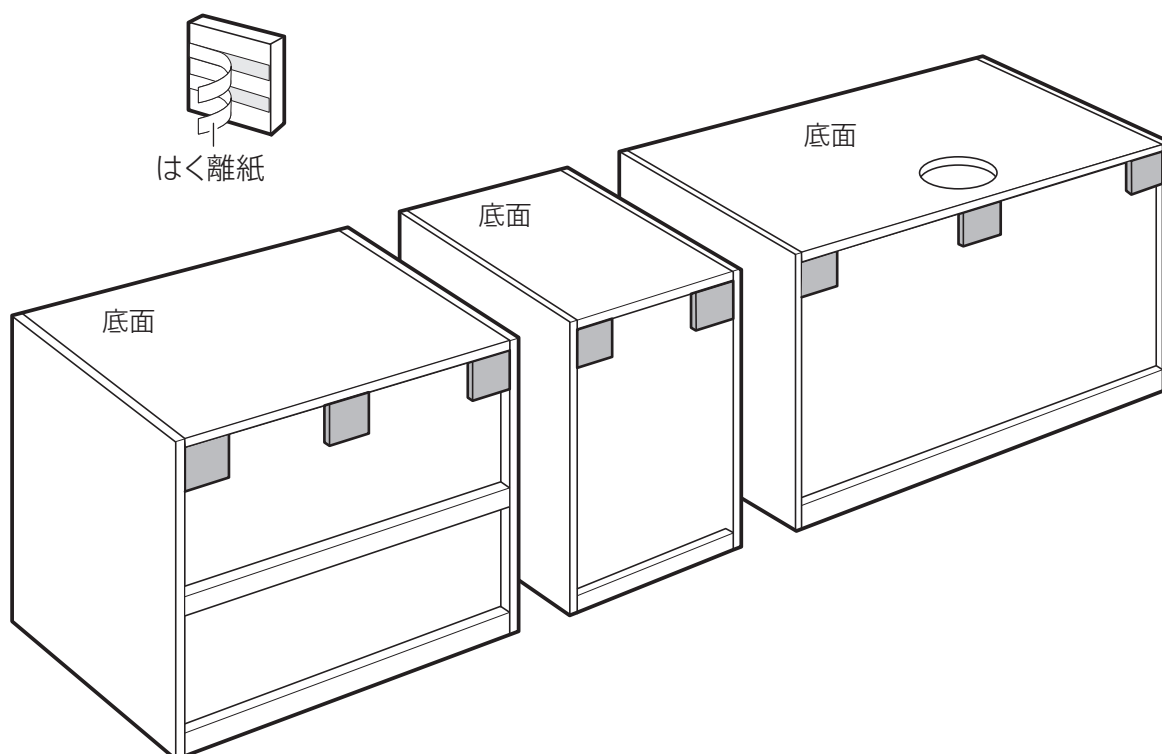
アイランドタイプまたはペニンシュラタイプの対面側に、アイランド開き扉ユニット／ガラス扉ユニットを取り付ける場合、ここでキッチン側のユニットと固定します。

(1) キッチン側のユニット背面に厚さ 18mm のスペーサー（付属品）を両面テープで仮止めする

アイランド開き扉ユニット／ガラス扉ユニットの固定位置に合わせて、キッチン側のユニットに取り付けます。

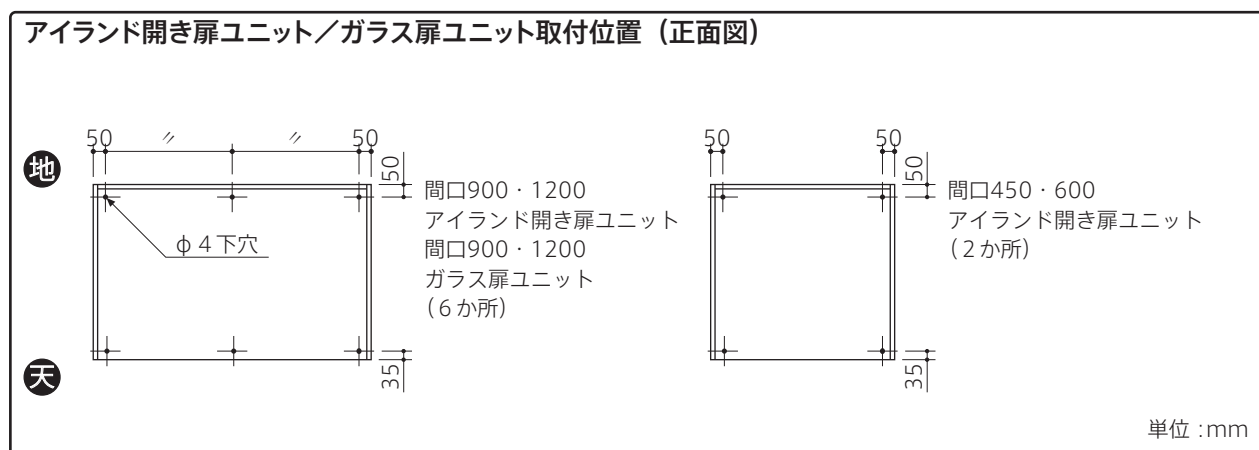


※両面テープのはく離紙をはがして、ユニット背面下部に貼り付けます。



(2) キッチン側のユニット内側から下穴を開ける

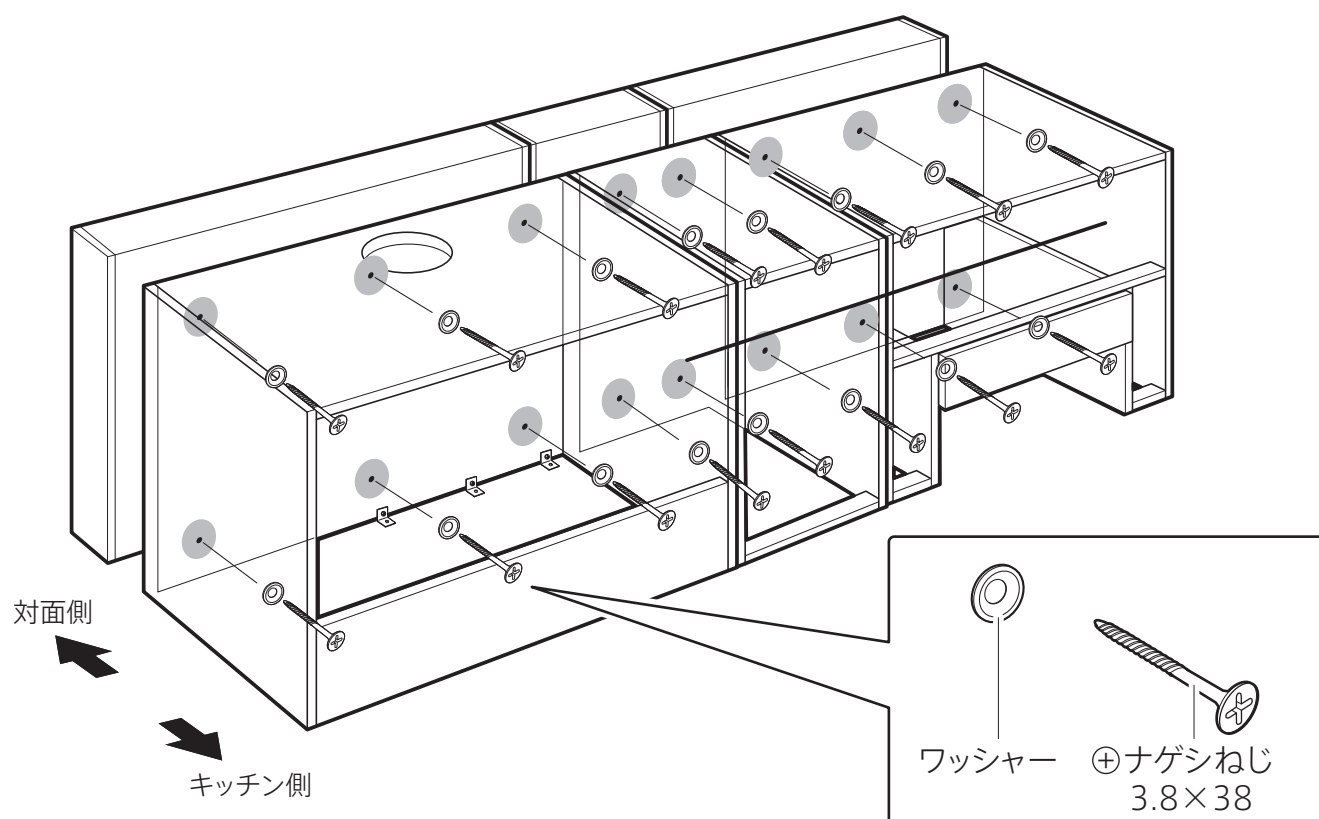
アイランド開き扉ユニット／ガラス扉ユニットの固定位置に合わせて、キッチン側のユニット内側からφ4 下穴を開けます。



(3) アイランド開き扉ユニット／ガラス扉ユニットを固定する

キッチン側のユニットに開けたφ4 下穴から⊕ナゲシねじ（3.8×38）にワッシャーを通してアイランド開き扉ユニット／ガラス扉ユニットを固定します。

固定したあと、ヘッドキャップカバーを取り付けます。

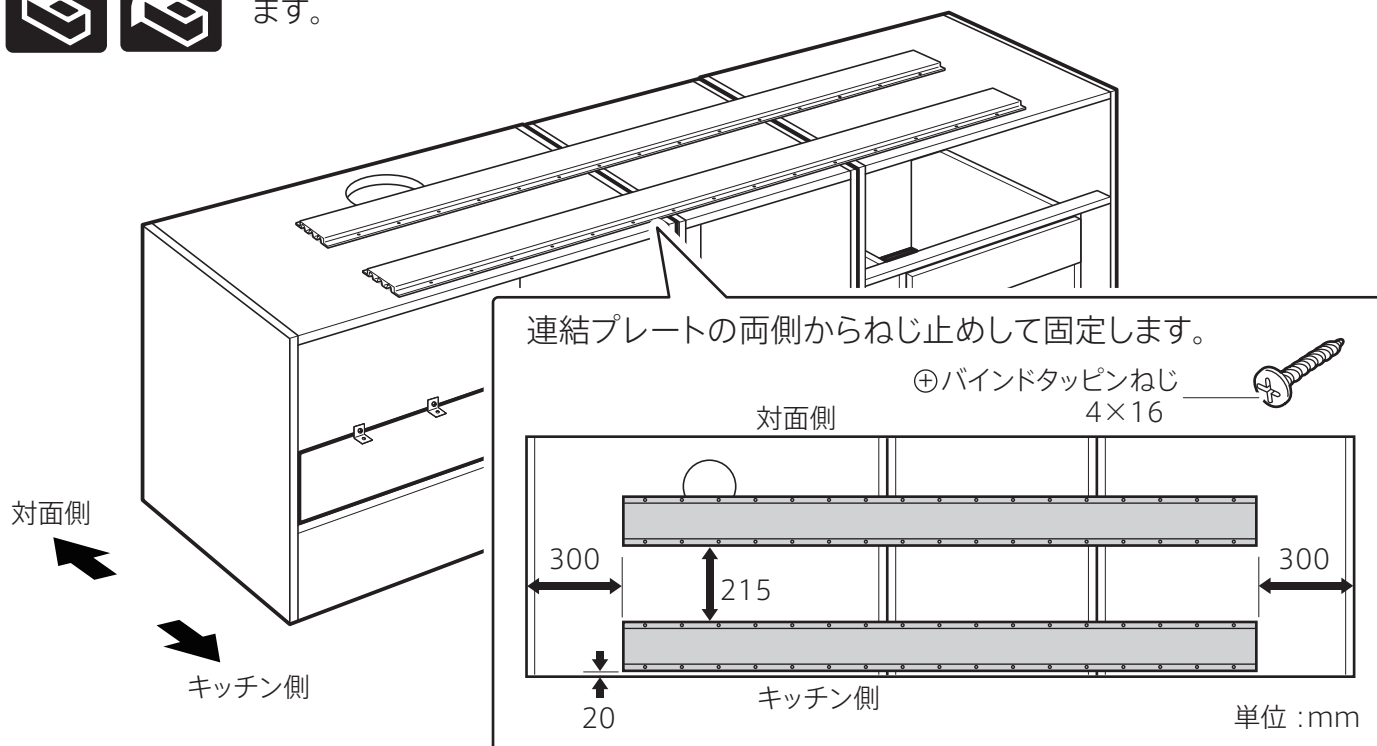


2 ユニットの連結 -3

3 連結プレートを取り付ける



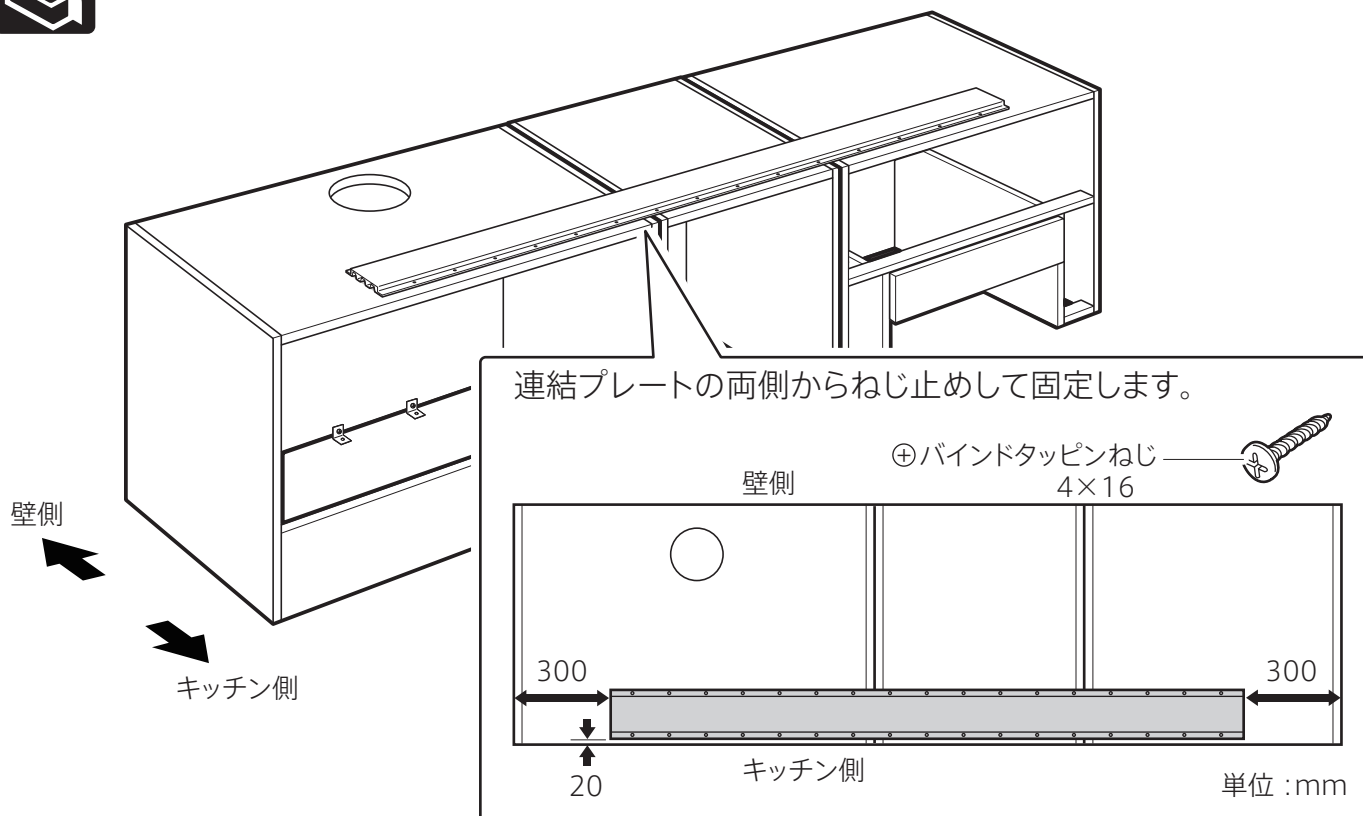
アイランドタイプまたはペニンシュラタイプの場合、連結プレートを 2 本取り付けます。



13

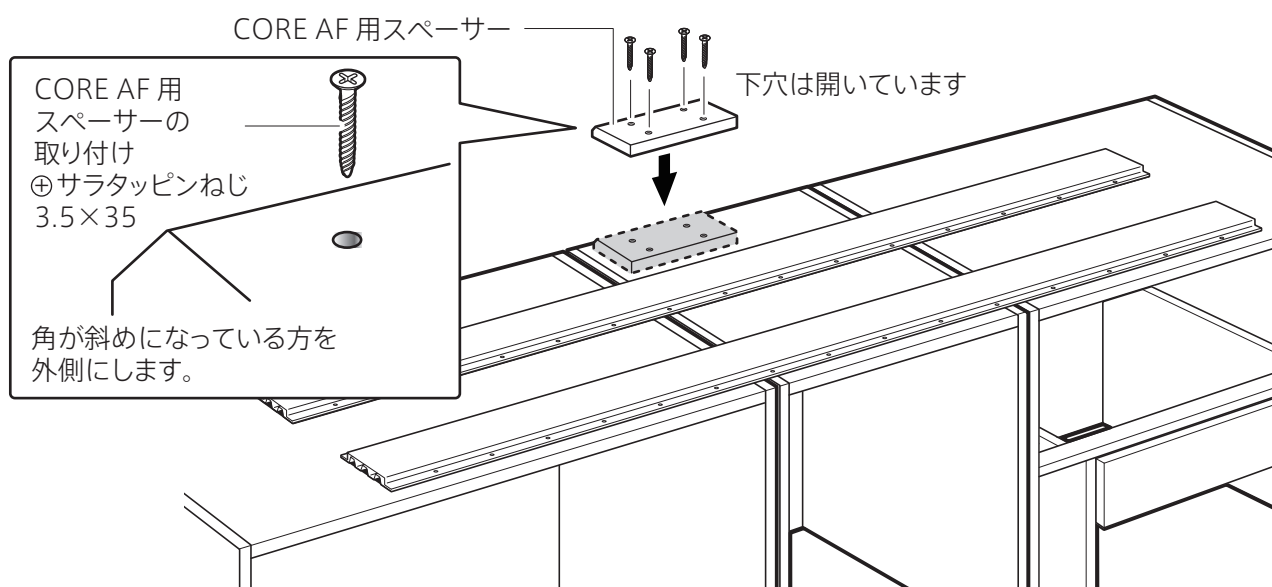


オンウォールタイプの場合、連結プレートを 1 本取り付けます。



4 CORE AF 用スペーサーを取り付ける

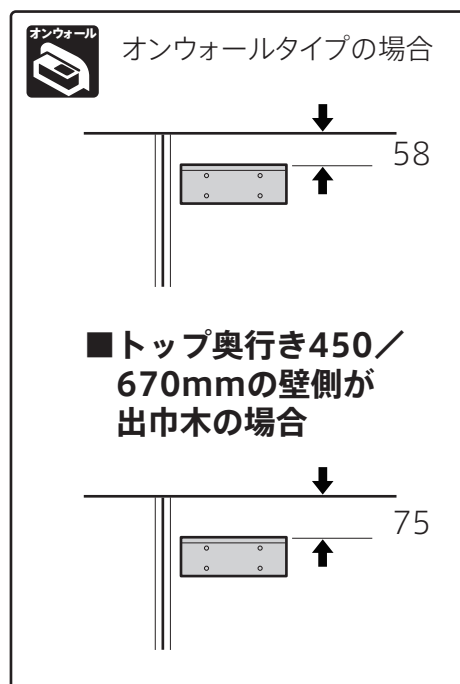
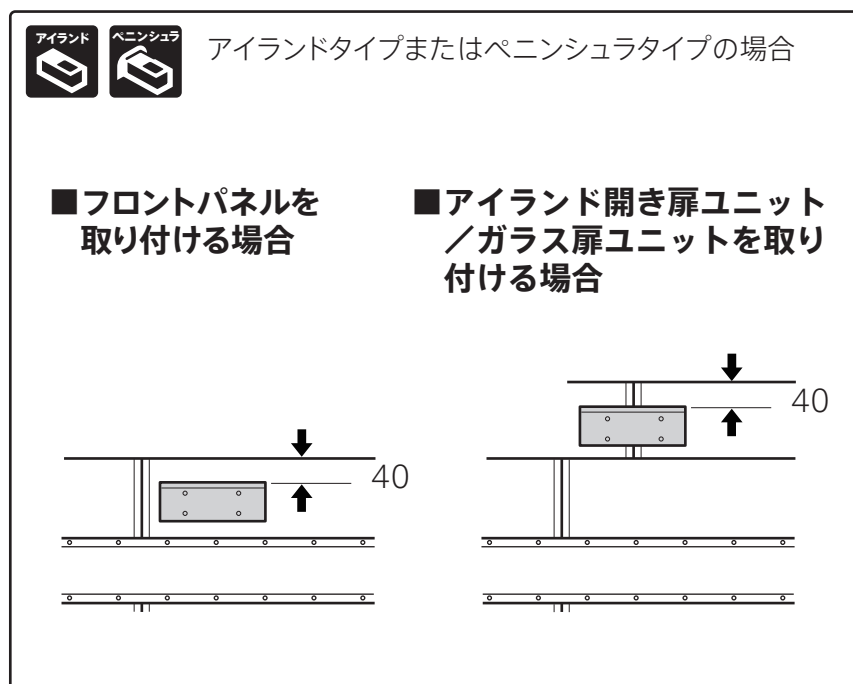
対面側または壁側に CORE AF 用スペーサーを取り付けます。



14

タイプ別の取付位置は次のとおりです。

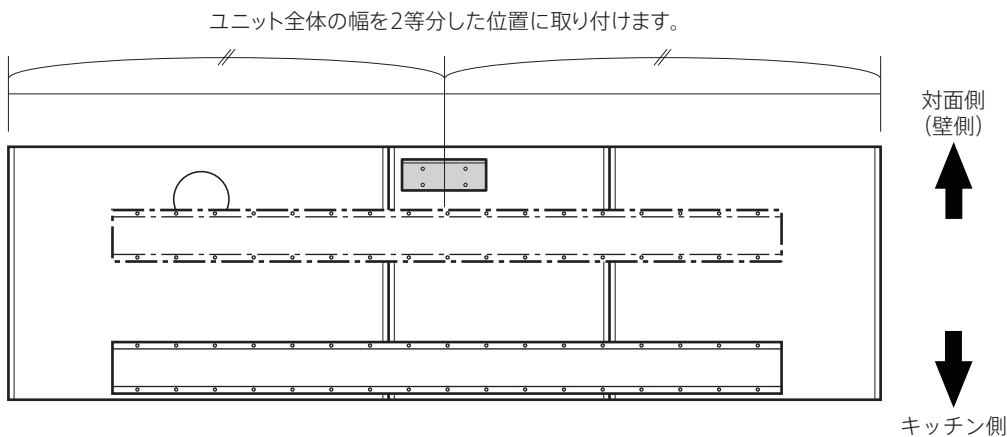
単位 :mm



2 ユニットの連結 -4

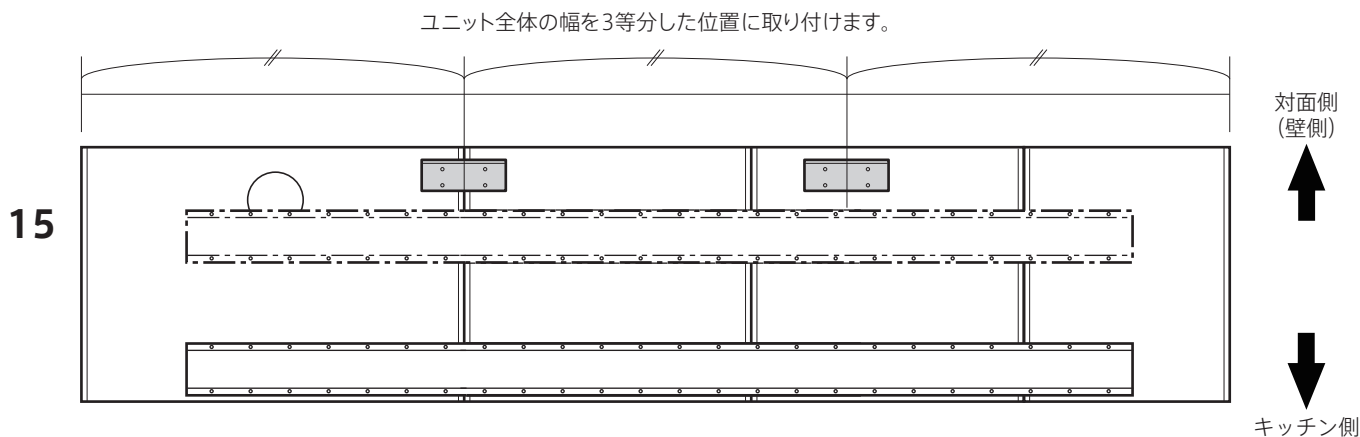
■ユニット全体の幅が2700mm以内の場合

CORE AF 用スペーサーを 1個取り付けます。



■ユニット全体の幅が2700mmを超える場合

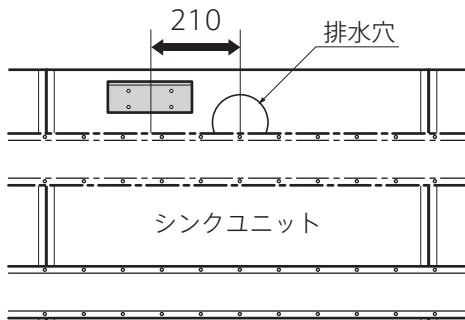
CORE AF 用スペーサーを2 個取り付けます。



■CORE AF用スペーサーが穴や切り欠きに干渉する場合

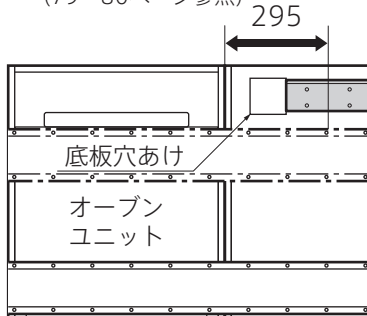
CORE AF 用スペーサーがシンクユニットの排水穴に干渉するときは、左右どちらか 210mmずらして取り付けます。

排水穴のセンターから左右どちらか 210mmずらした位置に取り付けます。



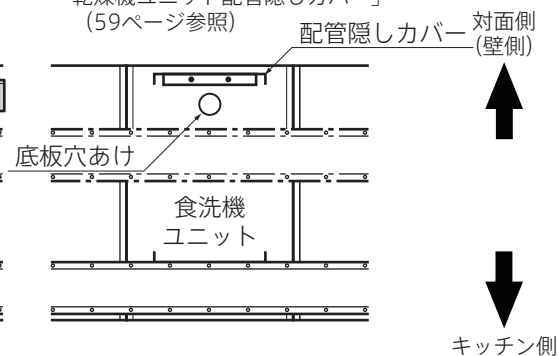
CORE AF 用スペーサーがオープンユニットの隣のユニットの底板穴あけに干渉するときは、ずらして取り付けます。

底板穴あけのすぐ横に取り付けます。
※「コンセントの取り付け」
(79～80ページ参照)



CORE AF 用スペーサーが食洗機ユニットの底板穴あけや配管隠しカバーに干渉するときは、ずらして取り付けます。

※「配管用の穴をあける」(23ページ参照)、「プルオープン食器洗い乾燥機ユニット配管隠しカバー」(59ページ参照)



5 CORE AF を取り付ける

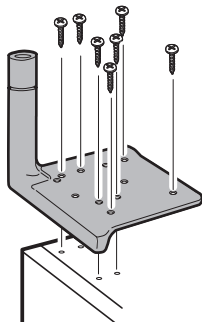
(ミーレ/AEG/GAGGENAU食洗機、オープンレンジ、オープンフロアユニットの場合、61 ページ参照)



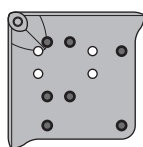
ユニット全体の幅が 2700mm を超える場合、センター用脚は 4 本になります。
センター用脚はユニット全体の幅を 3 等分した位置に取り付けます。
※ペニンシュラタイプの壁側が出巾木になる場合、19 ページ参照

■コーナー用脚 (S) の取り付け [対面側]

⊕ バインドタッピンねじ (4×16) … 7 本



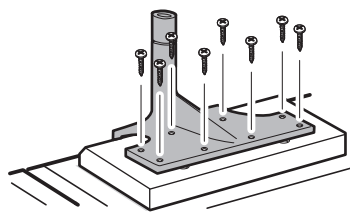
● 印…ねじ固定位置



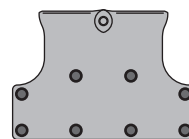
ユニットに開いている下穴 (4ヶ所) 位置を固定後、残りのねじ位置を固定します。

■センター用脚 (S) の取り付け [対面側]

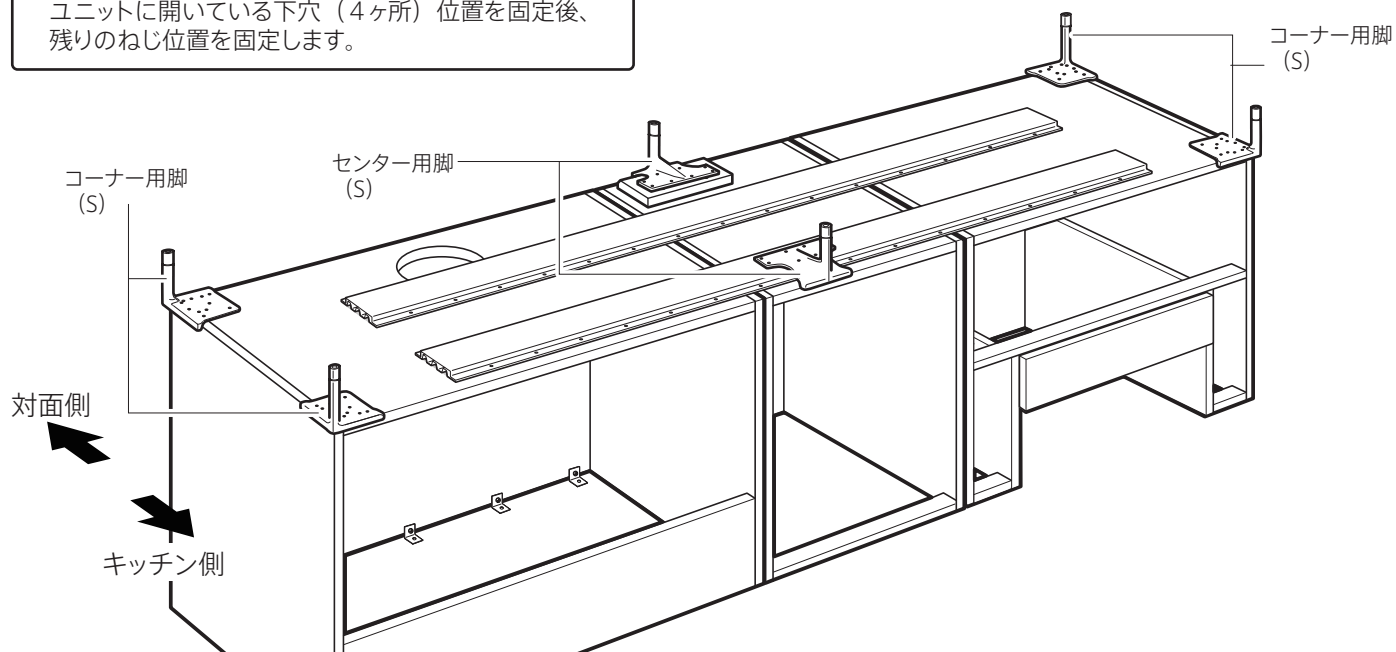
⊕ バインドタッピンねじ (4×16) … 8 本



● 印…ねじ固定位置

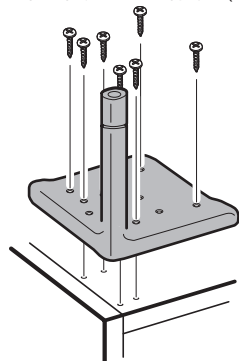


CORE AF 用スペーサーに固定します。

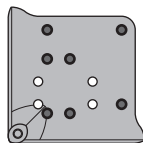


■コーナー用脚 (S) の取り付け [キッチン側]

⊕ バインドタッピンねじ (4×16) … 7 本



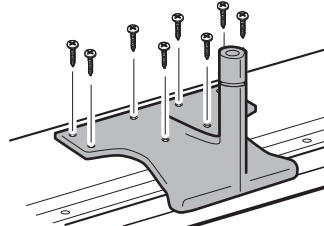
● 印…ねじ固定位置



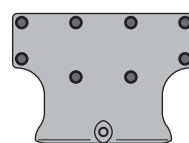
ユニットに開いている下穴 (4ヶ所) 位置を固定後、残りのねじ位置を固定します。

■センター用脚 (S) の取り付け [キッチン側]

⊕ ナベドリルねじ (4×19) … 8 本



● 印…ねじ固定位置



連結プレートのねじ位置にはあらかじめ下穴を開けておきます。(φ 3.5mm)

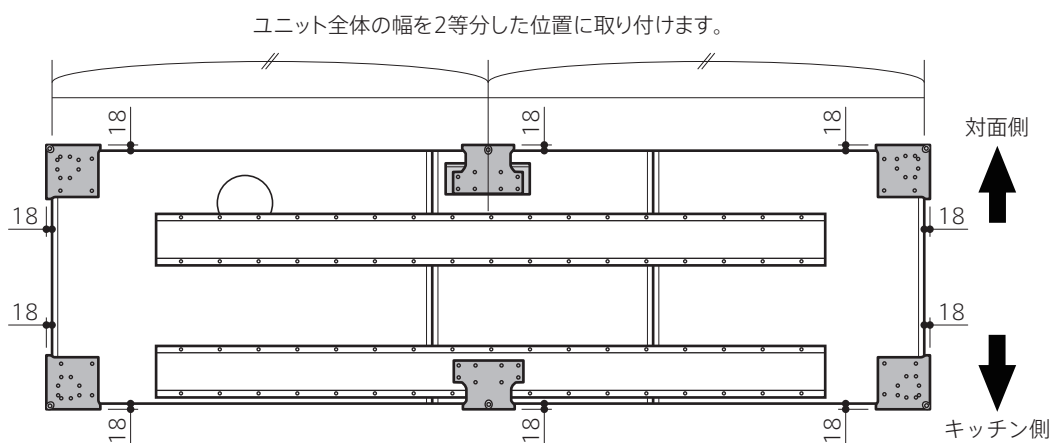
2 ユニットの連結 -5

■底面の位置確認

- ・コーナー用脚はすべて同一の部品です。脚を取り付けると、つめの部分の2辺がユニットから18mm飛び出した状態になります。
- ・センター用脚も取り付けると18mm飛び出した状態になります。

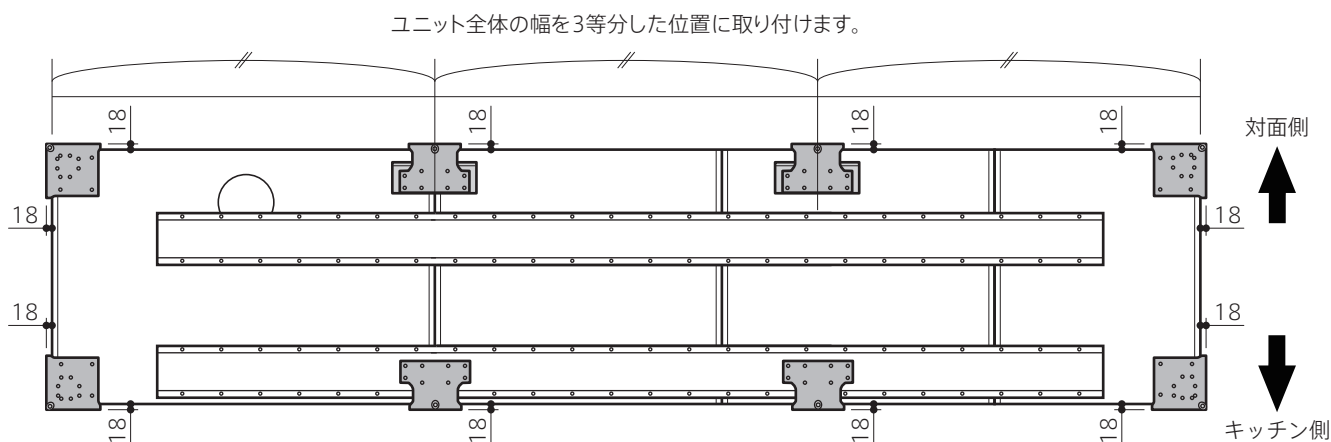
■ユニット全体の幅が2700mm以内の場合

センター用脚を2本取り付けます。



■ユニット全体の幅が2700mmを超える場合

センター用脚を4本取り付けます。

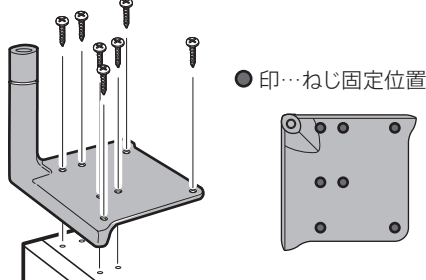




オンウォールタイプの場合、キッチン側の脚と壁側の脚は異なります。
壁側のセンター用脚には裏面に「B」、コーナー用脚には裏面に「R」、「L」と刻印されています。キッチン側とともに図の位置に取り付けます。

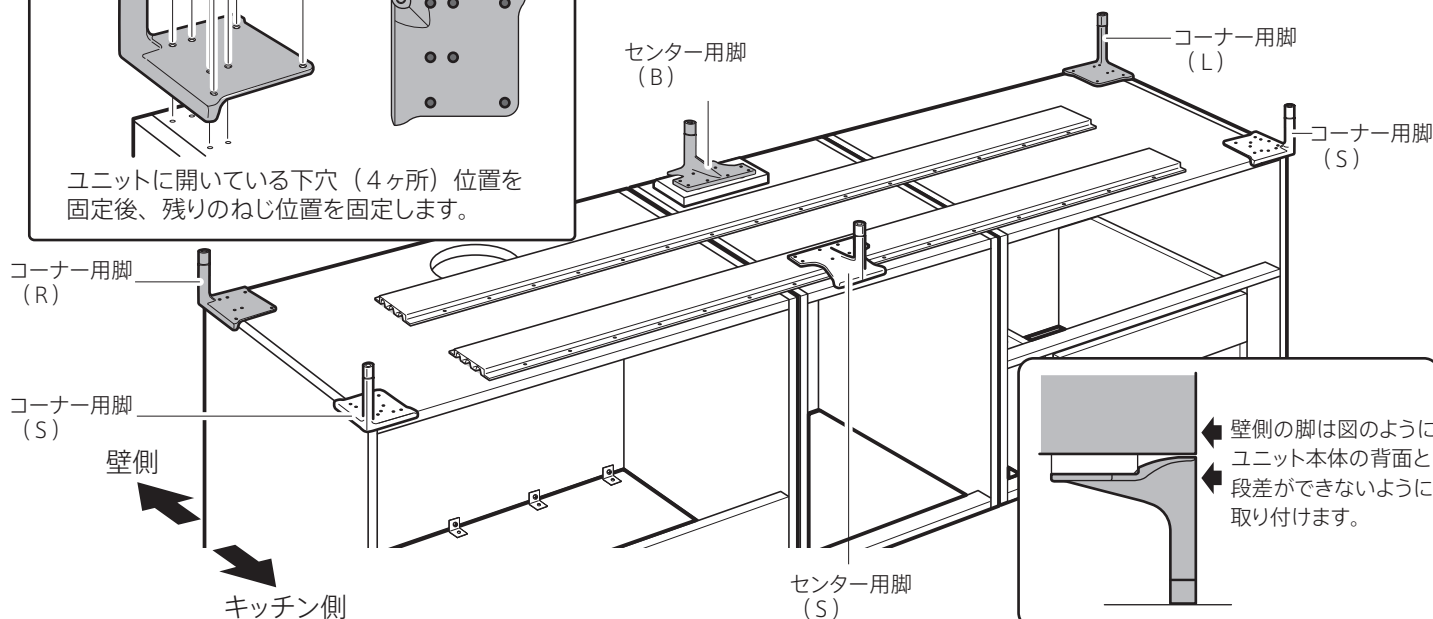
■コーナー用脚 (R) の取り付け [壁側]

⊕ バインドタッピンねじ (4×16) … 7本



ユニットに開いている下穴 (4ヶ所) 位置を固定後、残りのねじ位置を固定します。

※トップ奥行き 450 / 670mm の壁側が出巾木になる場合、19~20 ページ参照



18

■底面の位置確認

・壁側のコーナー用脚は、RとLがあります。取り付け位置は図を参照してください。

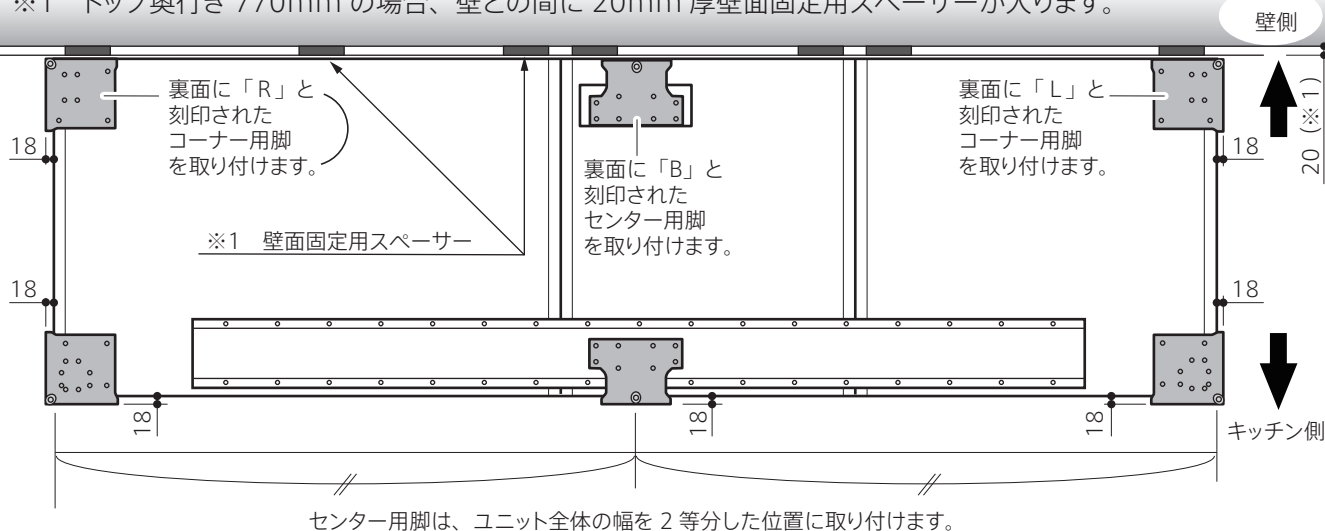
壁側の脚は、壁に接する面をユニットと段差ができないように取り付けます。

※下記のイラストは、ユニット全体の幅が1241~2700mmの場合を示す。

ユニット全体の幅が2700mmを超える場合、ユニット全体の幅を3等分した位置にセンター用脚を取り付けます。

※ユニット全体の幅が490~1240mmの場合、センター用脚と連結プレートは不要です。

※1 トップ奥行き770mmの場合、壁との間に20mm厚壁面固定用スペーサーが入ります。



ペンシユラ



■ペニンシュラタイプの場合

壁側

18

0

裏面に「L」と刻印された
コーナー用脚をユニット側板に
合わせて取り付けます。

0

裏面に「R」と刻印された
コーナー用脚をユニット側板に
合わせて取り付けます。

18

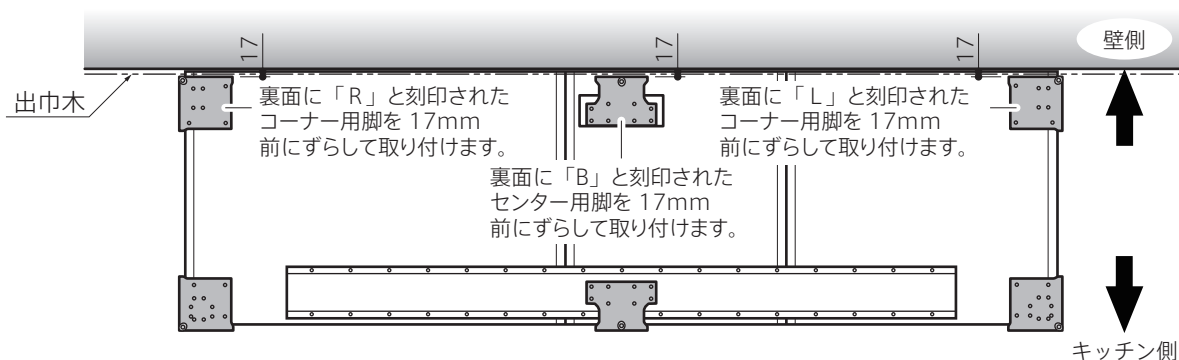
出巾木

対面側

キッチン側

■トップ奥行き450／670mmオンウォールタイプの背面のみ壁の場合

※トップ奥行き770mmの場合、壁との間に20mm厚壁面固定用スペーサーが入るため、脚を前にずらす必要はありません。



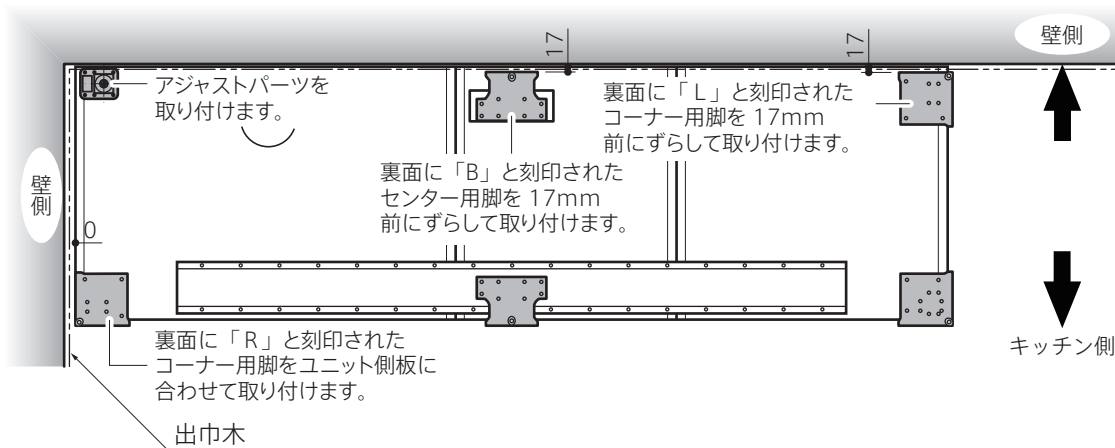
■オンウォールタイプの背面と片側が壁の場合

壁側コーナーはアジャストパーツを取り付けます。

トップ奥行き450/670mmの場合、壁側オープンはコーナー用脚「R」または「L」を17mm前にずらして取り付けます。

トップ奥行き450/670mmの場合、壁側センター用脚を17mm前にずらして取り付けます。

※トップ奥行き770mmの場合、壁との間に20mm厚壁面固定用スペーサーが入るため、脚を前にずらす必要はありません。

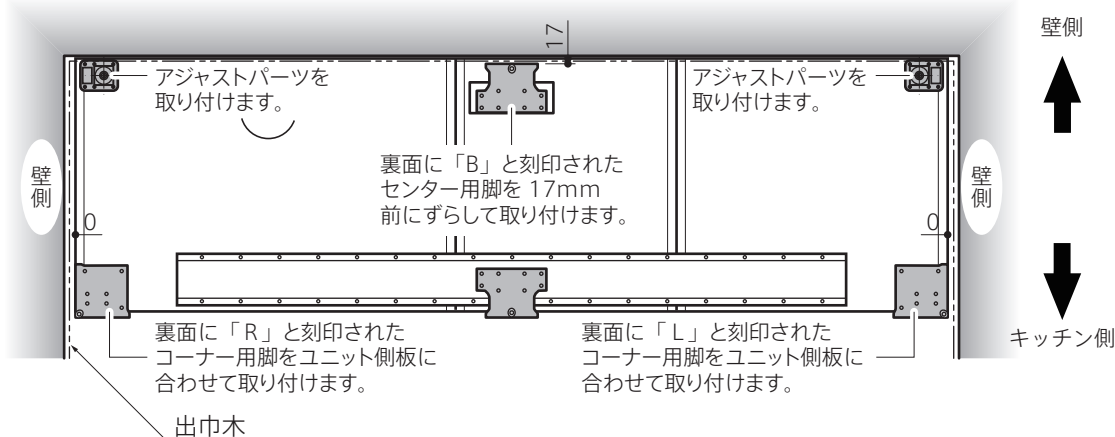


■オンウォールタイプの背面と両側が壁の場合

壁側コーナーはアジャストパーツを取り付けます。

トップ奥行き450/670mmの場合、壁側センター用脚を17mm前にずらして取り付けます。

※トップ奥行き770mmの場合、壁との間に20mm厚壁面固定用スペーサーが入るため、脚を前にずらす必要はありません。

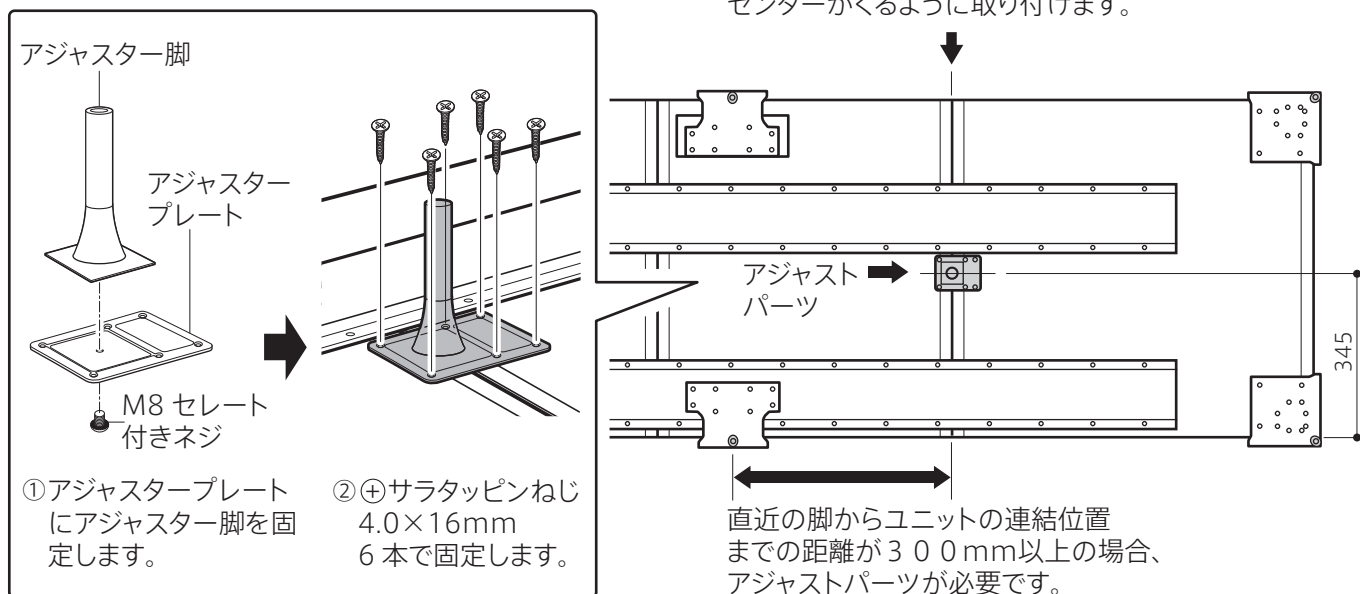


2 ユニットの連結 -7

6 アジャストパーツを取り付ける

■ユニットの連結位置が直近の脚から300mm以上離れている場合

アジャストパーツを取り付けます。



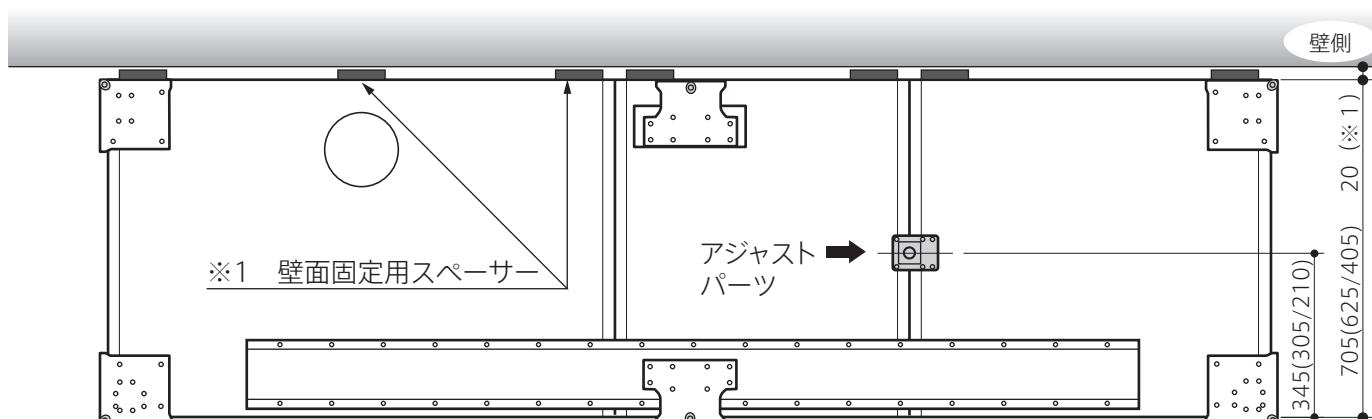
21

■オンウォールタイプの場合

アジャストパーツを取り付けます。

※直近の脚からユニットの連結位置までの距離が300mm以上の場合、間口150mmのユニットがキッチンの端にくる場合のアジャストパーツを取り付ける条件は上記を参照。

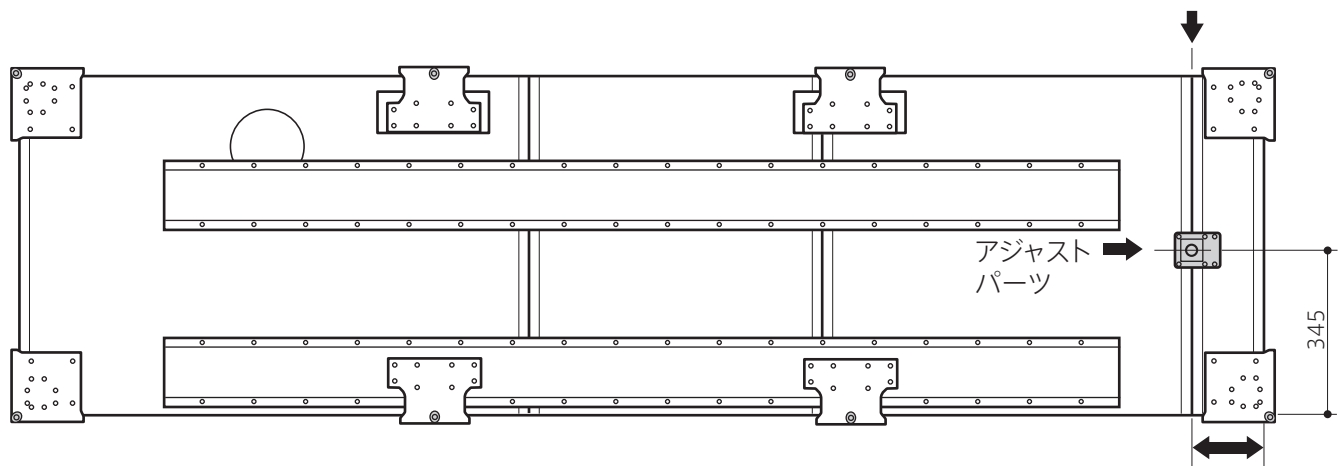
※1 トップ奥行き770mmの場合、壁との間に20mm厚壁面固定用スペーサーが入ります。



■間口 150mm のユニットがキッチンの端にくる場合

アジャストパーツを取り付けます。

ユニットの連結位置にアジャストパーツのセンターがくるように取り付けます。

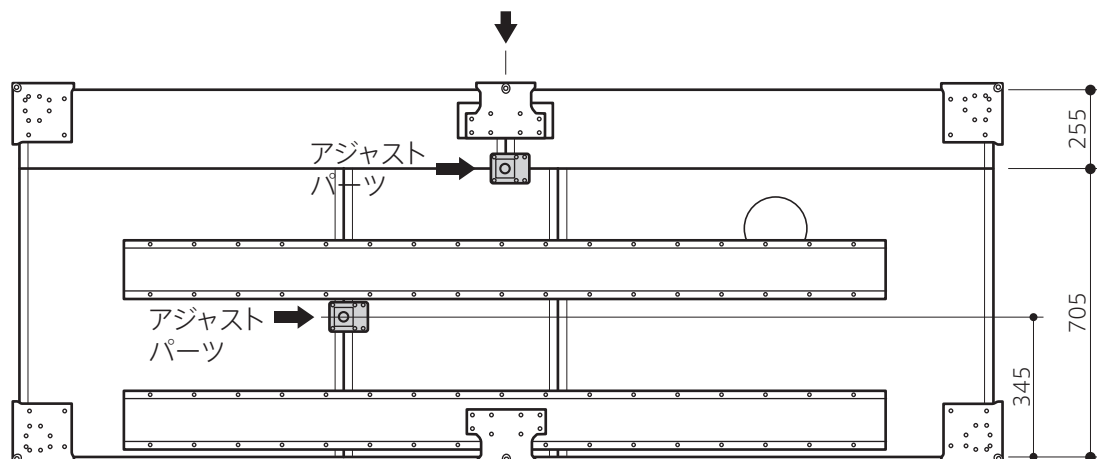


間口150mmのユニットがキッチンの端にくる場合、アジャストパーツが必要です。

■対面側にアイランド開き扉ユニット／ガラス扉ユニットがくる場合

アジャストパーツを取り付けます。

対面側のユニットの連結位置にアジャストパーツのセンターがくるように取り付けます。



2 ユニットの連結 -8

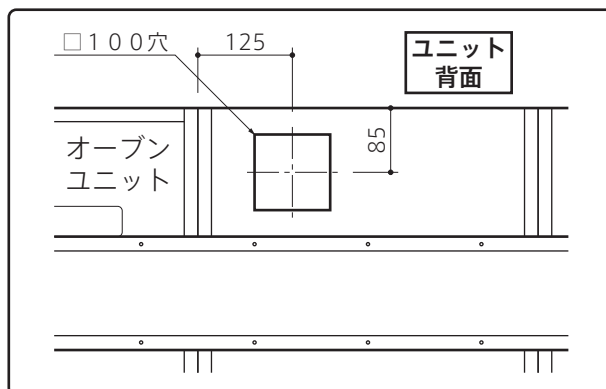
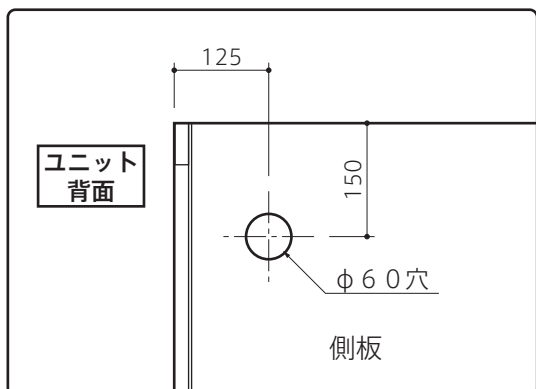
7 配管用の穴を開ける

■オープンユニットの場合

オープンユニットの隣のユニットにコンセントを取り付ける場合、オープンユニット側板と隣のユニット側板の指定位置に $\phi 60$ の穴、または隣のユニット底面の指定位置に100mm角の穴を開けます。

CORE AF 用スペーサーに干渉して穴が開けられないときは、CORE AF 用スペーサーの取り付け位置をずらします。「コンセントの取り付け」(79～80 ページ参照)

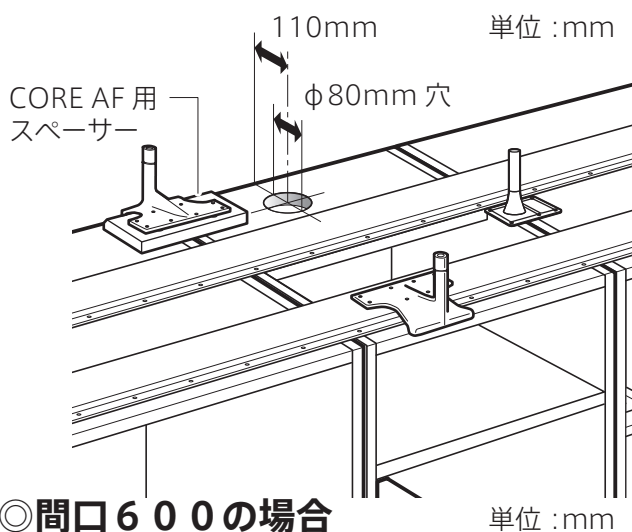
◎隣のユニットが間口150の場合 ◎隣のユニットが間口300以上の場合



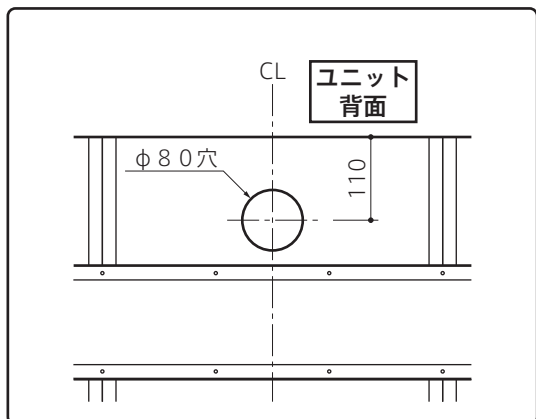
■食洗機ユニットの場合

※食洗機ユニットの底面に配管用の穴が開いていないタイプの場合

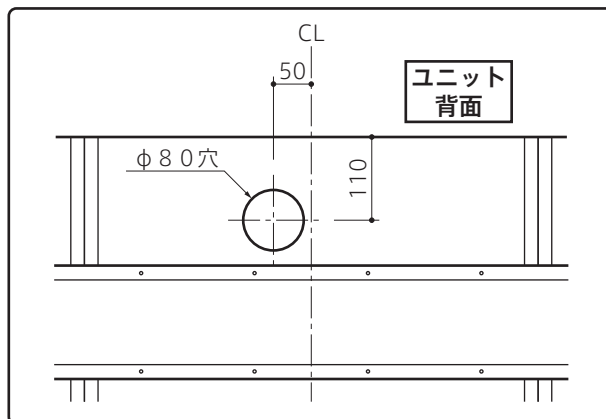
食洗機ユニットを取り付ける場合、底面の指定位置に $\phi 80$ mm 穴を開けます。CORE AF 用スペーサーに干渉して穴が開けられないときは、CORE AF 用スペーサーの取り付け位置をずらします。CORE AF 用スペーサーはユニットの連結部(継ぎ目)上でも取り付けられます。



◎間口450の場合



◎間口600の場合



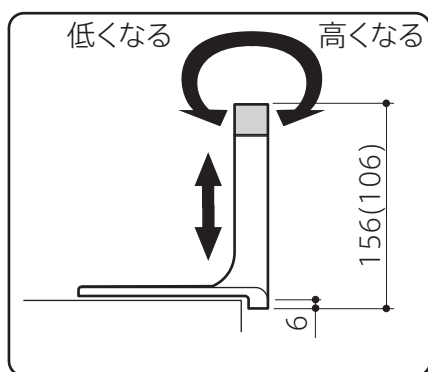
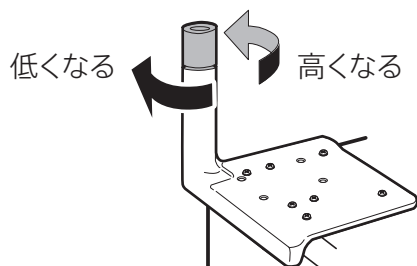
◀オプション プルオープン食器洗い乾燥機ユニット配管隠しカバー (58 ページ参照)

8 脚の高さを揃える

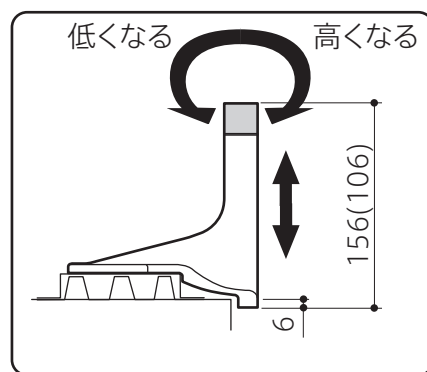
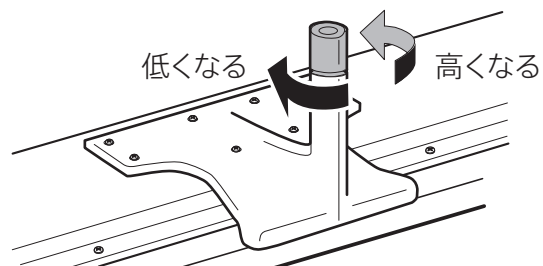
ユニットを起こす前に、すべての脚の高さを大まかに揃えておきます。

※ () 内寸法は、AF仕様【H=100】の場合を示す。

コーナー用脚



センター用脚



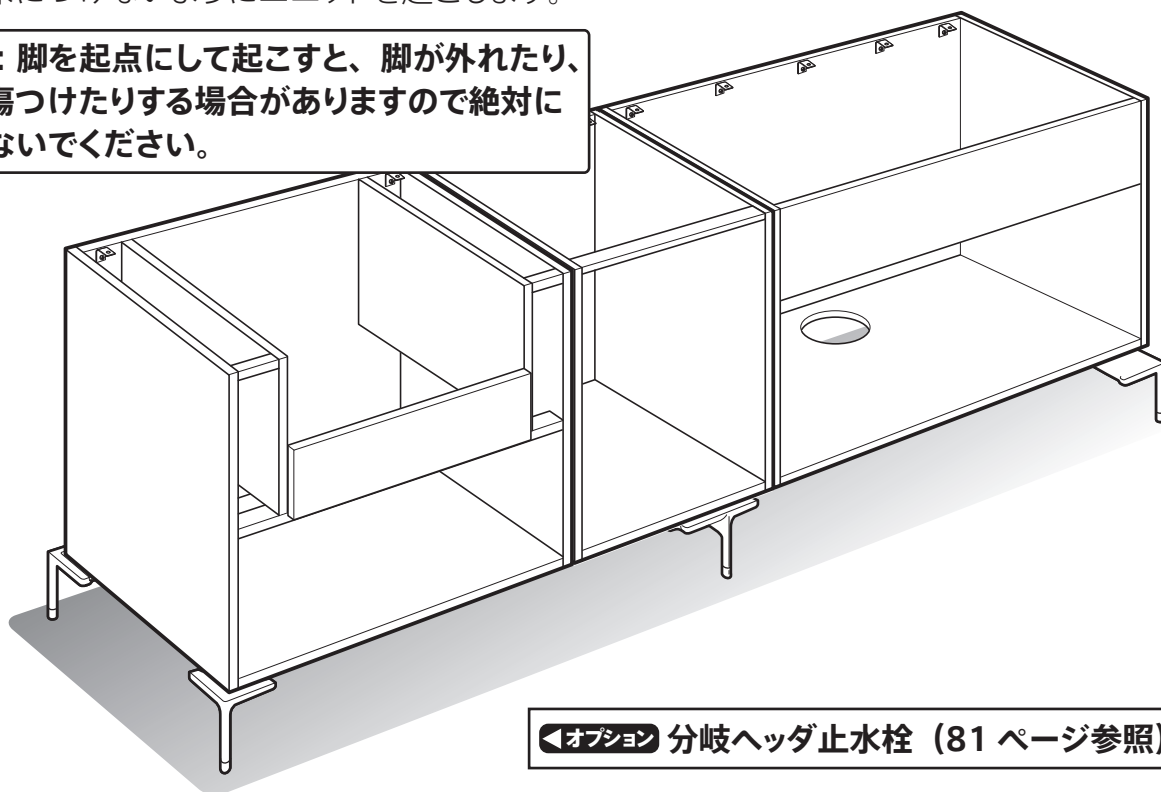
24

9 ユニットを起こす (増員が必要)

単位 : mm

脚を床につけないようにユニットを起こします。

注意：脚を起点にして起こすと、脚が外れたり、床を傷つけたりする場合がありますので絶対に行わないでください。



◀オプション▶ 分岐ヘッダ止水栓 (81 ページ参照)

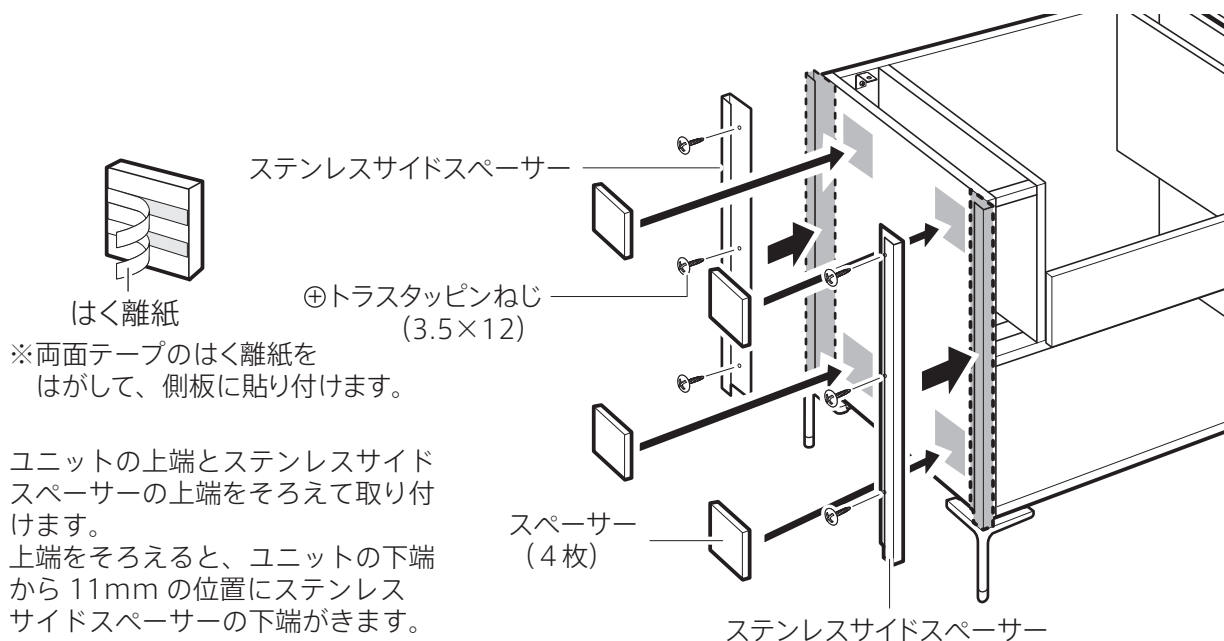
2 ユニットの連結 -9

10



ステンレスサイドスペーサーを取り付ける (オープン側がステンレスサイドパネルの場合)

ペニンシュラタイプの場合、壁側となる側板にステンレスサイドスペーサーおよび厚さ 20mm のスペーサー（付属品）を取り付けます。

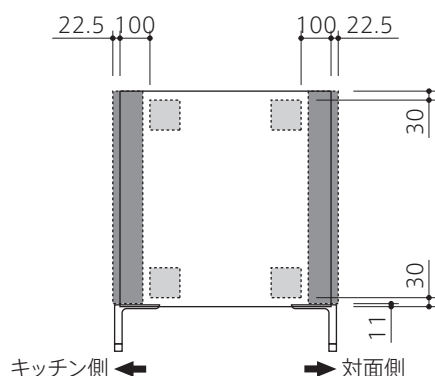


25

フロントパネルを取り付ける場合（側面図）

ユニットの側板より22.5mm飛び出した位置に取り付けます。

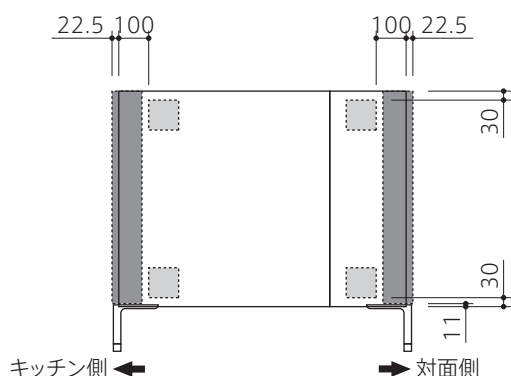
単位:mm



アイランド開き扉ユニット／ガラス扉ユニットを取り付ける場合（側面図）

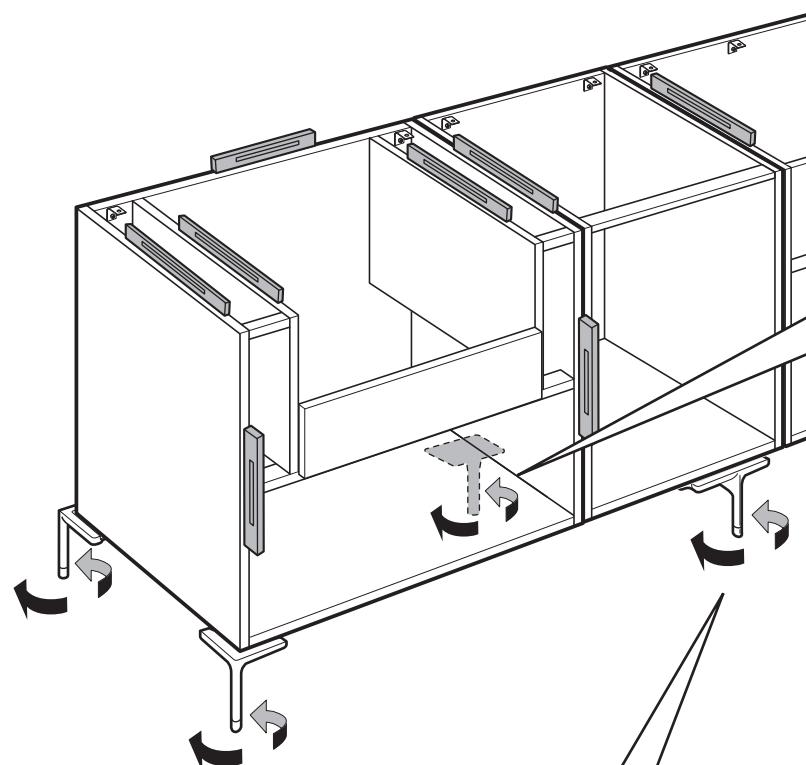
ユニットの側板より22.5mm飛び出した位置に取り付けます。

単位:mm



11 レベル調整を行う

レーザー水平器等を使用し、レベル調整を行います。

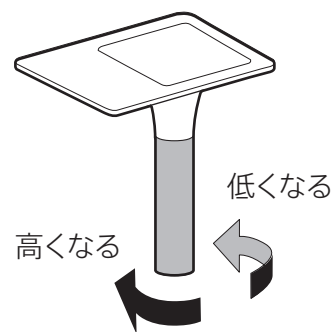


アジャストパーツの調整

アジャスト部分を手で回して調整します。

※調整範囲 $-0 \sim +10\text{mm}$

※調整は 0mm を基準として最小範囲で行ってください。



26

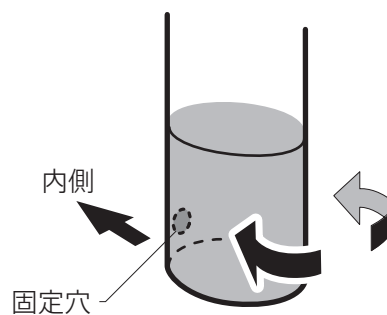
脚の調整

先端のアジャスト部分を手で回して調整します。

※調整範囲 $-0 \sim +10\text{mm}$

※アジャスト部分の固定穴が見えないように内側へ向けてください。

※脚本体とアジャスト部分の形状がそろるように調整してください。



3 ユニットの固定と仕上げ -1

1 フロントパネルを取り付ける



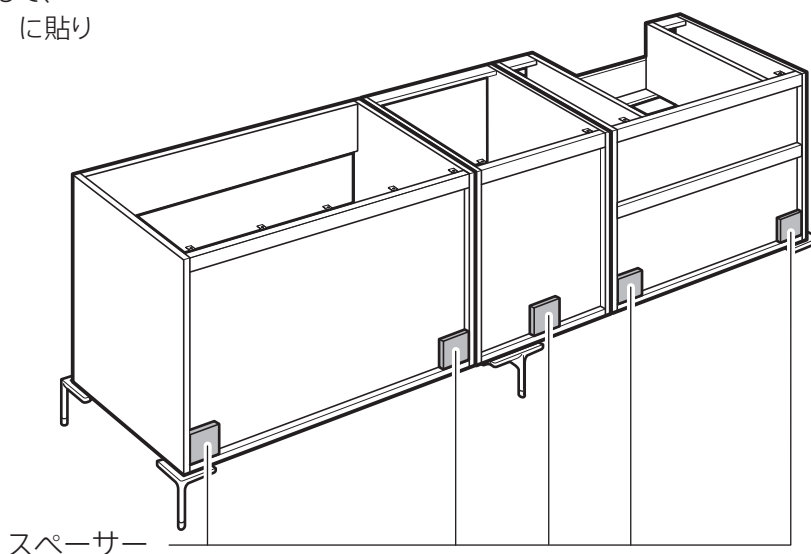
アイランドタイプまたはペニンシュラタイプの対面側に、アイランド開き扉ユニット／ガラス扉ユニットを取り付けない場合、次の手順でフロントパネルを取り付けます。

(1) キッチン側のユニット背面に厚さ 18mmのスペーサー（付属品）を両面テープで仮止めする

※両面テープのはく離紙をはがして、ユニット背面下部（下図を参照）に貼り付けます。



はく離紙



スペーサー

27

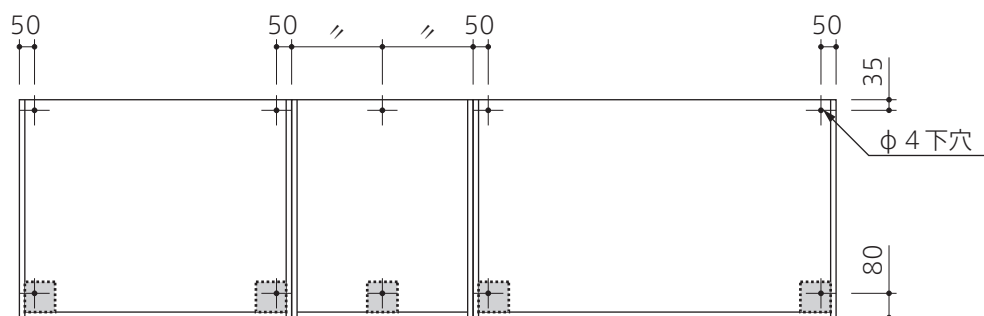
(2) キッチン側のユニット内側から下穴を開ける

ユニットの幅によってスペーサーの数や穴の位置が異なります。

下図は参考例です。キッチン両端と中央はバランスが取れるように固定します。

フロントパネル取付位置（正面図）

■ スペーサーはユニット背面に取り付けます。



単位:mm

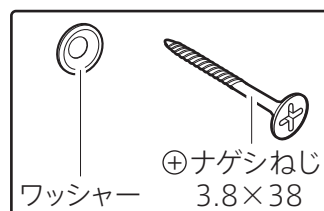
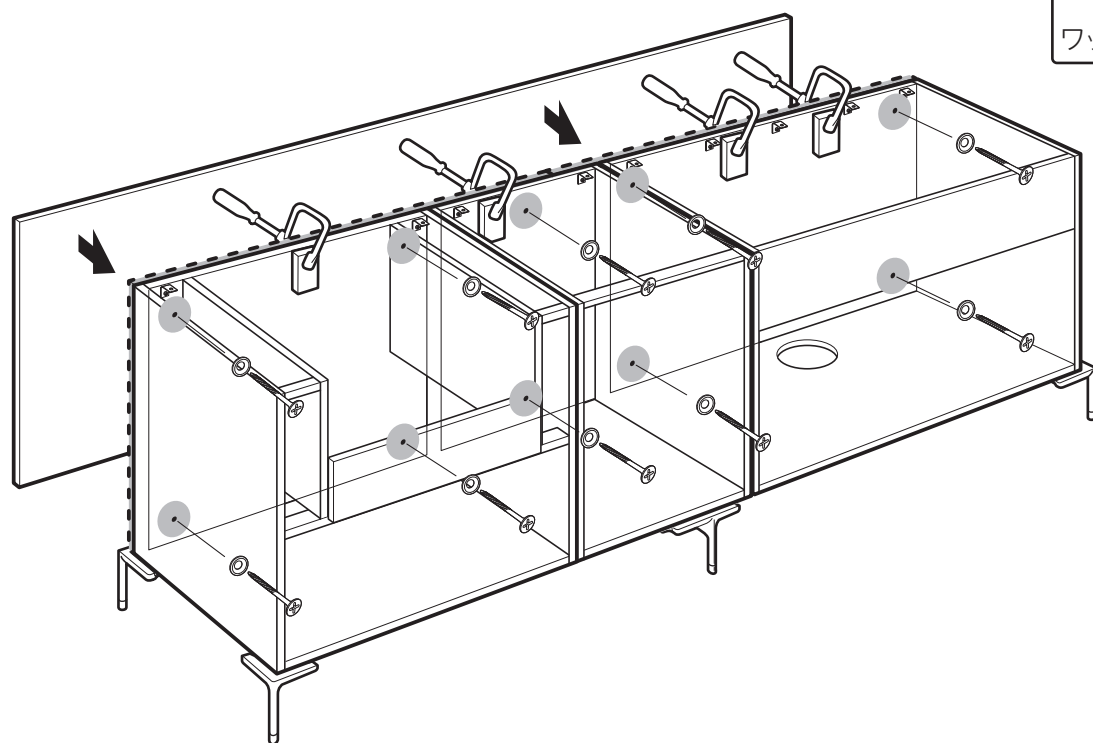
(3) 万力等でフロントパネルを固定する

ユニットとフロントパネルを傷めないように当て木をして万力等で固定します。

組み付けたユニットを壁面等に固定し、各種パーツを取り付けます。

(4) フロントパネルを固定する

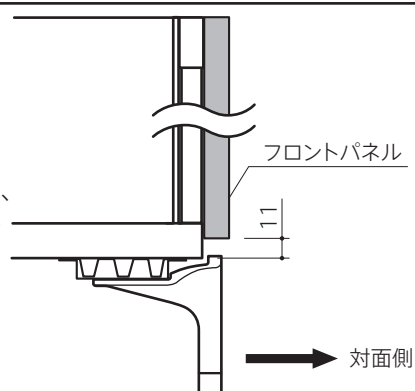
キッチン側のユニットに開けたφ4 下穴から⊕ナゲシねじ (3.8×38) にワッシャーを通してフロントパネルを固定します。



28

注意：フロントパネルに方向シールが貼り付けてある場合は、矢印が上にくるように取り付けてください。

ユニットの上端とフロントパネルの上端をそろえて取り付けます。
上端をそろえると、ユニットの下端から11mmの位置にフロントパネルの下端がきます。



3 ユニットの固定と仕上げ -2

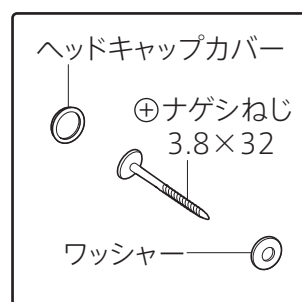
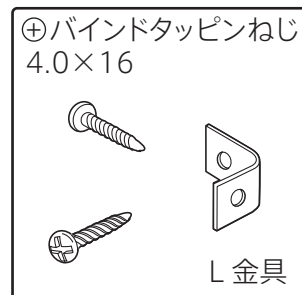
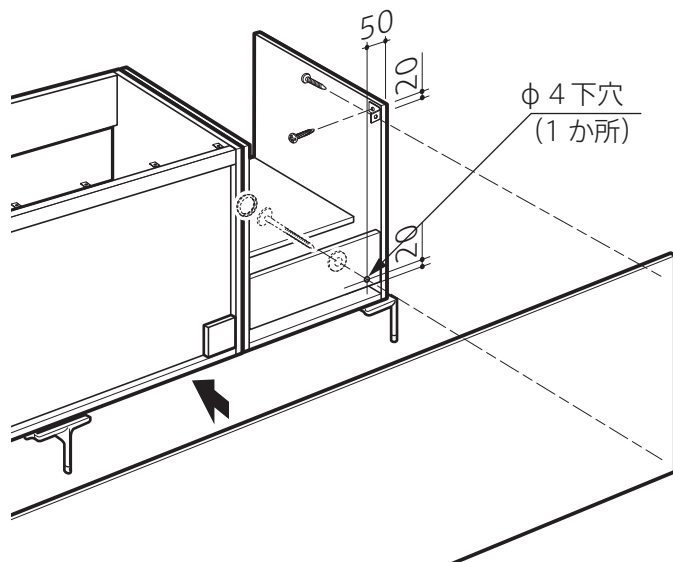
※食洗機ユニットがキッチンの端にくる場合

食洗機ユニットの側板にL金具を取り付けてから、フロントパネルを固定します。

食洗機ユニット内の背板からφ4下穴を開けます。

食洗機ユニットに開けたφ4下穴から⊕ナゲシねじ（3.8×32）にワッシャーを通してフロントパネルを固定します。

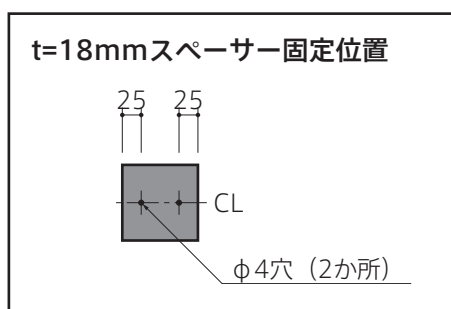
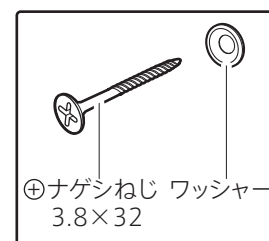
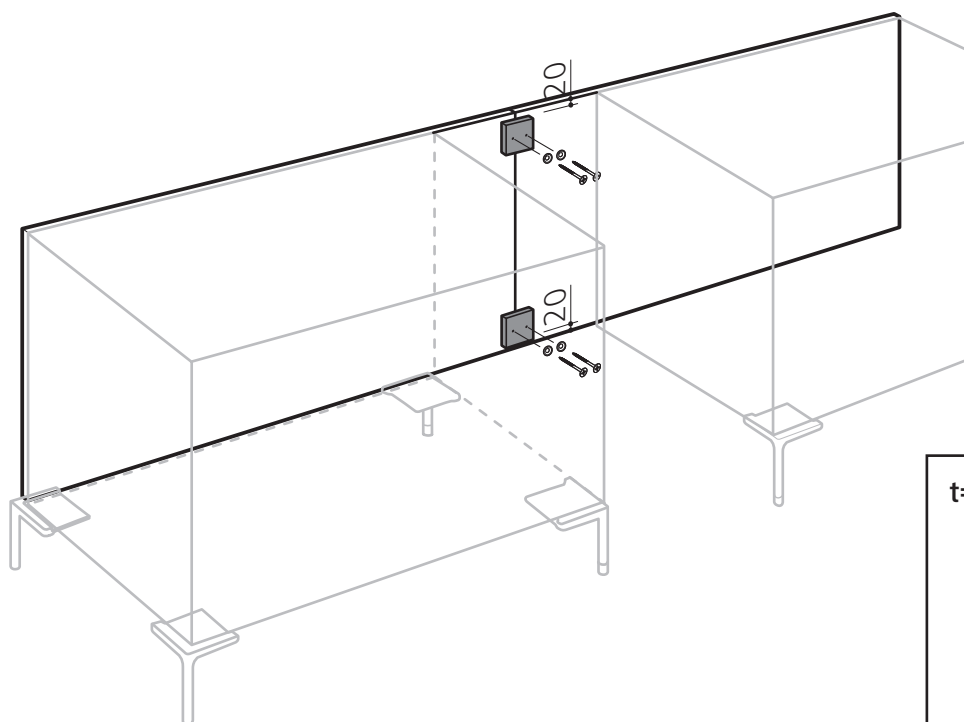
固定したあと、ヘッドキャップカバーを取り付けます。



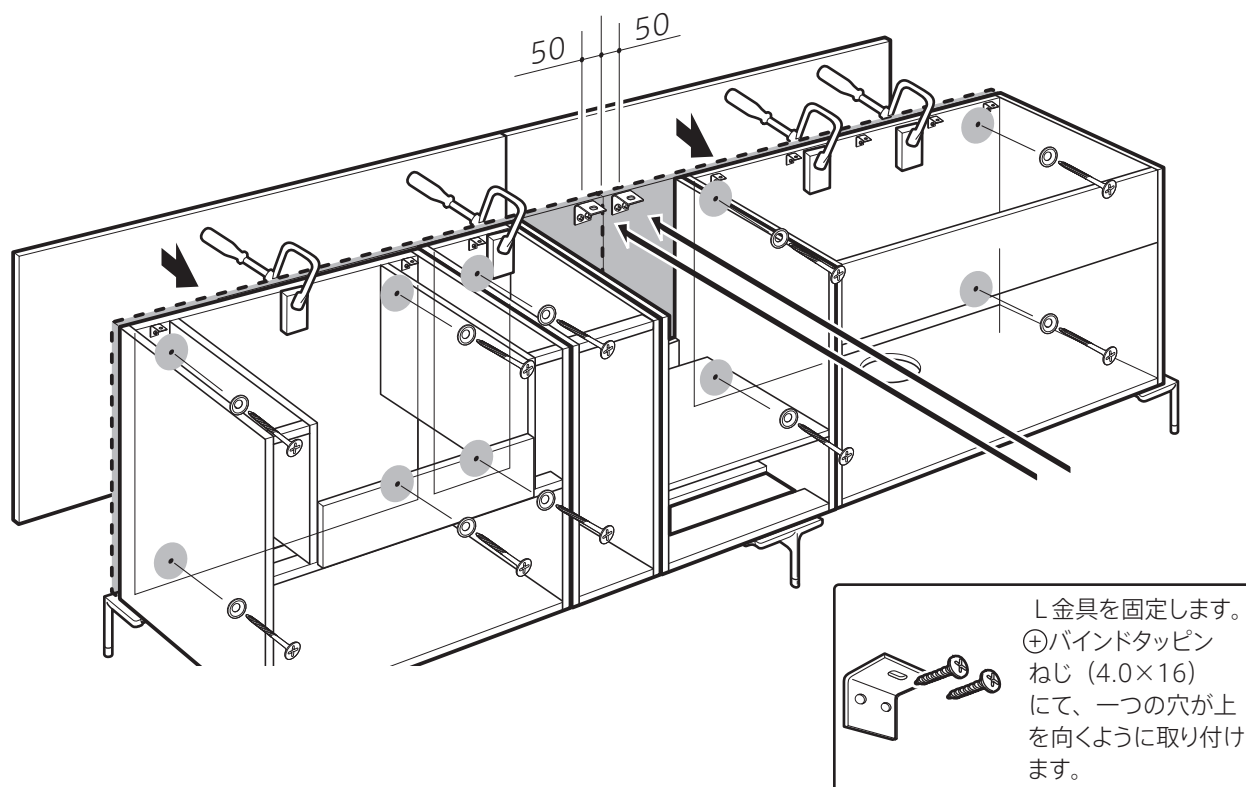
※フロントパネルが2枚で構成され、その継ぎ目がミーレ／AEG／GAGGENAU食洗機、オープンにくる場合

フロントパネル裏面の指定位置に厚さ18mmのスペーサー（付属品）を⊕ナゲシねじ（3.8×32）にワッシャーを通して固定します。

フロントパネルを連結後、ユニットにフロントパネルを固定します。

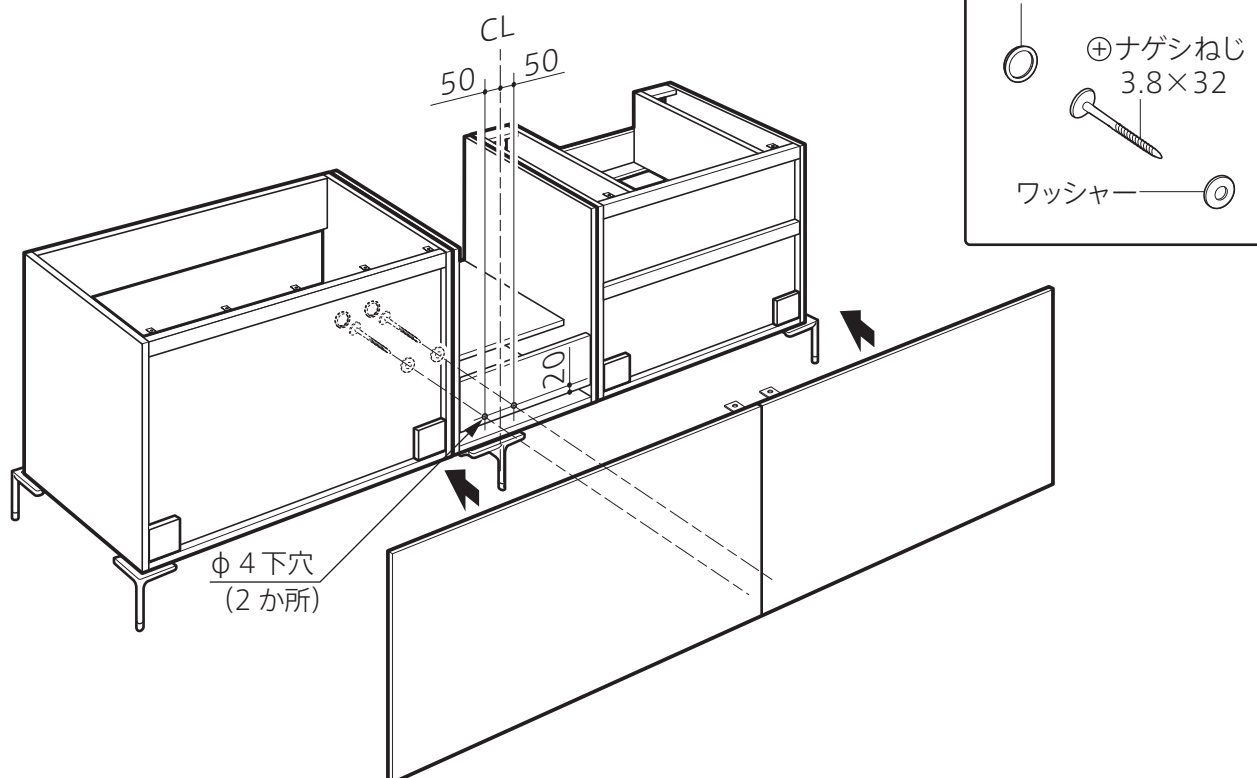


※フロントパネルが2枚で構成され、その継ぎ目が食洗機ユニットにくる場合
 トップとフロントパネルを固定するために、フロントパネルにL金具を取り付けます。



食洗機ユニット内の背板からφ4 下穴を開けます。
 食洗機ユニットに開けたφ4 下穴から⊕ナゲシねじ (3.8×32) にワッシャーを通して
 フロントパネルを固定します。
 固定したあと、ヘッドキャップカバーを取り付けます。

30

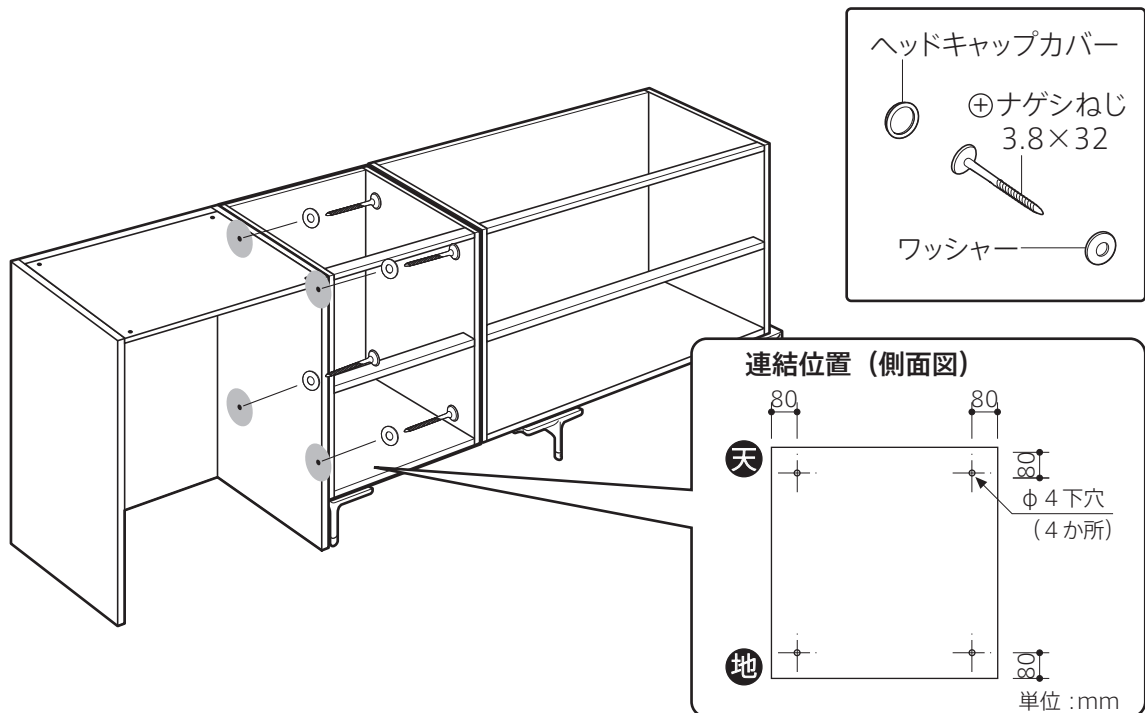


3 ユニットの固定と仕上げ -3

2 ユニットを連結する（オープンフロアユニットの場合）



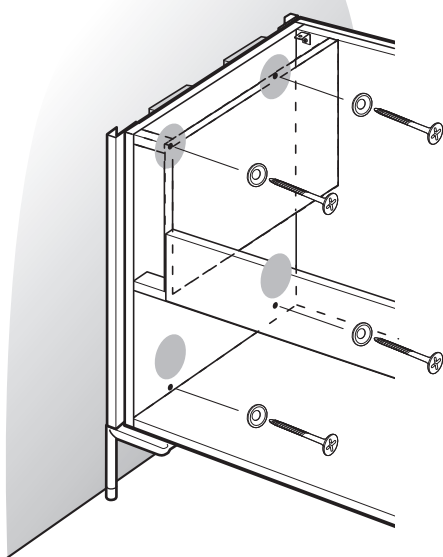
オープンフロアユニットを連結する場合、隣のユニットから連結します。
図の位置に下穴を開け、⊕ナゲシねじ（3.8×32）にワッシャーを通して、
隣のユニット内側から連結します。
連結したあと、ヘッドキャップカバーを取り付けます。



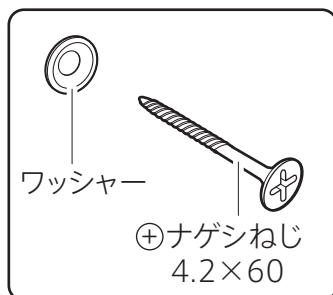
3 ユニットを壁面に固定する



ペニンシュラタイプの場合、壁側の側板より壁面に固定します。
扉同色サイドパネルを取り付ける場合、ユニットを壁面に固定する前にサイドパネルを取り付けます。
「サイドパネルを取り付ける」(35 ページ参照)

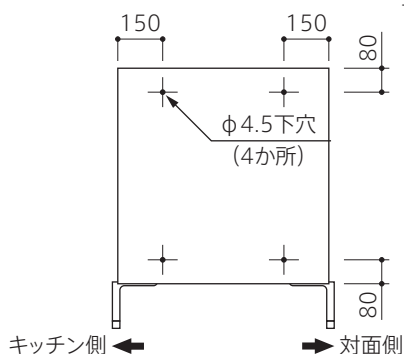


- ① ユニットを壁面に合わせます。
- ② 図の位置に下穴を開けます。
- ③ ㊦ナゲシねじ (4.2×60) にワッシャーを通してユニットを壁面に固定します。
- ④ 固定したあと、ヘッドキャップカバーを取り付けます。

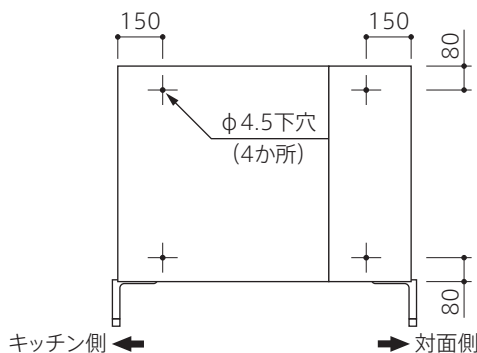


フロントパネルを取り付ける場合 (側面図)

単位:mm



アイランド開き扉ユニット／ガラス扉ユニットを取り付ける場合 (側面図)



オンウォールタイプの場合、背板より壁面に固定します。

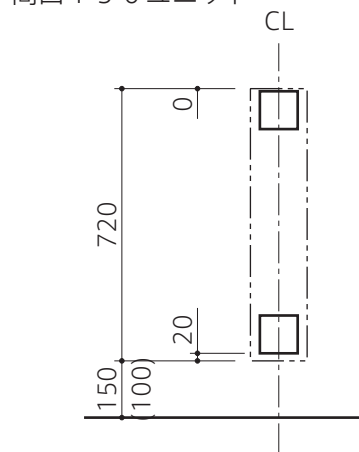
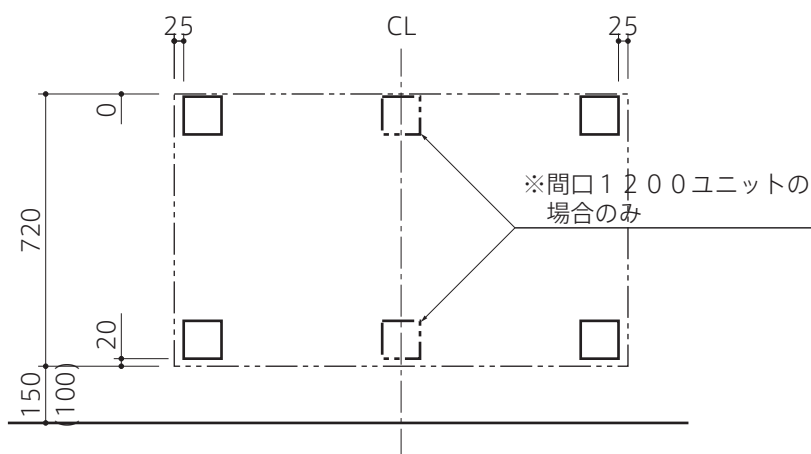
間口150ユニット

(1) 厚さ20mmの壁面固定用スペーサーを取り付ける (トップ奥行き770mmの場合)

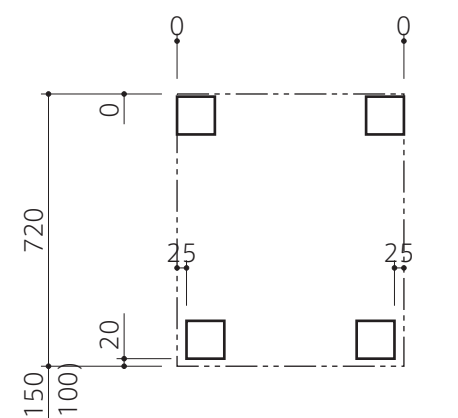
厚さ20mmの壁面固定用スペーサー (付属品) にφ4.5の穴を2か所あけ、㊦ハイロラップねじ (4.2×42) 2本にて各ユニット取付位置の壁面に取り付けます。

壁面固定用スペーサー取付位置 (正面図)

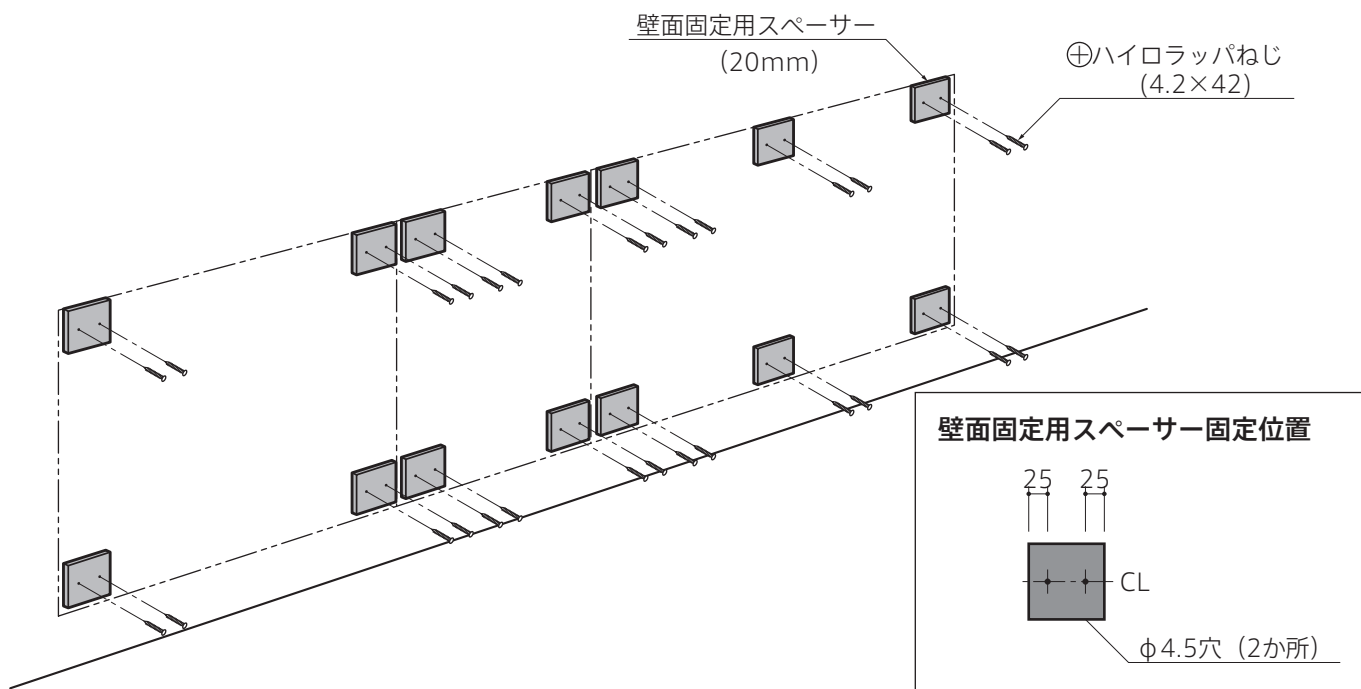
間口300～1200ユニット



食洗機ユニット



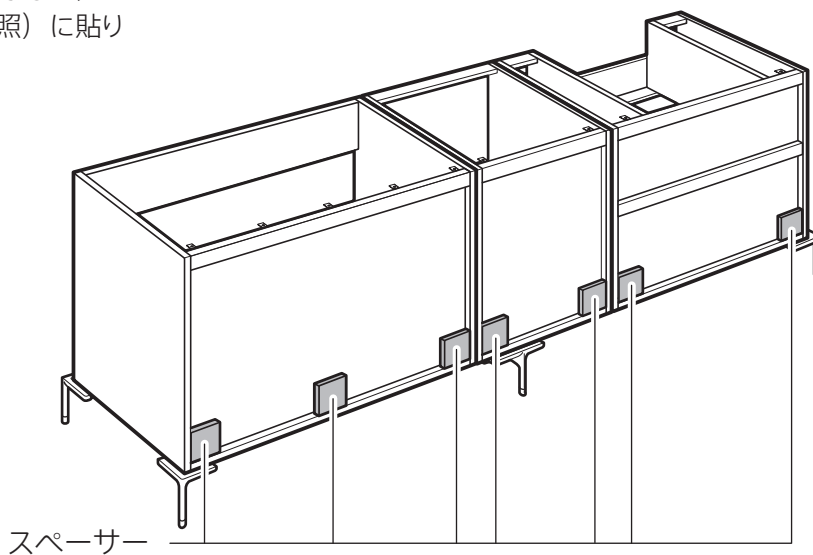
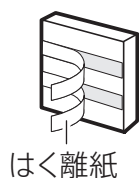
3 ユニットの固定と仕上げ -4



(2) ユニット背面に厚さ 18mm のスペーサー（付属品）を両面テープで仮止めする（トップ奥行き 770mm の場合）

ユニット背面下部に背板棧がある場合および、食洗機ユニットは取り付けません。

※両面テープのはく離紙をはがして、ユニット背面下部（下図を参照）に貼り付けます。

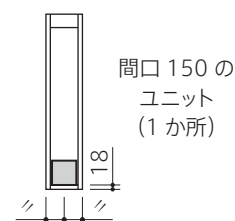
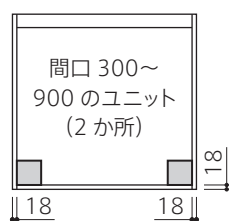


スペーサー取付位置（背面図）

■ スペーサーはユニット背面に取り付けます

天

地



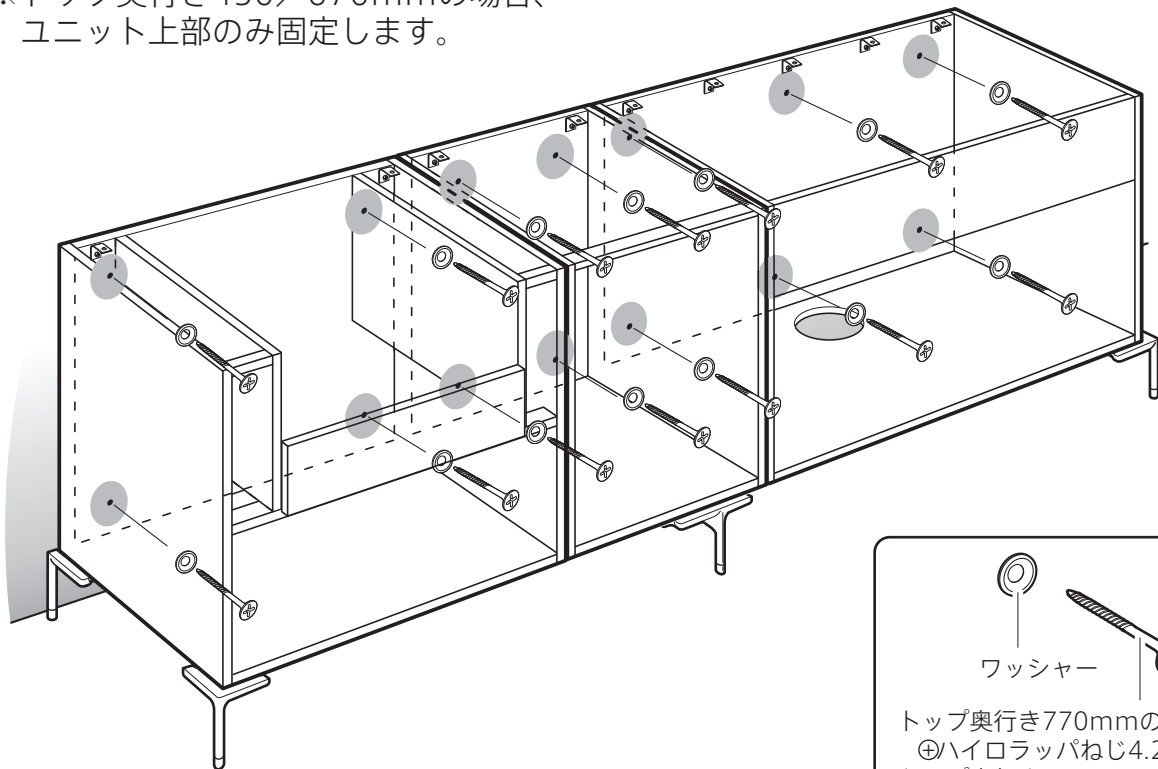
単位 : mm

(3) ユニットを壁面に固定する

- ①ユニットを壁面に合わせます。
- ②図の位置に下穴を開けます。
- ③トップ奥行き770mmの場合⊕ハイロラップねじ（4.2×42）、トップ奥行き450／670mmの場合⊕ナゲシねじ（4.2×60）にワッシャーを通してユニットを壁面に固定します。
- ④固定したあと、ヘッドキャップカバーを取り付けます。

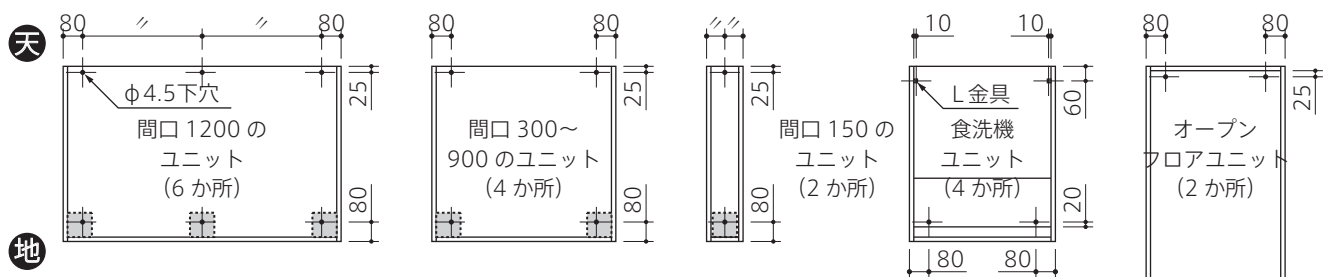
※食洗機ユニットの場合、上部は側板後側の指定位置に⊕バインドタッピンねじ（4.0×16）にてL金具を2個取付け、⊕バインドタッピンねじ（4.0×16）にて壁面に固定します。

※トップ奥行き450／670mmの場合、ユニット上部のみ固定します。



ワッシャー
 トップ奥行き770mmの場合
 ⊕ハイロラップねじ4.2×42
 トップ奥行き450/670mmの場合
 ⊕ナゲシねじ4.2×60

壁面固定位置（正面図）



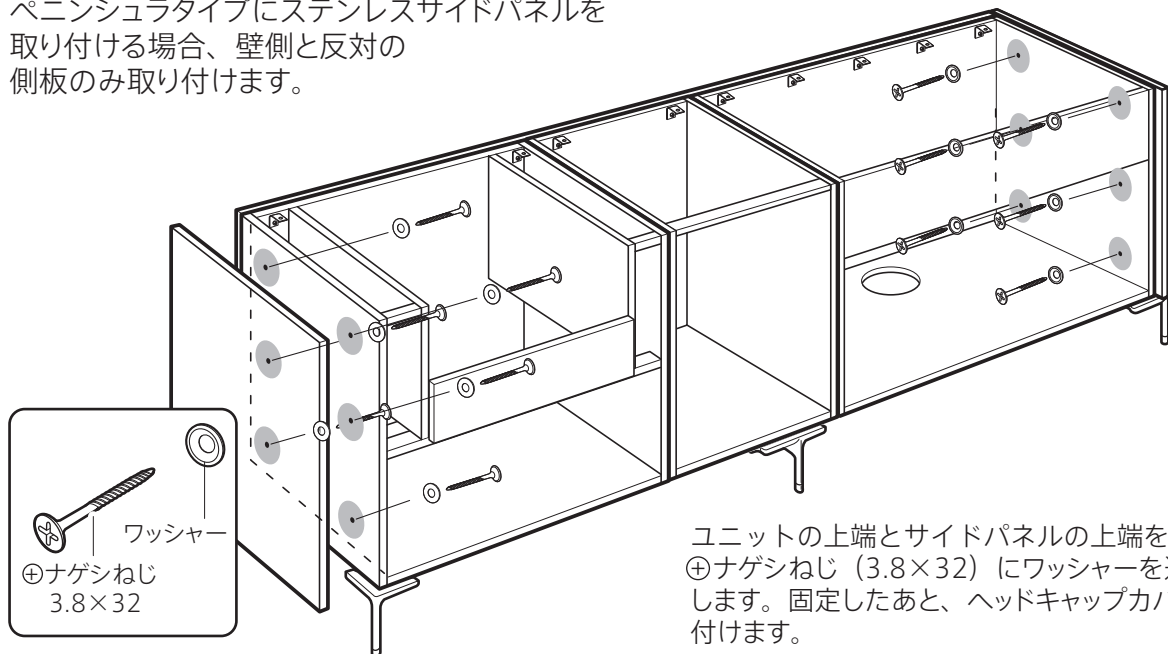
単位 : mm

3 ユニットの固定と仕上げ -5

4 サイドパネルを取り付ける

キッチン両端のユニットの側板にサイドパネルを取り付けます。
ペニンシュラタイプにステンレスサイドパネルを取り付ける場合、壁側と反対の側板のみ取り付けます。

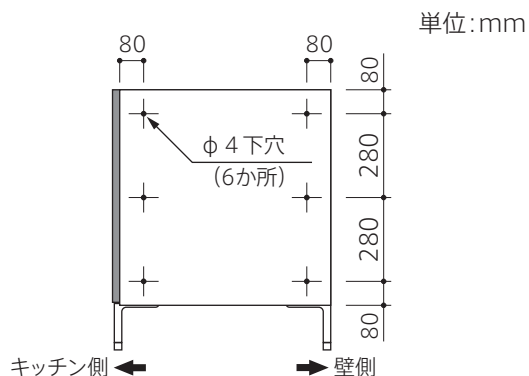
注意：サイドパネルに方向シールが貼り付けてある場合は、矢印が上にくるように取り付けてください。



ユニットの上端とサイドパネルの上端をそろえて、
⊕ナゲシねじ（3.8×32）にワッシャーを通して固定します。固定したあと、ヘッドキャップカバーを取り付けます。

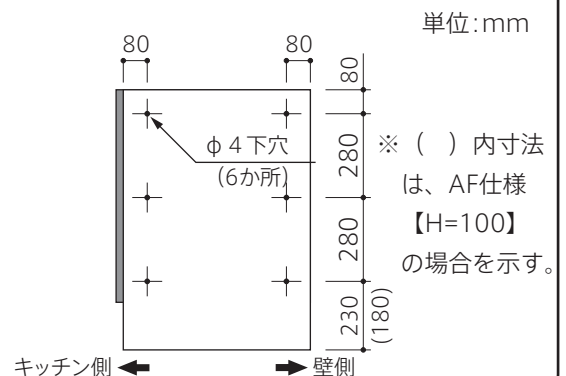
オンウォールタイプの場合（側面図）

壁面に合わせて取り付けます。



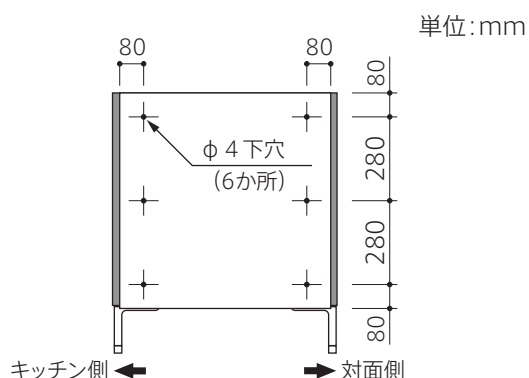
オープンフロアユニットの場合（側面図）

壁面に合わせて取り付けます。



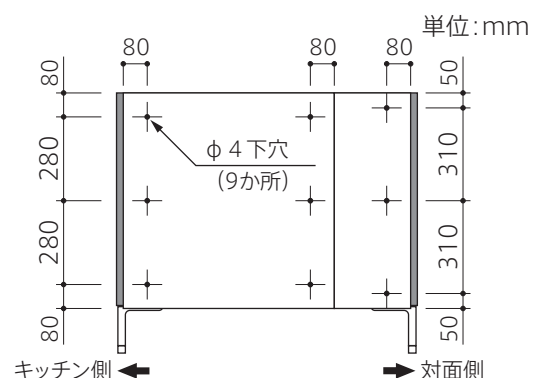
フロントパネルを取り付ける場合（側面図）

キッチン側のユニット扉面と対面側のフロントパネル面のチリが均等になるように取り付けます。

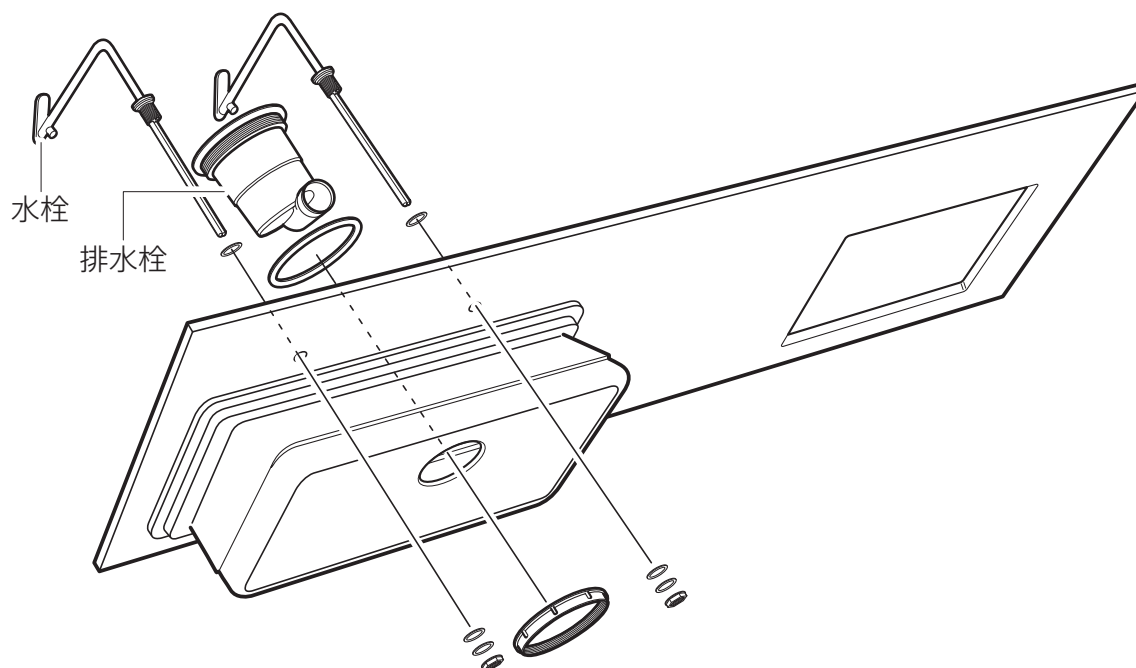


アイランド開き扉ユニット／ガラス扉ユニットを取り付ける場合（側面図）

キッチン側のユニット扉面と対面側のガラス扉ユニット扉面のチリが均等になるように取り付けます。



5 トップに水栓・排水栓を取り付ける

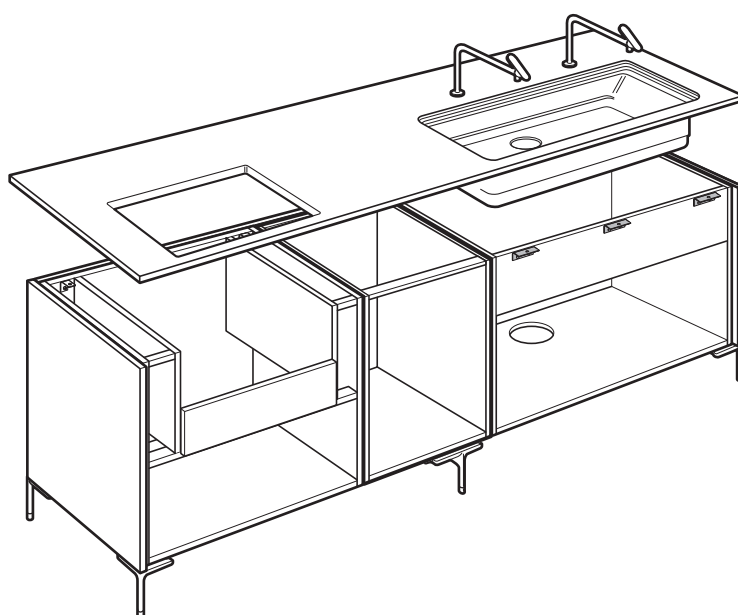


◀オプション▶ ガラスバックガード (84 ページ参照)

36

6 トップを取り付ける

タイプごとに、次のページを参照してください。



アイランド



ペニンシュラ



アイランドタイプ、ペニンシュラタイプの場合
→37 ページ参照

オンウォール



オンウォールタイプの場合
→39 ページ参照

3 ユニットの固定と仕上げ -6



トップの取り付け (アイランドタイプ/ペニンシュラタイプ)

ペニンシュラタイプ場合、壁側はオンウォールタイプの手順 (1) ~ (3) を行ってください。

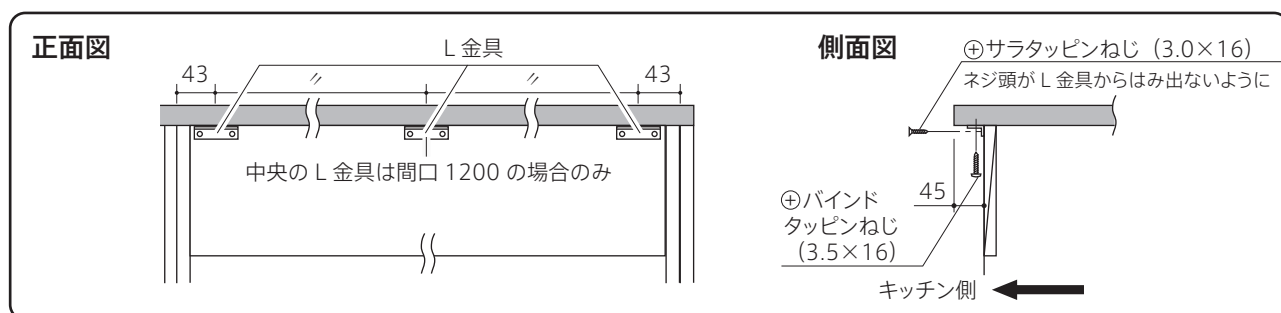
(1) ワークトップをユニットにのせ、キッチン側のワークトップ前面とユニット前面の間が 45mm となるように位置を合わせる

(2) キッチン側を固定する

■シンクユニット、上面操作加熱機器ユニット、間口 900・1200 引き出しユニットの場合

①ワークトップ裏面の指定位置に、⊕バインドタッピンねじ (3.5×16) にて L 金具を取り付けます。

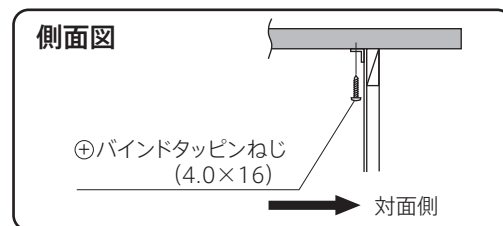
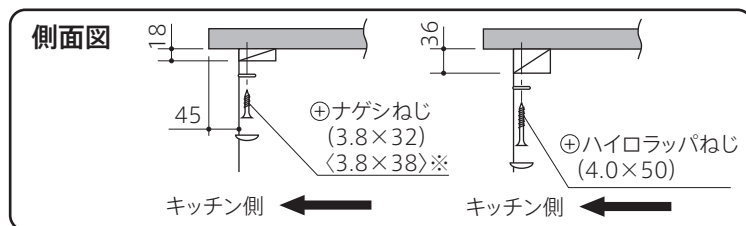
②ワークトップをユニットに押し付けながら、L 金具より⊕サラタッピンねじ (3.0×16) にて固定します。



■その他のユニットの場合

ユニットの上棚に開いているφ4 穴から⊕ナゲシねじ (3.8×32 <38>) または、⊕ハイロラッパねじ (4.0×50) にワッシャーを通してワークトップを固定します。固定したあと、ヘッドキャップカバーを取り付けます。

※加熱機器ユニットの間口 150 引き出しの場合は、⊕ナゲシねじ <3.8×38> を使用してください。

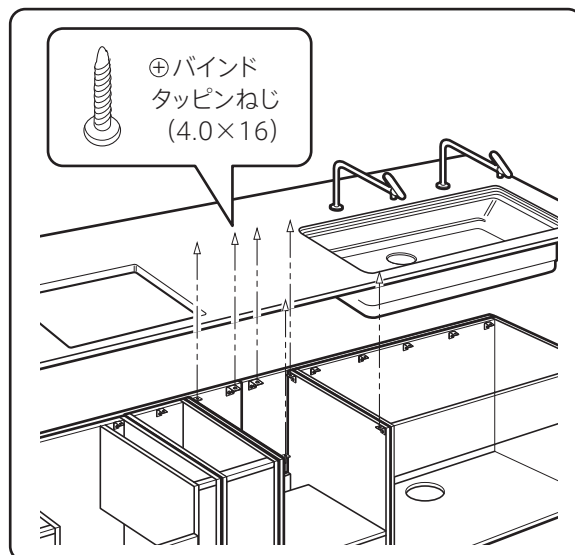


(3) 対面側を固定する

L 金具から⊕バインドタッピンねじ (4.0×16) にてワークトップを固定します。

(4) 食洗機ユニットから固定する

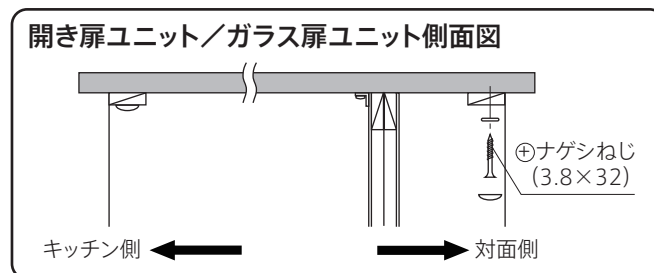
L 金具から⊕バインドタッピンねじ (4.0×16) にてワークトップを固定します。



■アイランド開き扉ユニット／ガラス扉ユニットから固定する場合

アイランド開き扉ユニット／ガラス扉ユニットの天板（上枠）に開いているφ4 穴から⊕ナゲシねじ（3.8×32）にワッシャーを通して、ワークトップを固定します。

固定したあと、ヘッドキャップカバーを取り付けます。

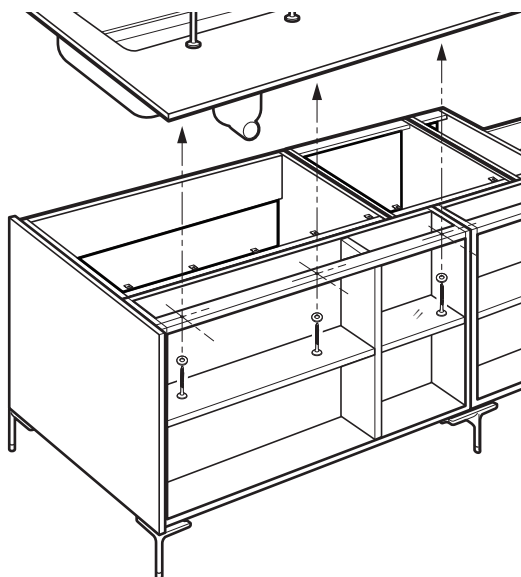


・間口450mm・600mmの場合

2か所固定します。

間口900mm・1200mmの場合

3か所固定します。



3 ユニットの固定と仕上げ-7



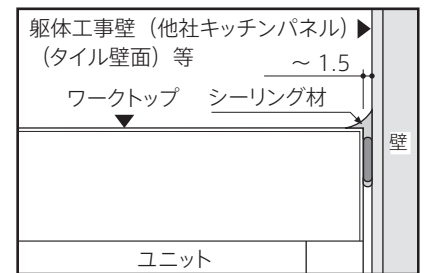
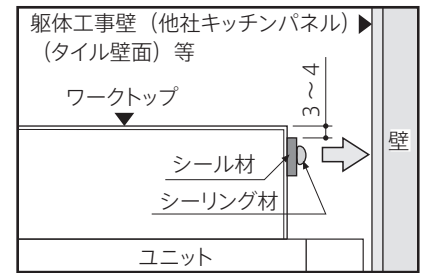
トップの取り付け（オンウォールタイプ）

壁面に弊社のバックパネルや壁面パネルを取り付ける場合は、手順（3）より行ってください。

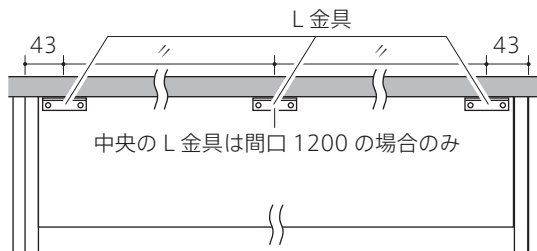
- (1) ワークトップの壁面に接する面にシール材を貼る
- (2) シール材の上にシーリング材を線状に付着させる
- (3) ワークトップをユニットにのせ、壁に押し付ける
- (4) キッチン側を固定する

■シンクユニット、上面操作加熱機器ユニット、
間口 900・1200 引き出しユニットの場合

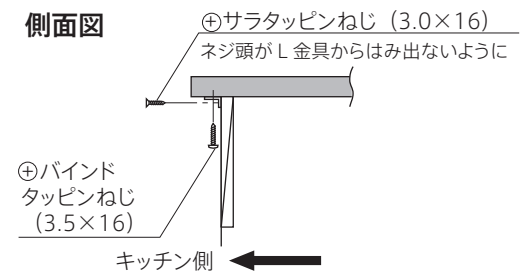
- ① ワークトップ裏面の指定位置に、⊕バインドタッピンねじ（3.5×16）にて L 金具を取り付けます。
- ② ワークトップをユニットに押し付けながら、L 金具より⊕サラタッピンねじ（3.0×16）にて固定します。



正面図



側面図



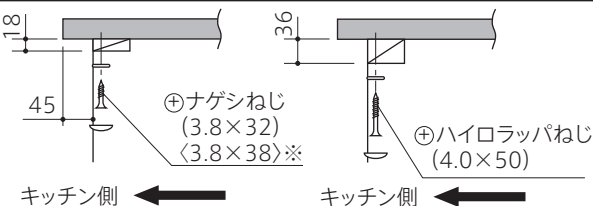
39

■その他のユニットの場合

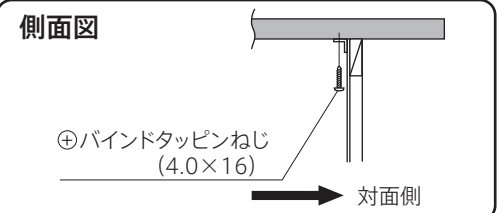
ユニットの上棚に開いているφ4 穴から⊕ナゲシねじ（3.8×32〈38〉）または、⊕ハイロラッパねじ（4.0×50）にワッシャーを通してワークトップを固定します。固定したあと、ヘッドキャップカバーを取り付けます。

※加熱機器ユニットの間口 150 引き出しの場合は、⊕ナゲシねじ〈3.8×38〉を使用してください。

側面図



側面図



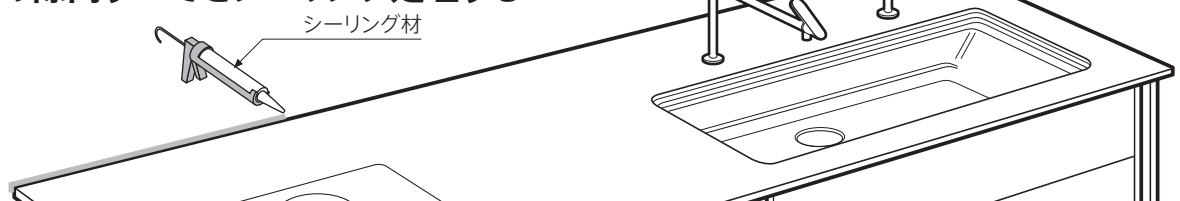
(5) 壁側を固定する

L 金具から⊕バインドタッピンねじ（4.0×16）にてワークトップを固定します。

(6) 食洗機ユニットから固定する

L 金具から⊕バインドタッピンねじ（4.0×16）にてワークトップを固定します。

(7) 壁との隙間すべてをシーリング処理する

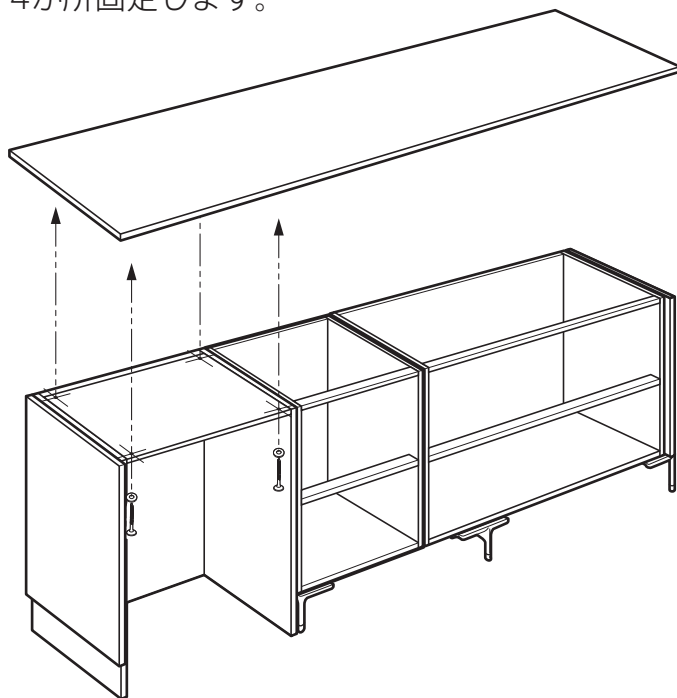


シール材（ワークトップ付属品）

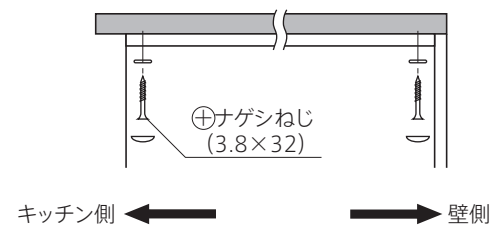
■オープンフロアユニットから固定する場合

オープンフロアユニットの天板に開いているφ4 穴から⊕ナゲシねじ (3.8×32) にワッシャーを通して、ワークトップを固定します。固定したあと、ヘッドキャップカバーを取り付けます。

4か所固定します。



オープンフロアユニット側面図



3 ユニットの固定と仕上げ -8

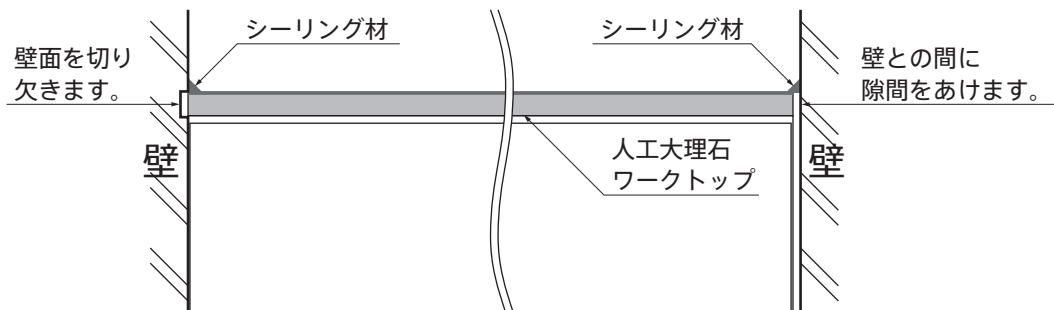
7 人工大理石ワークトップの取付・設置上の注意

人工大理石は熱により膨張します。

壁と壁の間に設置する場合は、必ず両側に間口2 mまでは5 mmずつの逃げ、以後1 mごとに+3 mmずつの逃げを設けてください。

壁面の加工が不可能な場合は、ユニットと壁の間に間口2 mまでは5 mmずつの隙間、以後1 mごとに+3 mmずつの隙間をあけて、ワークトップを逃がすようなレイアウトにしてください。

人工大理石ワークトップと壁との隙間の全周をシーリング材等で仕上げてください。



41

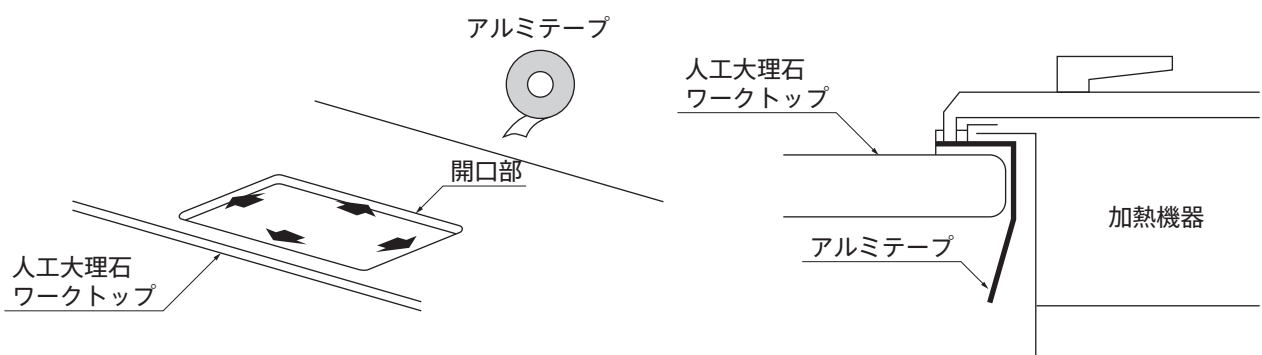
8 加熱機器設置前の準備 (人工大理石ワークトップの場合)

人工大理石ワークトップの場合、加熱機器を設置する前に開口部全周に付属のアルミテープを貼ります。

アルミテープは加熱機器からはみ出ない程度に人工大理石ワークトップの上面に貼り、下側は少し折り曲げてください。

※アルミテープを貼らないで加熱機器を設置すると、開口部からヒビや割れが発生する恐れがあります。

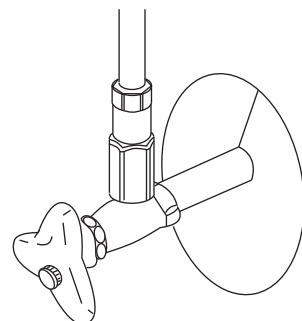
※加熱機器は開口部の中心に設置し、人工大理石ワークトップに接触させないでください。



9 水栓・排水管の配管を行う

■配管カバーの貼り付け

- ①シンクユニット内に、給水・給湯管の取り出しを行います。
- ②止水栓取り付け後、配管カバーの接着テープをはがして配管と背板の隙間をふさぐように貼り付けます。

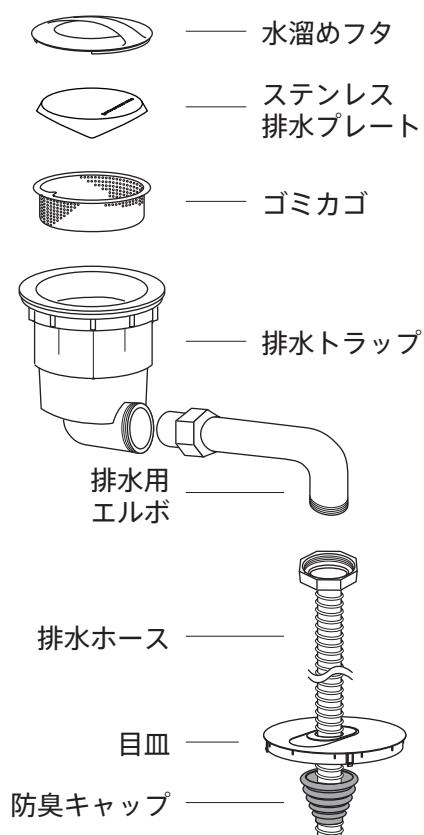


■水栓の配管

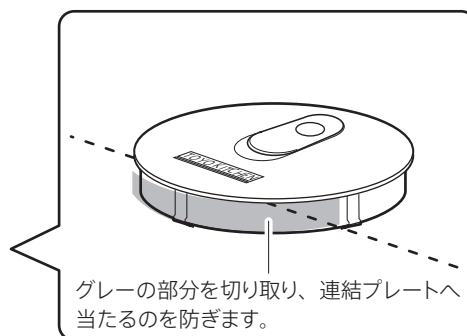
水栓の配管については、付属の「取付・設置説明書」を参照してください。

■排水管の配管

図のように排水管の配管を行います。



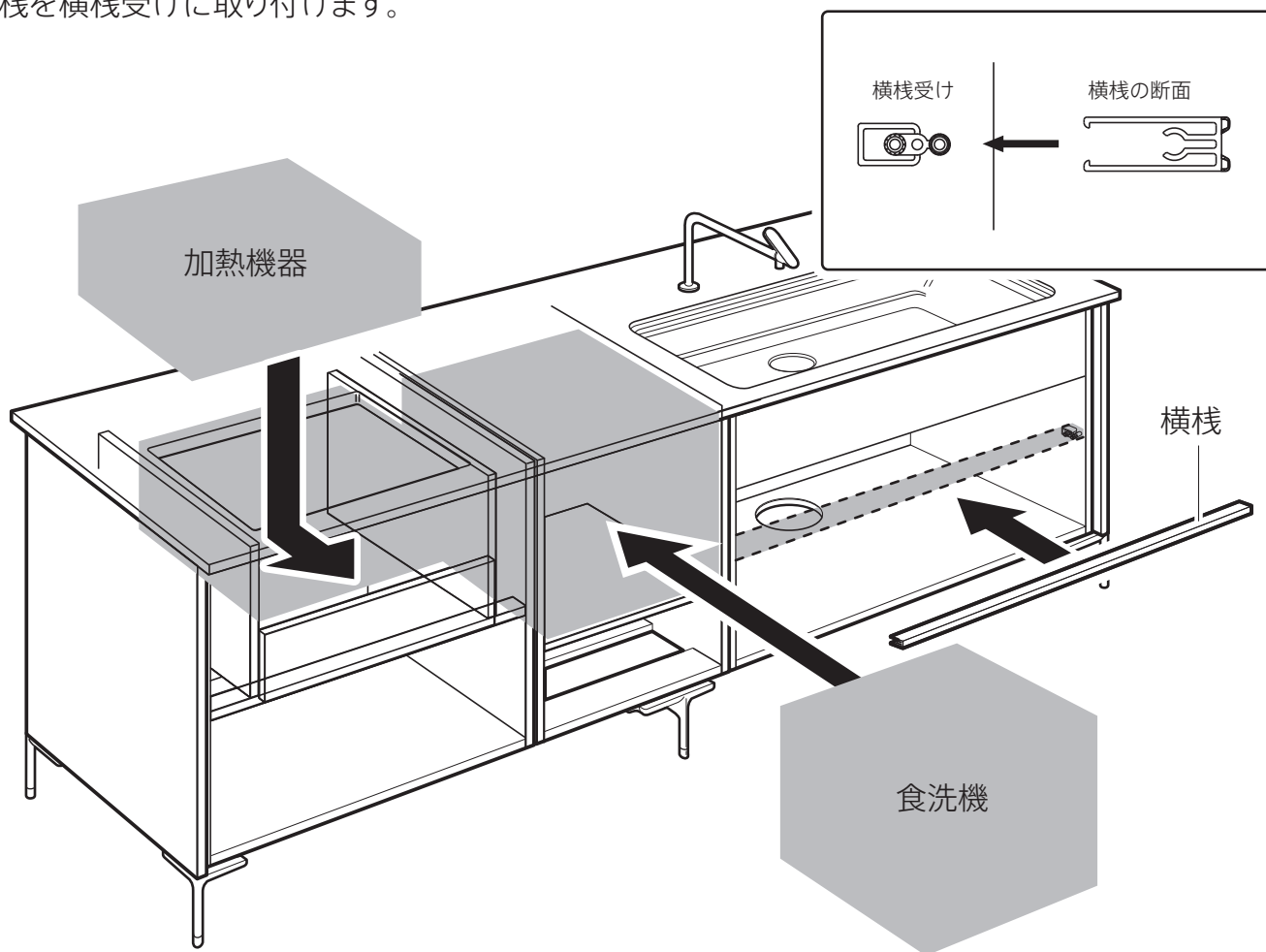
目皿のフランジ部分はシンクユニットの穴に入れるとき、連結プレートに当たるため「TOYO KITCHEN」の文字を手前にした状態で当たる部分をカットします。



3 ユニットの固定と仕上げ -9

10 加熱機器、食洗機、横棧を取り付ける

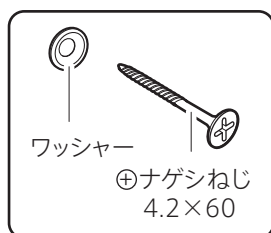
加熱機器、食洗機の取り付けについては、付属の「取付・設置説明書」を参照してください。
横棧を横棧受けに取り付けます。



11 ウォールユニットを取り付ける

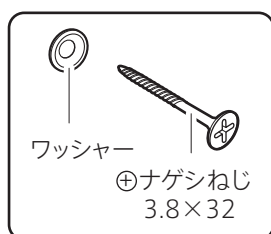


※ウイングチップ、スライドドアウォールユニットの取付けについては、付属の「取扱説明書、取付・設置説明書」を参照ください。



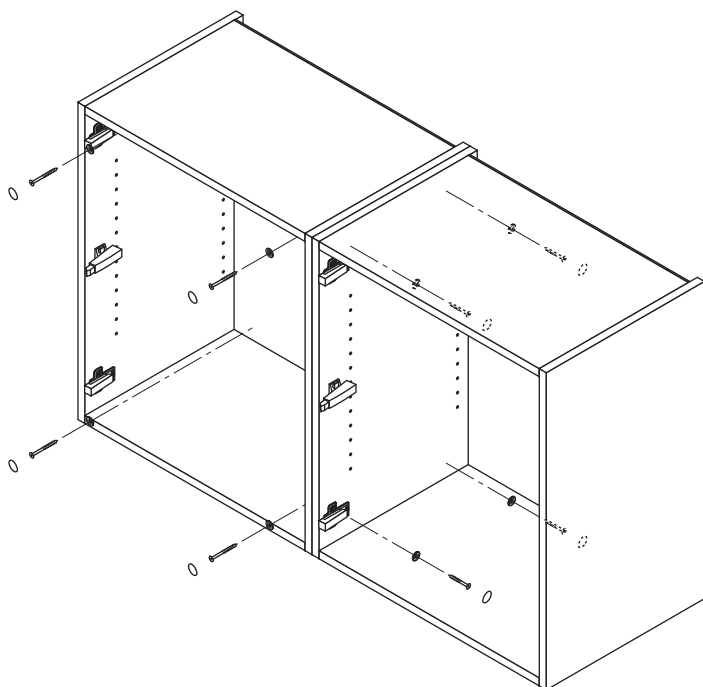
ユニットを壁面に固定する

- ①ウォールユニットを壁面に合わせます。
- ②ユニット背板に貼り付けてあるシールの中央に下穴を開けます。
- ③⊕ナゲシねじ（4.2×60）にワッシャーを通してウォールユニットを壁面に固定します。
- ④固定したあと、ヘッドキャップカバーを取り付けます。



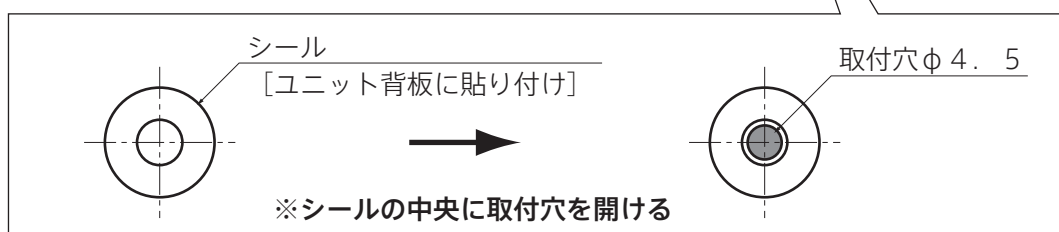
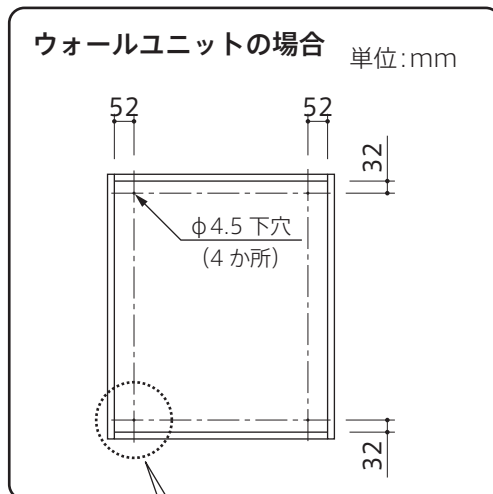
ユニットを連結する

- ①ウォールユニットを隣接するユニットの側板外面に合わせます。
- ②図の位置に下穴を開けます。
- ③⊕ナゲシねじ（3.8×32）にワッシャーを通してウォールユニットを連結します。
- ④固定したあと、ヘッドキャップカバーを取り付けます。



■壁面固定位置 [正面図]

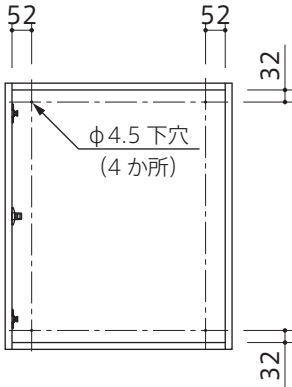
44



3 ユニットの固定と仕上げ -10

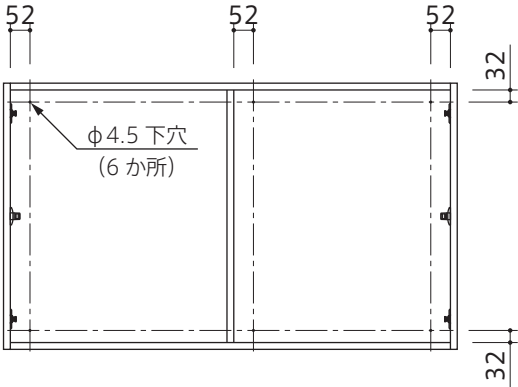
間口450・600
開き扉ウォールユニットの場合

単位:mm



間口900・1200
開き扉ウォールユニットの場合

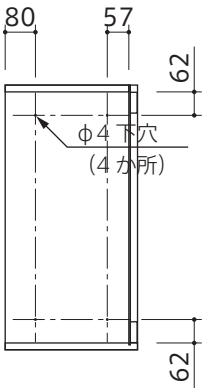
単位:mm



■連結位置 [側面図]

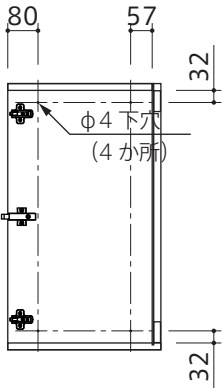
ウォールユニットの場合

単位:mm



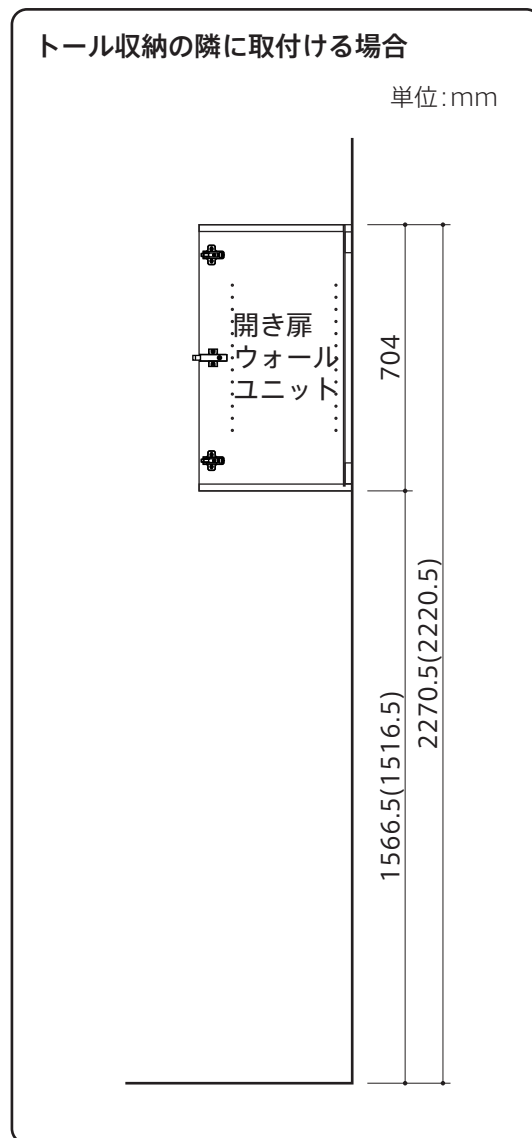
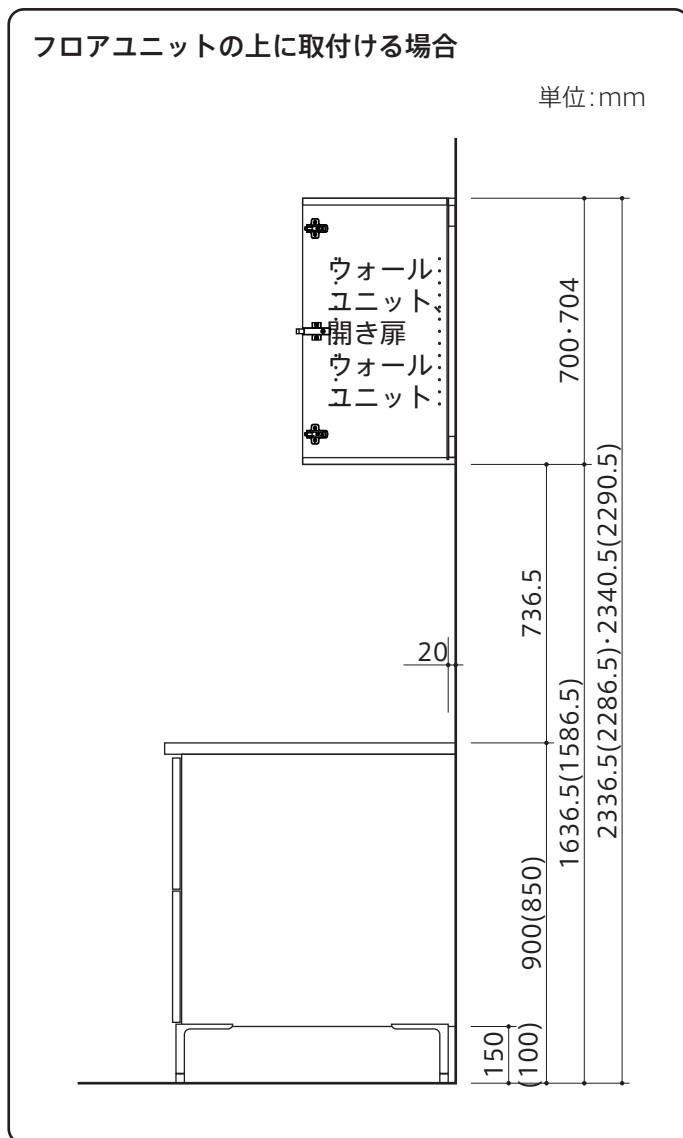
開き扉ウォールユニットの場合

単位:mm



■取付位置 [側面図]

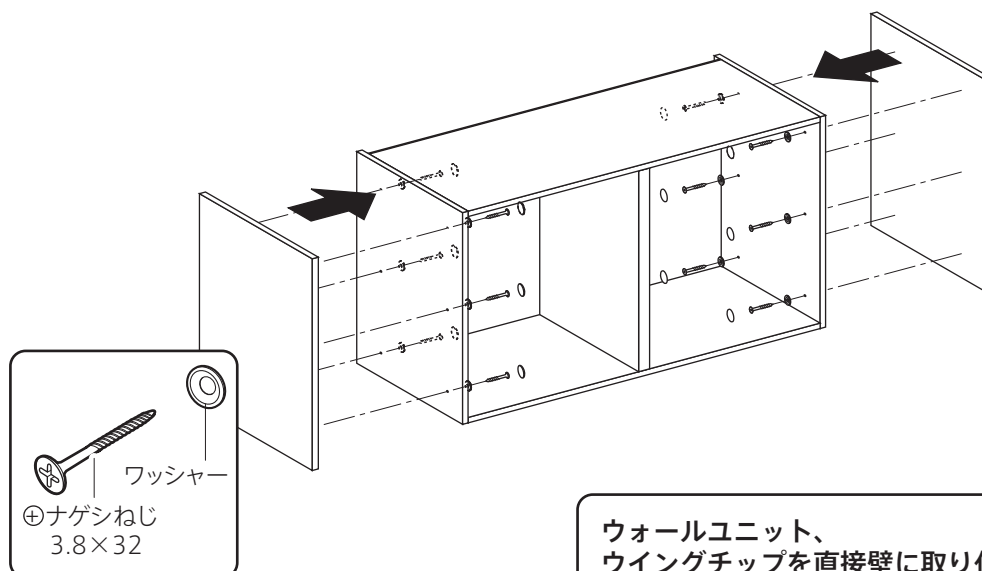
※ () 内寸法は、A F仕様【H=100】の場合を示す。



3 ユニットの固定と仕上げ -11

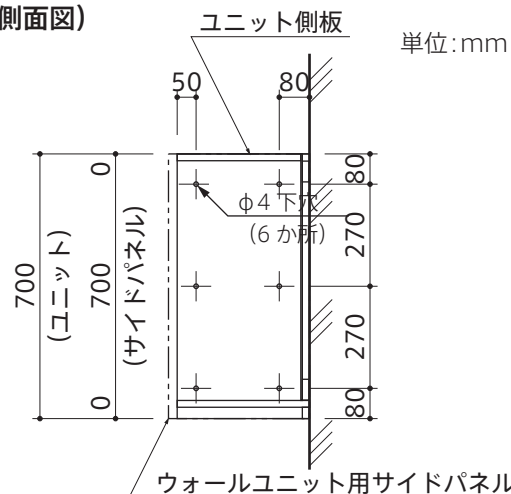
12 ウォールユニット用サイドパネルを取り付ける

ウォールユニットの側板にサイドパネルを取り付けます。

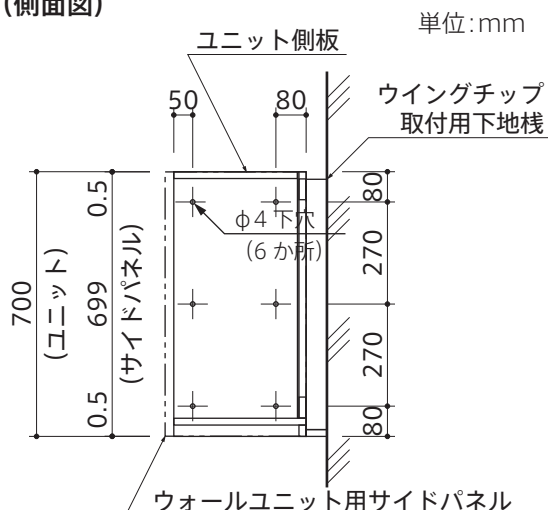


⊕ナゲシねじ (3.8×32) にワッシャーを通して固定します。固定したあと、ヘッドキャップカバーを取り付けます。

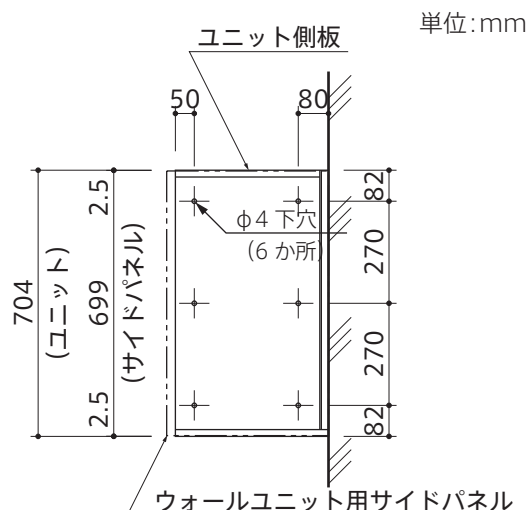
ウォールユニット、
ウイングチップを直接壁に取り付ける場合
(側面図)



ウイングチップ取付用下地棧を取り付ける場合
(側面図)



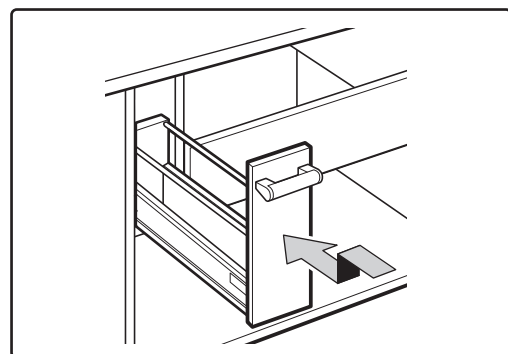
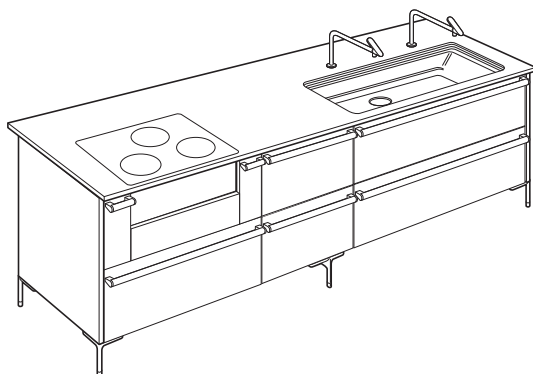
開き扉ウォールユニットの場合 (側面図)



13 引き出しの取り付け

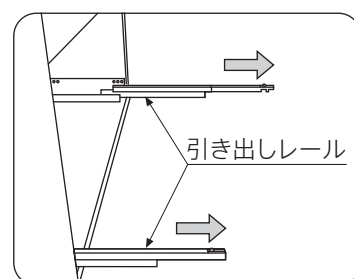
スチール製引き出し（間口 150mm）の場合

引き出しレールをいっぱいまで引き出して、引き出しをのせて、ユニットにおさめます。

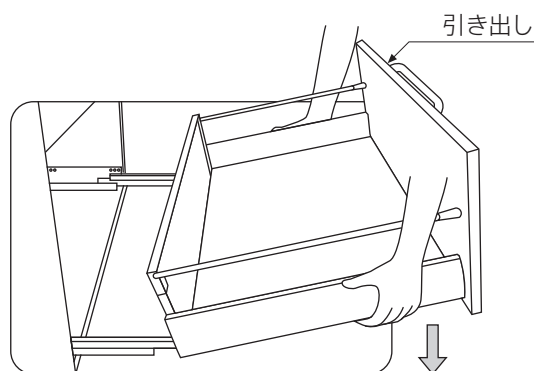


ブルム社製フルエクステンション引き出し（間口 150mm 以外）の場合

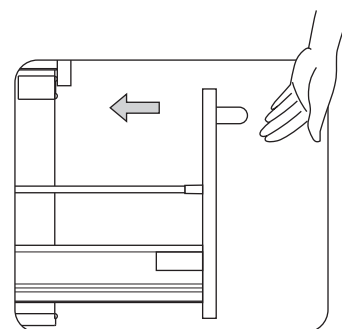
①引き出しレールをいっぱいまで引き出します。



②引き出しレールの上に引き出しをのせます。



③引き出しを「パチン」と音がするまで奥へ押し込んで、引き出しレールに固定します。

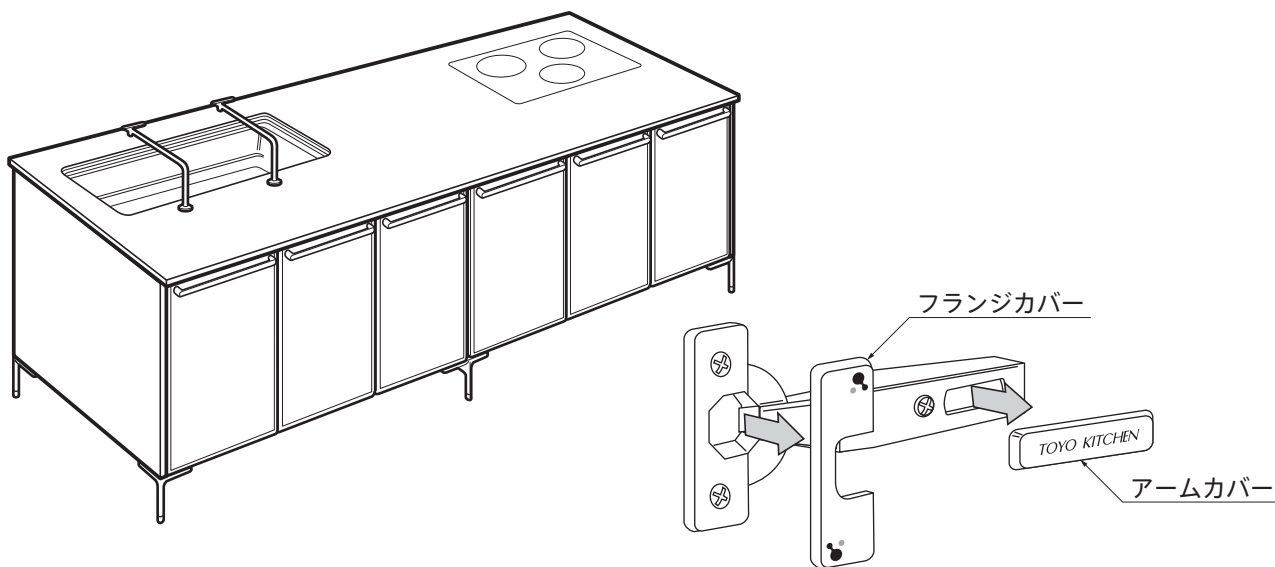


3 ユニットの固定と仕上げ -12

14 扉を取り付ける (アイランド開き扉ユニット／ガラス扉ユニットの場合)



アイランドタイプまたはペニンシュラタイプの対面側に、アイランド開き扉ユニット／ガラス扉ユニットを取り付ける場合、扉を取り付けます。
扉（丁番）を取り付け後、アームカバーとフランジカバーを取り付けます。



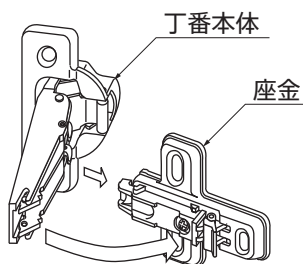
丁番の取り付け、取り外し

49

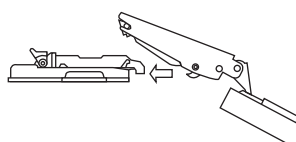
扉（丁番）の取り付け、取り外し方法を説明します。

■取り付け

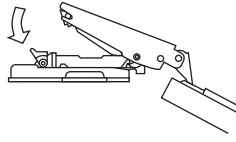
- ・ 丁番本体を座金に取り付けます。



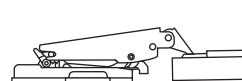
1



2

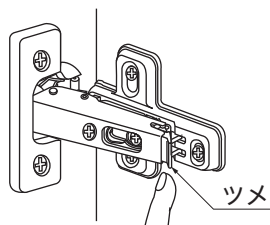


3

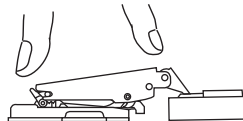


■取り外し

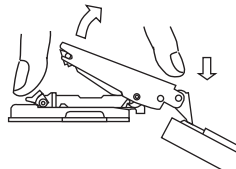
- ・ ツメを押して座金から丁番本体を取り外します。



1



2

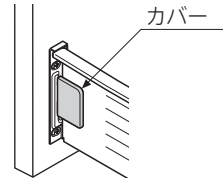


引き出し前板の調整を行う

引き出し前板の目地を確認し、調整を行います。

スチール製引き出し（間口 150mm）の場合

(1) 引き出し側板の左右外側についているカバーを取り外す

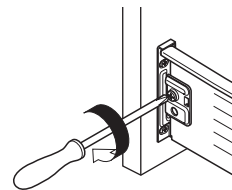
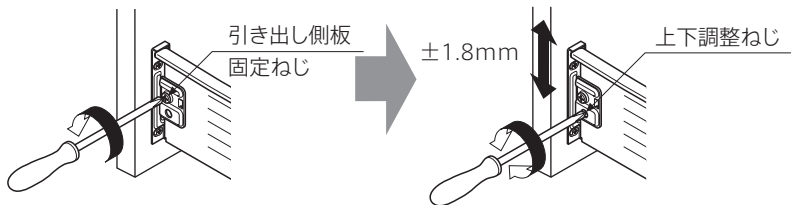


(2) 調整を行う

■上下方向

①引き出し側板固定ねじをゆるめ、上下調整ねじで上下方向の調整を行います。
±1.8mm 調整できます。

②引き出し側板固定ねじを締めます。

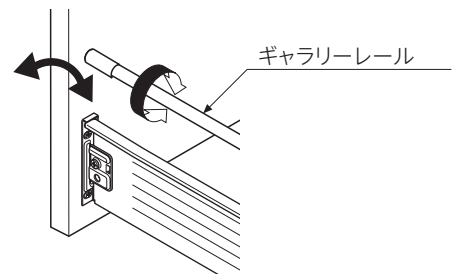
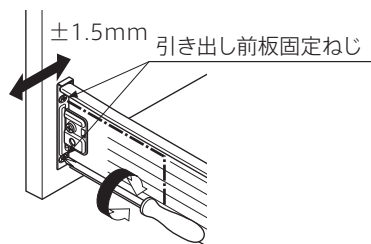


■左右方向

①引き出し前板固定ねじをゆるめ、左右方向の調整を行います。±1.5mm 調整できます。
②引き出し前板固定ねじを締めます。

■傾き

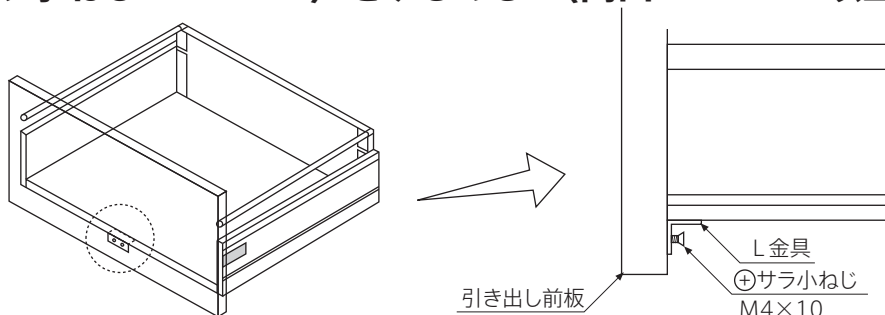
ギャラリールールを回して、傾きを調整します。



(3) 引き出し側板の左右外側にカバーを取り付ける

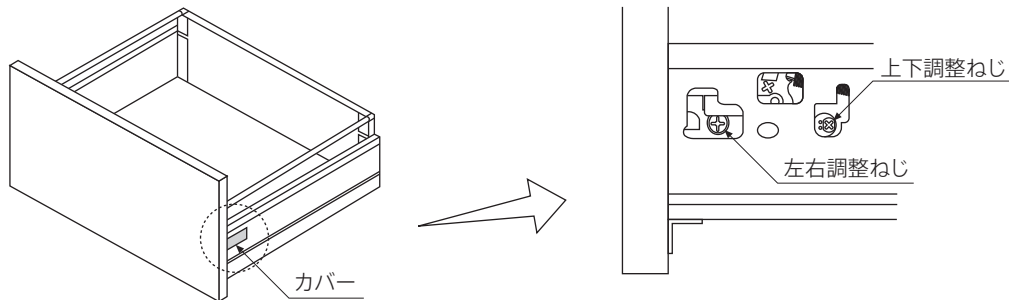
ブルム社製フルエクステンション引き出し（間口 150mm 以外）の場合

(1) 底板裏面についている L 金具の引き出し前板側の取り付けねじ（⊕サラ小ねじ M4×10）をゆるめる（間口 750mm 以上の場合）



3 ユニットの固定と仕上げ -13

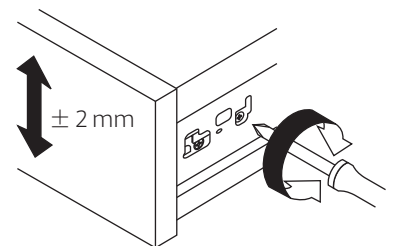
(2) 引き出し側板の左右外側についているカバーを取り外す



(3) 調整を行う

■上下方向

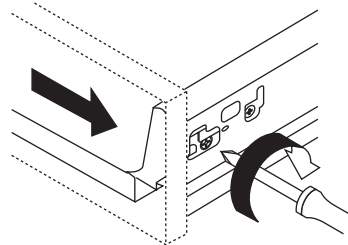
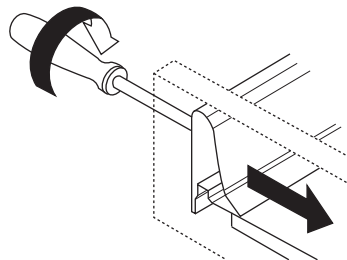
上下調整ねじで上下方向の調整を行います。±2 mm 調整できます。



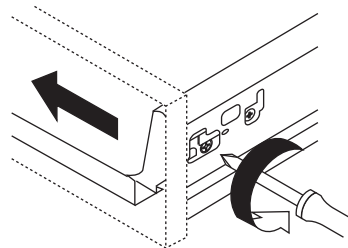
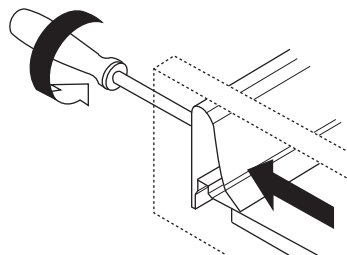
■左右方向

左右調整ねじで左右方向の調整を行います。±1 mm 調整できます。

右へ1 mm

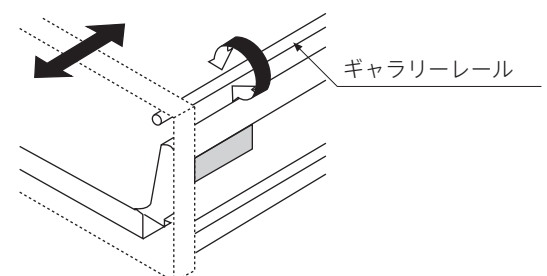


左へ1 mm



■傾き

ギャラリーレール付きの引き出しのみ調整可能です。
ギャラリーレールを回して、傾きを調整します。

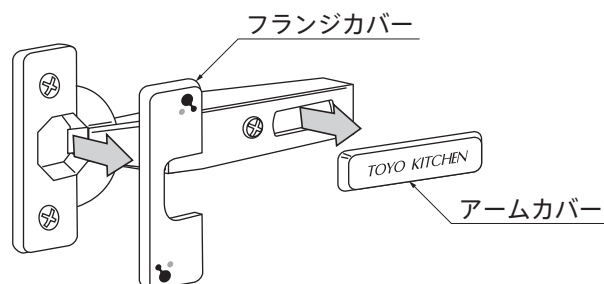


(4) 引き出し側板の左右外側にカバーを取り付ける

丁番の調整を行う (アイランド開き扉ユニット／ガラス扉ユニット／ フロントパネル点検口の場合)

目地を確認し、調整を行います。

※調整を行う前に、アームカバーとフランジカバーを外してください。



■上下方向の調整

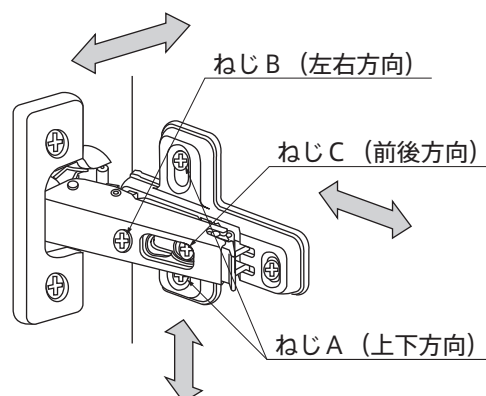
- ・座金のねじAをゆるめ、上下の位置を定めて固定します。

■左右方向の調整

- ・ねじBで調整します。

■前後方向の調整

- ・ねじCで調整します。
- ※基本的には調整しません。



4 オプションの取り付け-1

ステンレス配管カバー

(1) 取付板を給水給湯管、排水管、ガス管位置に取り付ける

両面テープ（市販品）またはねじ（市販品）にて床面に固定します。

(2) 本体に⊕バインド小ねじ（M4×12）を2か所取り付ける

ねじを最後まで締め付けず、1.5 mm程度の余裕を残しておきます。

(3) 本体を給水給湯管、排水管、ガス管にかぶせる

(4) 本体を狭めながら、取付ねじ（⊕バインド小ねじ）を取付板の長穴に差し込んで固定する

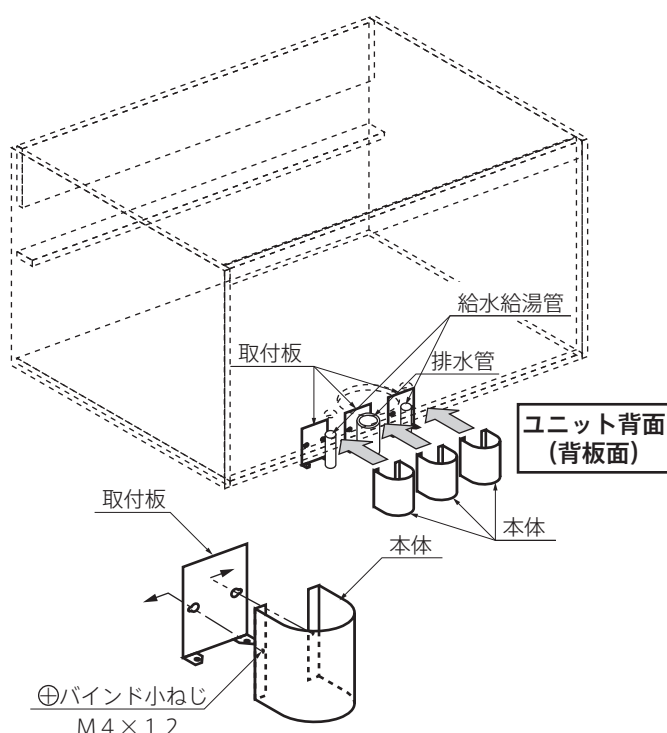
※ガタつきが大きい場合は取付ねじを締め付けて固定してください。

■ステンレス配管カバーを3個使用した場合の取り付け例



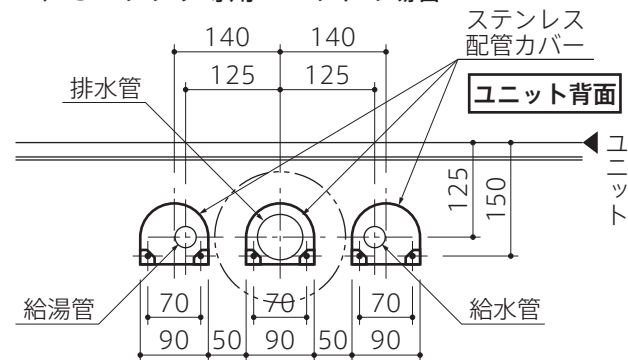
アイランドタイプ、
ペニンシュラタイプの場合

53

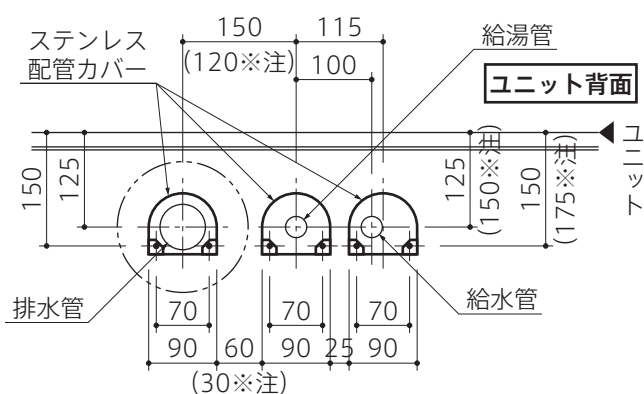


納まり図

■2 D / 3 Dシンク専用ユニットの場合



■2 D Sシンク専用ユニットの場合



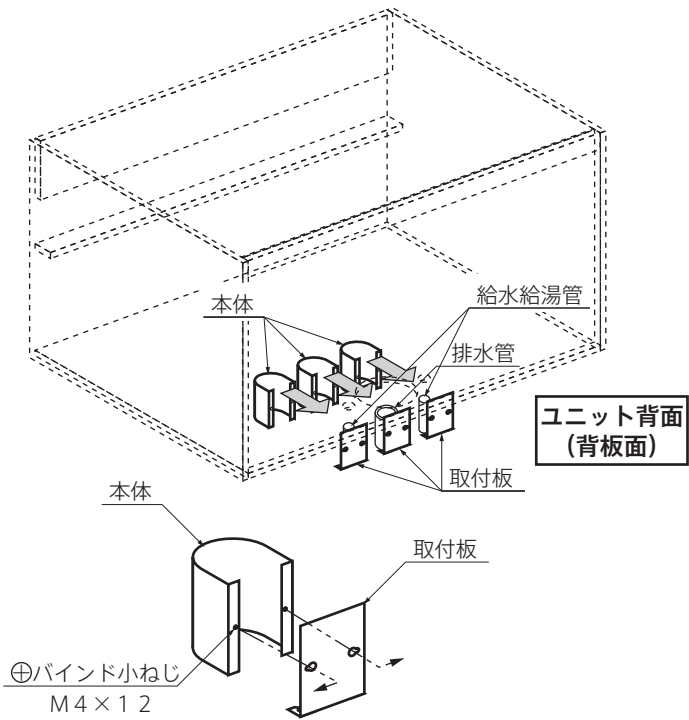
※図はRタイプを示し、Lタイプは対称となりますが、給水・給湯の配置（左側：給湯、右側：給水）は変わりません。

※注 () 内寸法は、整水器 [OH-A23N] を取付ける場合を示す。

オプションの取り付けについて、それぞれ説明しています。

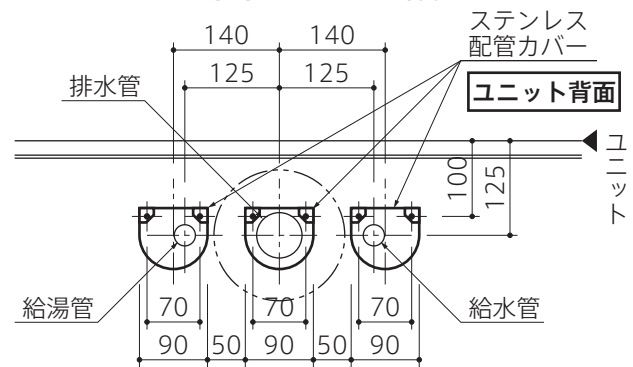


オンウォールタイプの場合

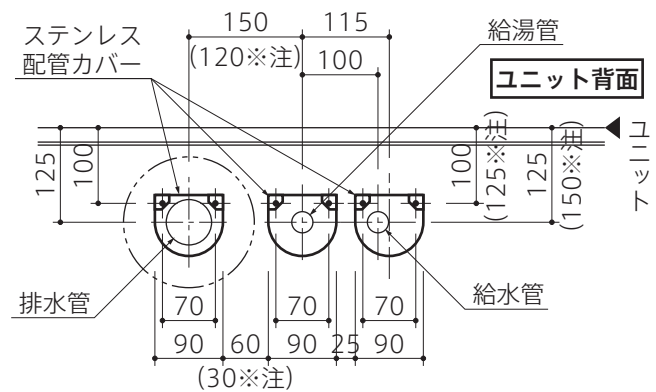


納まり図

■ 2 D / 3 D シンク専用ユニットの場合



■ 2 D S シンク専用ユニットの場合



※図は R タイプを示し、L タイプは対称となりますが、給水・給湯の配置（左側：給湯、右側：給水）は変わりません。

※注 () 内寸法は、整水器 [OH-A23N] を取付ける場合を示す。

4 オプションの取り付け-2

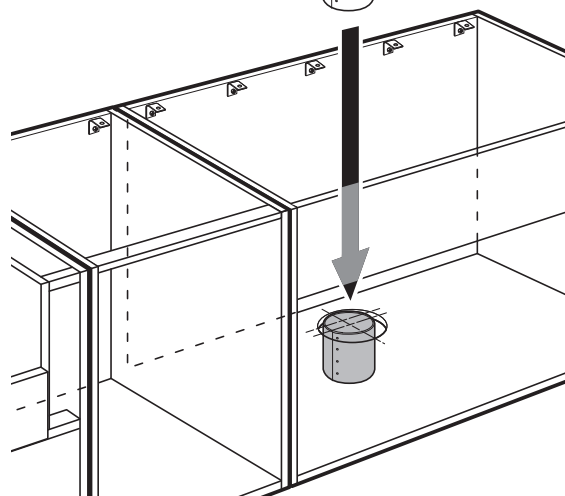
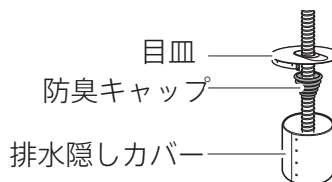
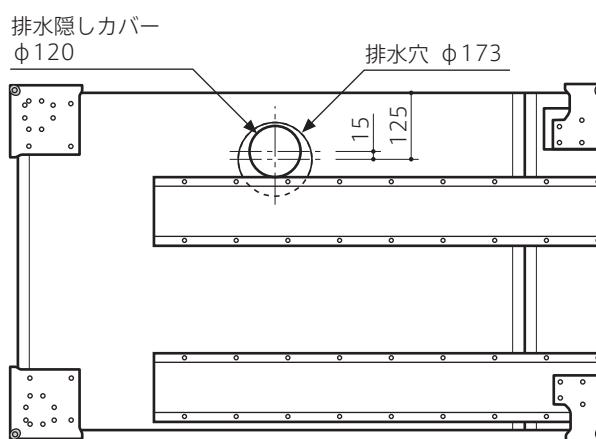
排水隠しカバー

排水管の配管を行う前に、排水管が隠れるようにシンクユニットの穴から排水隠しカバーを差し込みます。



アイランドタイプまたはペニンシュラタイプの場合、連結プレートに干渉するため、排水隠しカバーを対面側へ15mmずらします。

(ユニット底面)

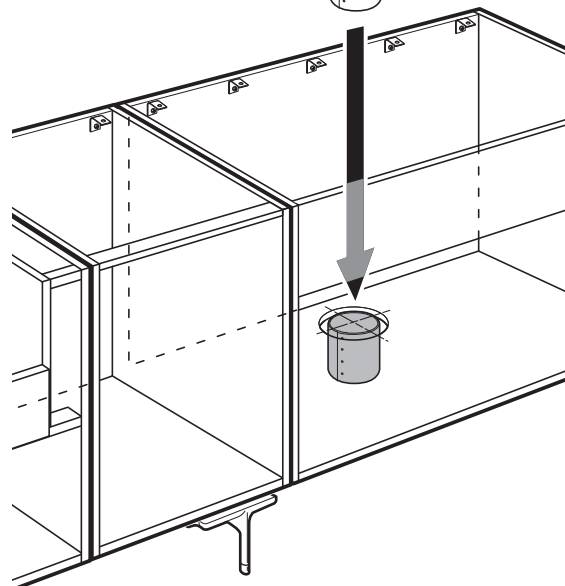
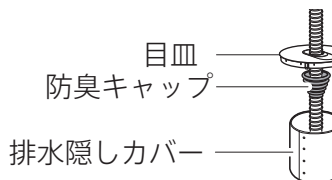
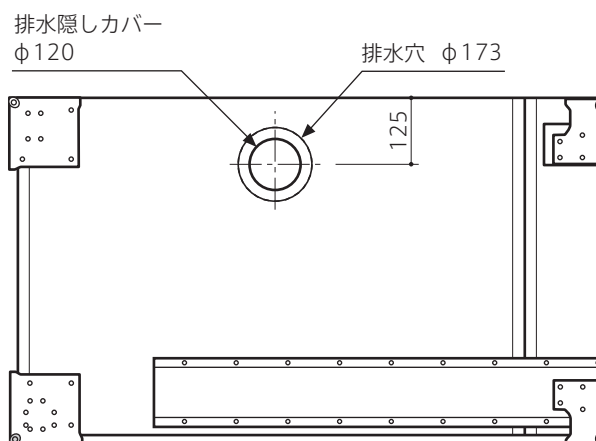


55



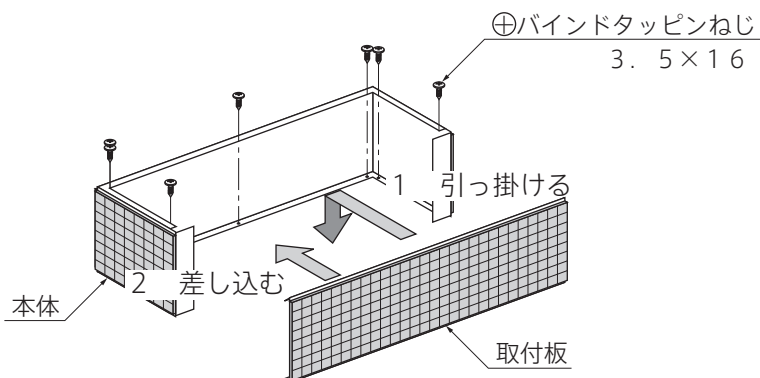
オンウォールタイプの場合、排水隠しカバーは排水穴の中心を通るように設置します。

(ユニット底面)

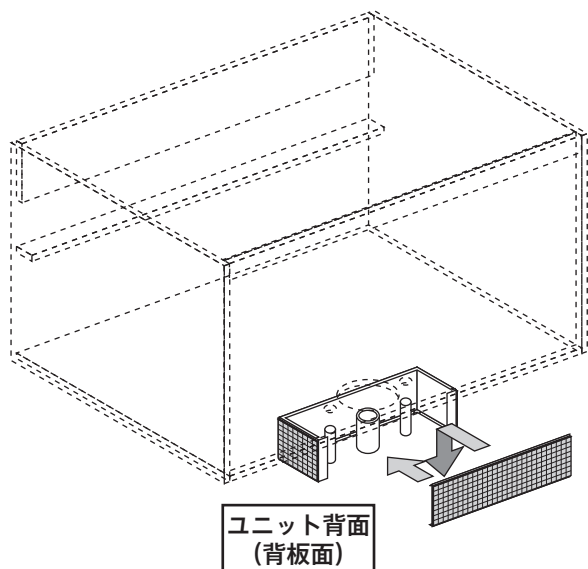


配管ボックス (モザイク、ステンレス共通)

- ①本体を給水給湯管、排水管位置に両面テープ (市販品) または付属の⊕バインドタッピンねじ (3. 5×16) 7ヶ所にて床面に固定します。
- ②取付板上部を本体に引っ掛け、取付板下部を本体と床とのすき間に差し込みます。



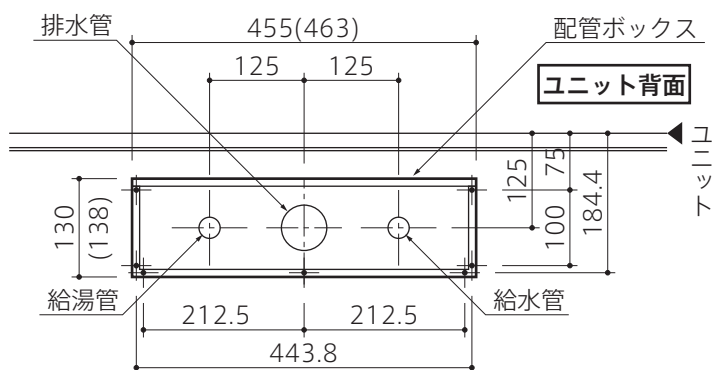
アイランドタイプ、
ペニンシュラタイプの場合



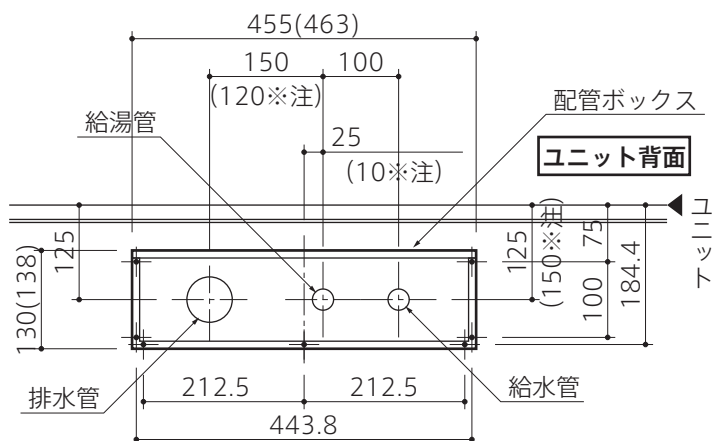
納まり図

※ () 内寸法は、モザイクの場合を示す。

■ 2 D / 3 D シンク専用ユニットの場合



■ 2 D S シンク専用ユニットの場合



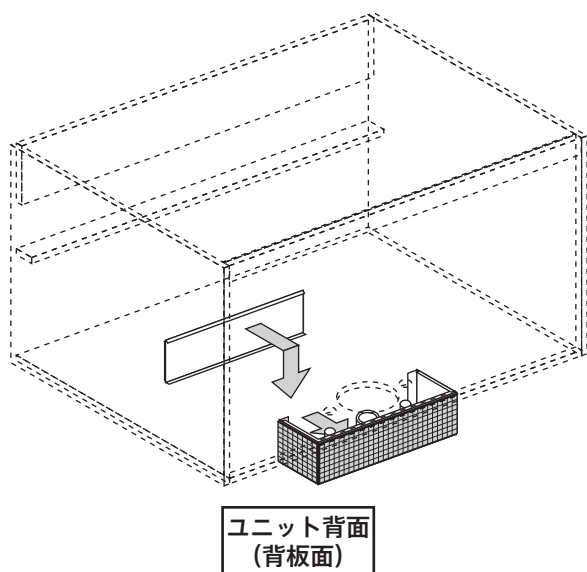
※図はRタイプを示し、Lタイプは対称となりますが、給水・給湯の配置 (左側: 給湯、右側: 給水) は変わりません。

※注 () 内寸法は、整水器 [OH-A23N] を取付ける場合を示す。

4 オプションの取り付け-3



オンウォールタイプの場合

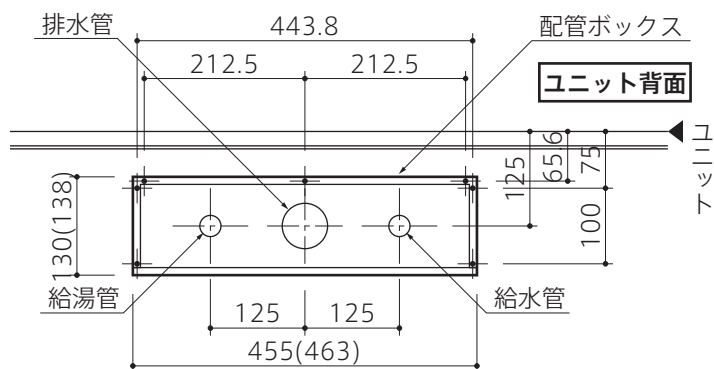


57

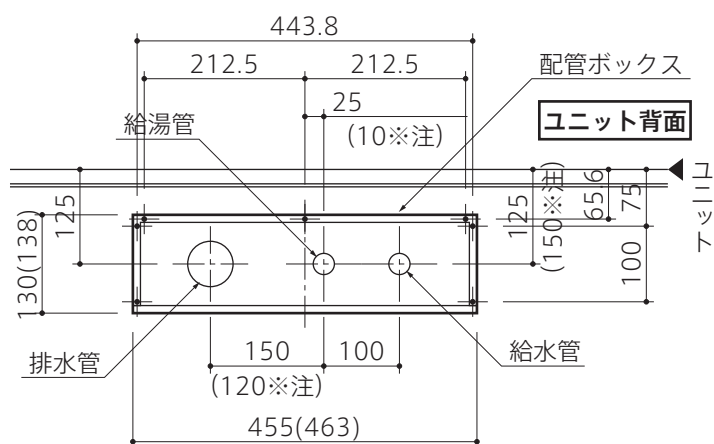
納まり図

※ () 内寸法は、モザイクの場合を示す。

■ 2 D / 3 D シンク専用ユニットの場合



■ 2 D S シンク専用ユニットの場合



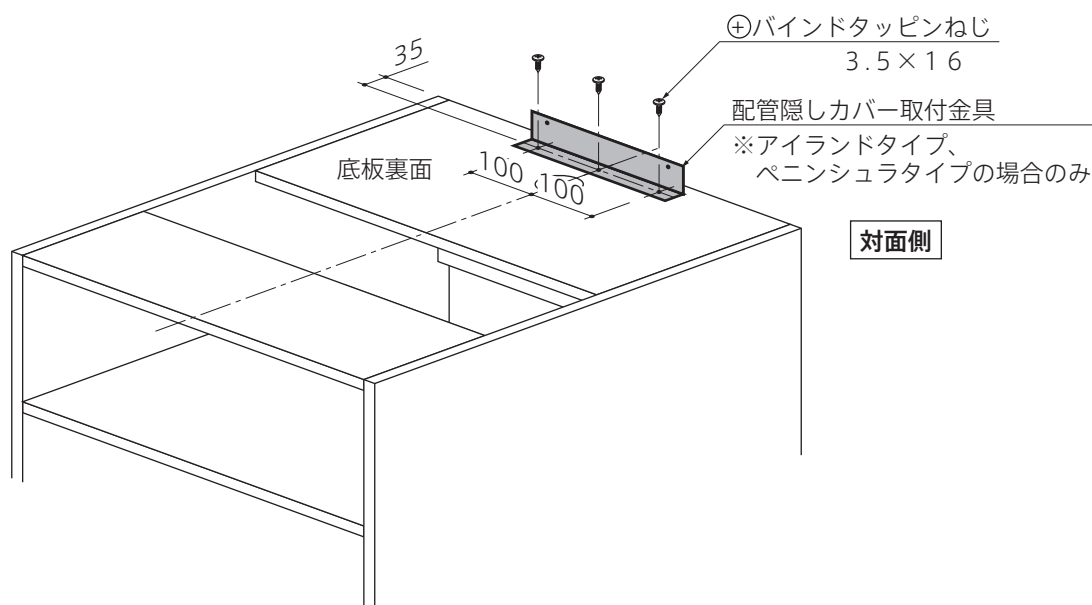
※図はRタイプを示し、Lタイプは対称となりますが、給水・給湯の配置（左側：給湯、右側：給水）は変わりません。

※注 () 内寸法は、整水器 [OH-A23N] を取付ける場合を示す。

プルオープン食器洗い乾燥機ユニット用配管隠しカバー 1

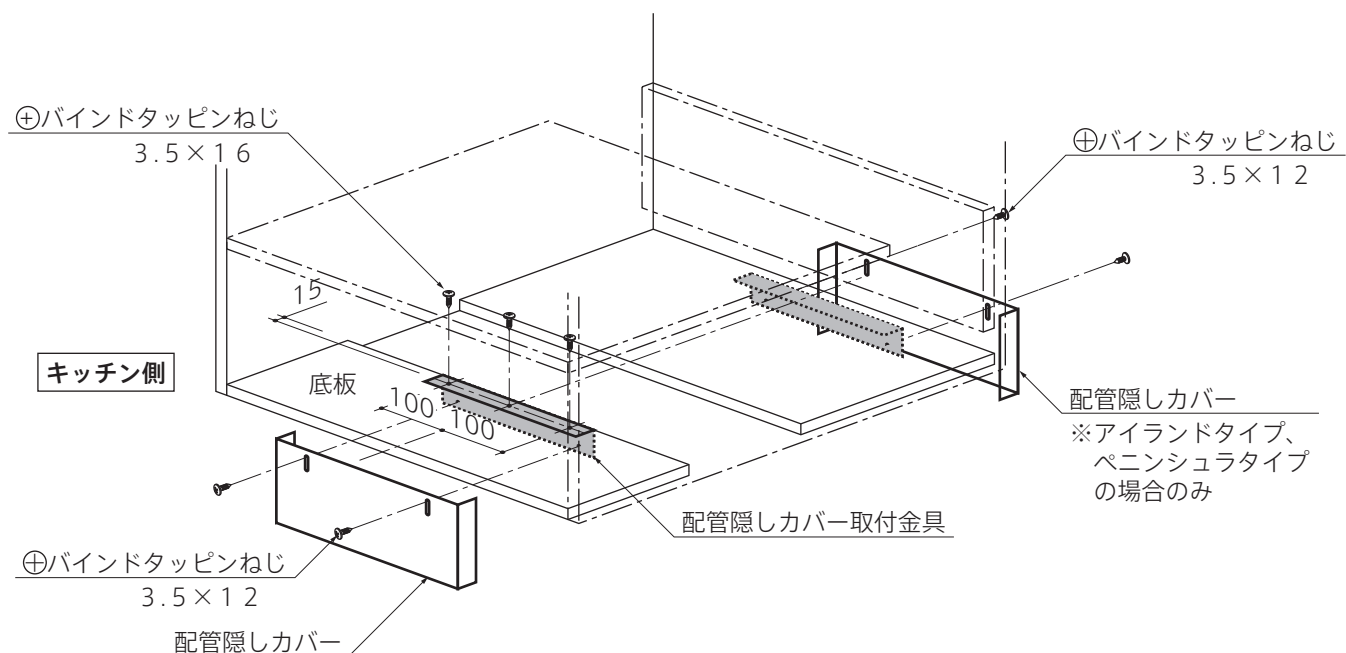
- ①アイランドタイプまたはペニンシュラタイプの場合のみ、プルオープン食器洗い乾燥機ユニットの対面側の底板に配管隠しカバー取付金具を取り付けます。
底板裏面の指定位置に、⊕バインドタッピンねじ（ 3.5×16 ）にて3か所固定します。

※配管隠しカバー取付金具がCORE AF用スペーサーに干渉して取り付けられないときは、CORE AF用スペーサーの取り付け位置をずらします。



58

- ②プルオープン食器洗い乾燥機ユニットを指定位置に取り付けます。
③プルオープン食器洗い乾燥機ユニットのキッチン側の底板に配管隠しカバー取付金具を取り付けます。底板の指定位置に引っ掛けるようにして⊕バインドタッピンねじ（ 3.5×16 ）にて3か所固定します。
④配管隠しカバーを配管隠しカバー取付金具に取り付けます。
⊕バインドタッピンねじ（ 3.5×12 ）にて2か所固定します。



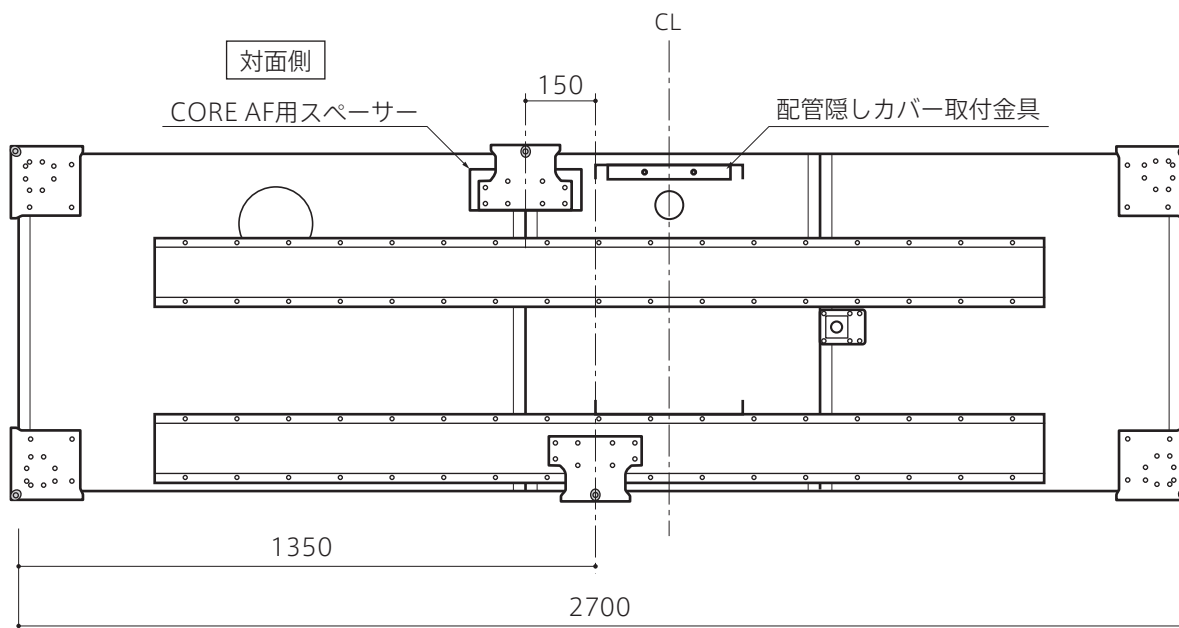
4 オプションの取り付け-4

■配管隠しカバーがCORE AF用スペーサーに干渉する場合

※アイランドタイプまたはペニンシュラタイプの場合、配管隠しカバー取付金具がCORE AF用スペーサーに干渉して取り付けられないときは、CORE AF用スペーサーの取り付け位置を左右どちらか150mmずらします。

(※図の例では、シンクユニット側へ150mm ずらしています。)

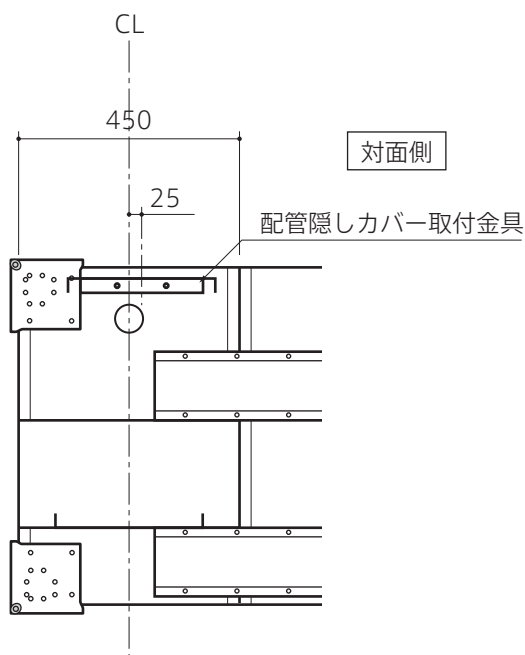
CORE AF用スペーサーはユニットの連結部（継ぎ目）上でも取り付けられます。



59

■間口450mmの食洗機ユニットがキッチンの端にくる場合

※アイランドタイプまたはペニンシュラタイプの場合、対面側の配管隠しカバー取付金具の取り付け位置をセンターから25mmずらします。



プルオープン食器洗い乾燥機ユニット用配管隠しカバー 2

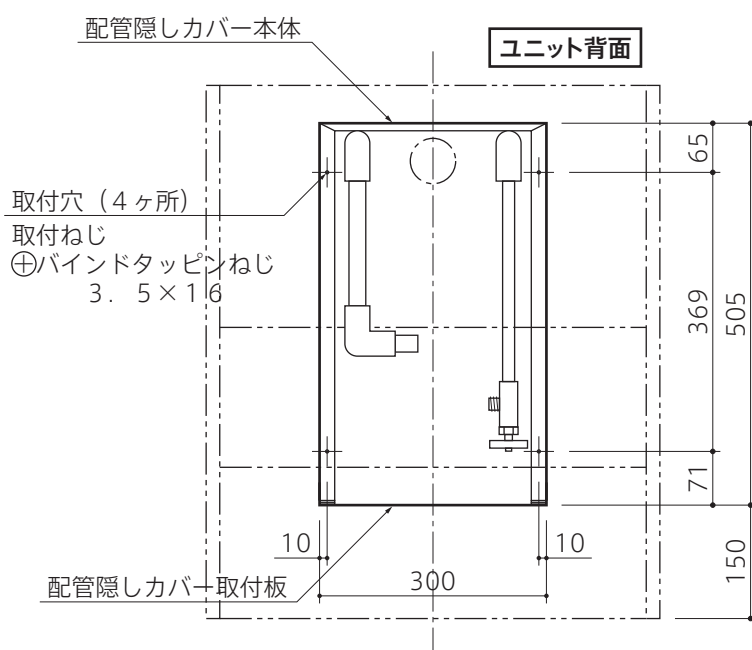
※床立ち上げ配管専用です。

①配管隠しカバー本体を床面の指定位置に固定します。

配管隠しカバー本体を⊕バインドタッピンねじ（3.5×16）または、両面テープ（市販品）にて床面に固定します。

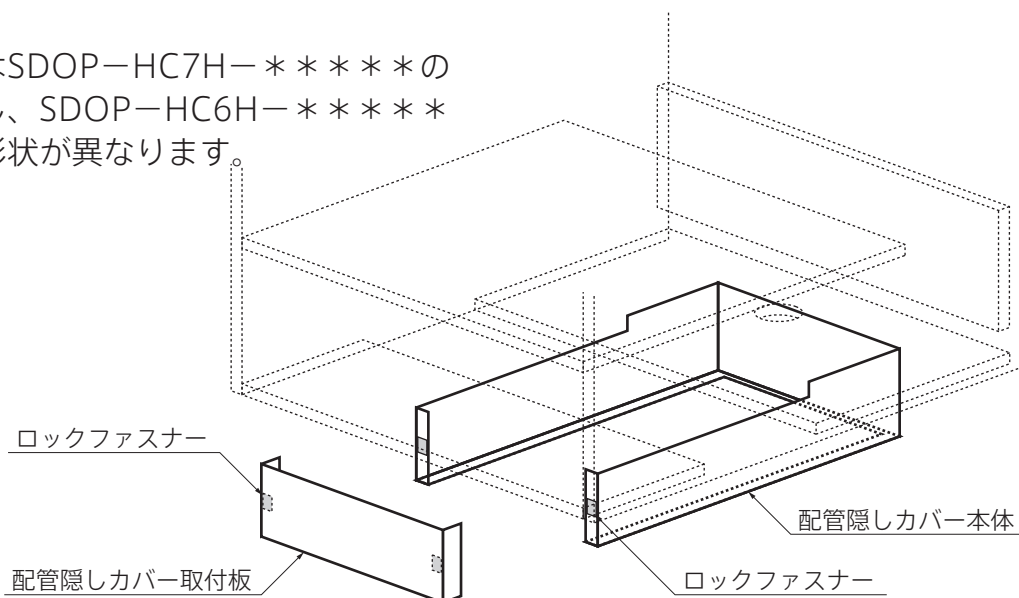
②配管隠しカバー取付板と配管隠しカバー本体のロックファスナー（2ヶ所）の位置を合わせ、前面から押さえて固定します。

納まり図



60

※イラストはSDOP-HC7H-*****の
場合を示し、SDOP-HC6H-*****
の場合は形状が異なります。



4 オプションの取り付け-5

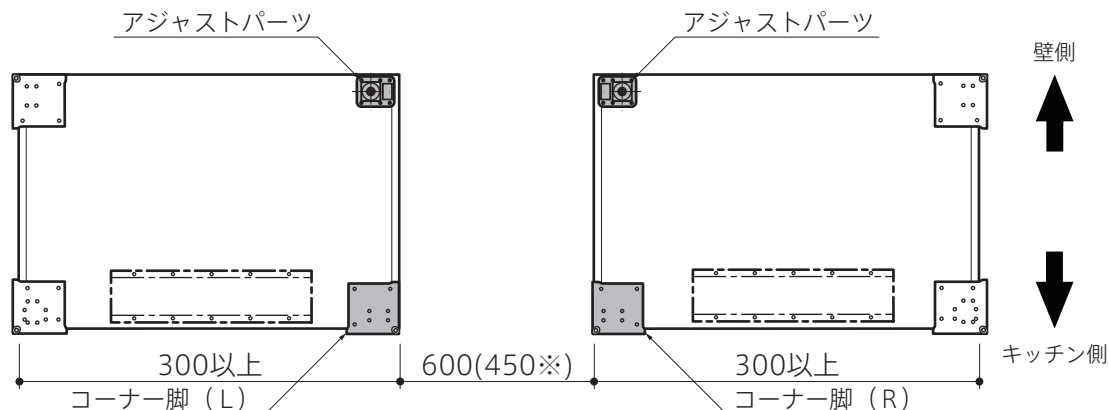
CORE AF (ミーレ/AEG/GAGGENAU食洗機、オープンレンジ、オープンフロアユニットの場合)

ミーレ/AEG/GAGGENAU食洗機、オープンレンジ、オープンフロアユニットを設置する場合、下記のようにCORE AFを取り付けます。

◎隣に間口300mm以上のユニットがくる場合

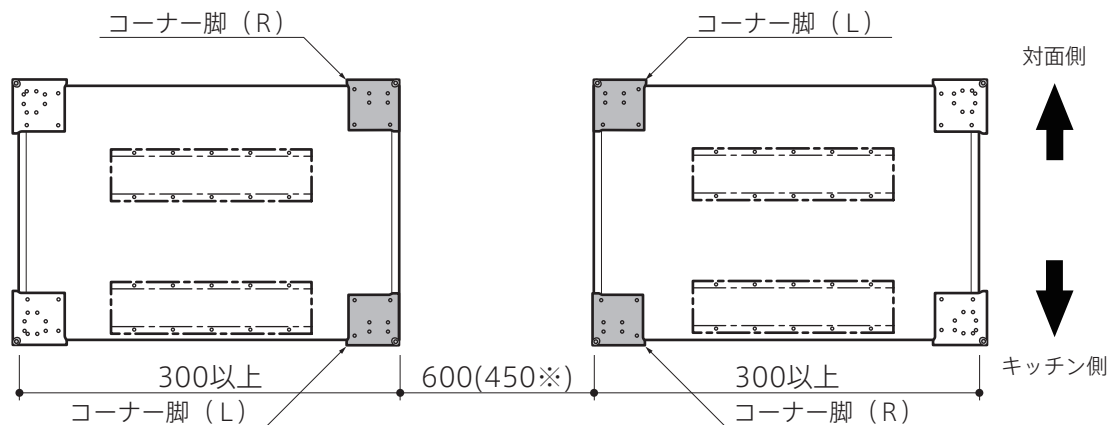
注 ※印はオープンレンジには対応していません

■オンウォールタイプの場合

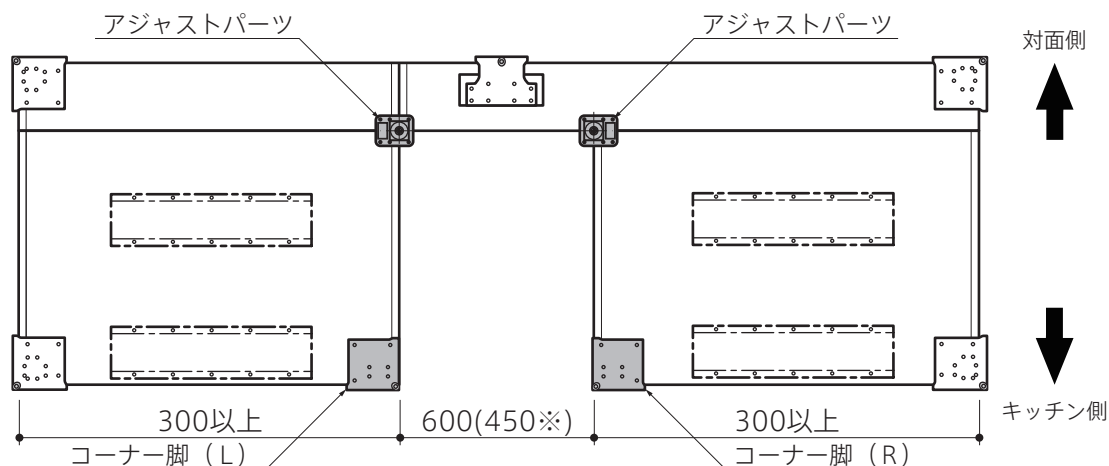


■アイランドタイプ、ペニンシュラタイプの場合

対面側がフロントパネルの場合



対面側がアイランド開き扉ユニット/ガラス扉ユニットの場合

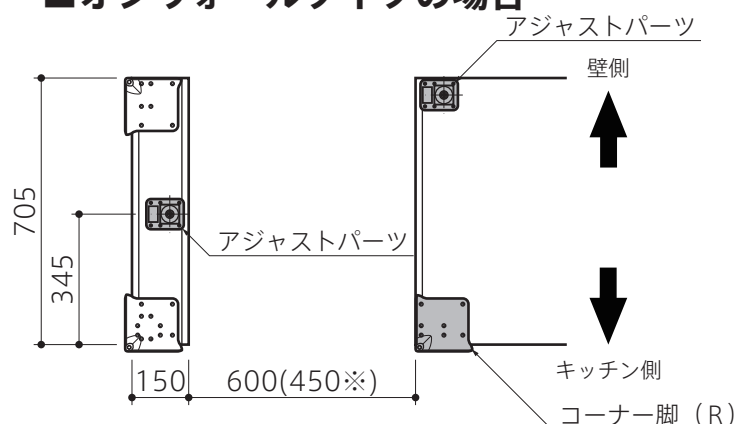


※イラストはRタイプを示し、Lタイプは対称とする。

◎隣に間口150mmユニットがくる場合

■オンウォールタイプの場合

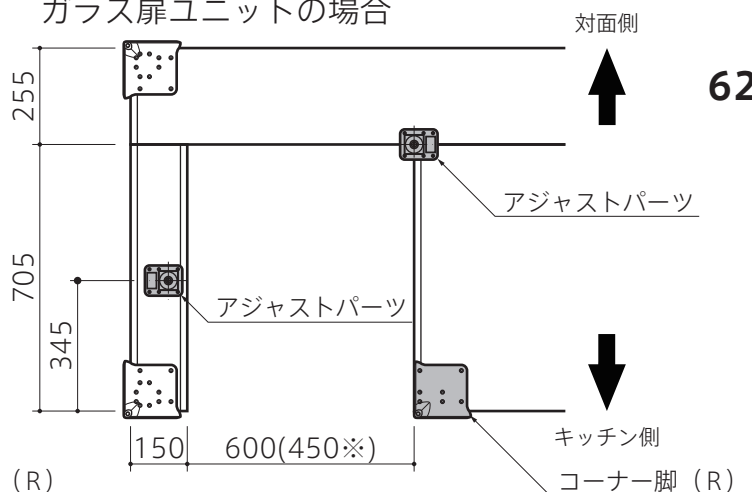
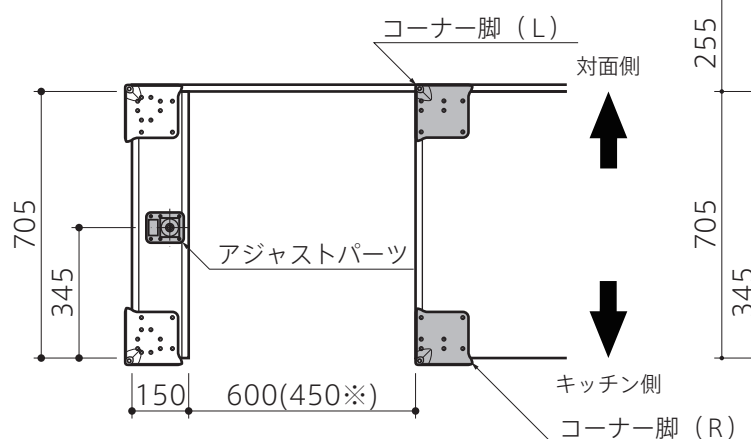
注 ※印はオープンレンジには対応していません



■アイランドタイプ、ペニンシュラタイプの場合

対面側がフロントパネルの場合

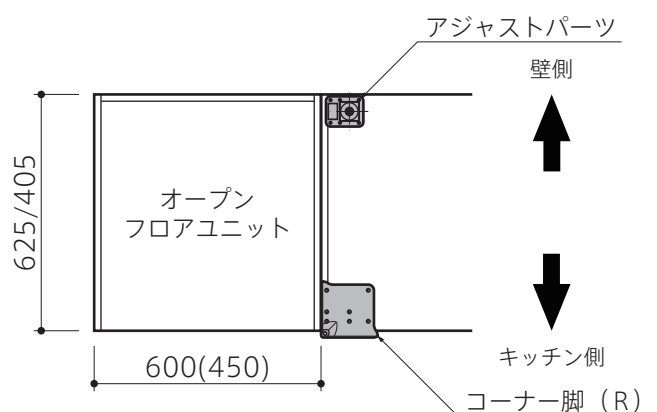
対面側がアイランド開き扉ユニット／
ガラス扉ユニットの場合



62

◎オープンフロアユニットがある場合

■オンウォールタイプの場合のみ



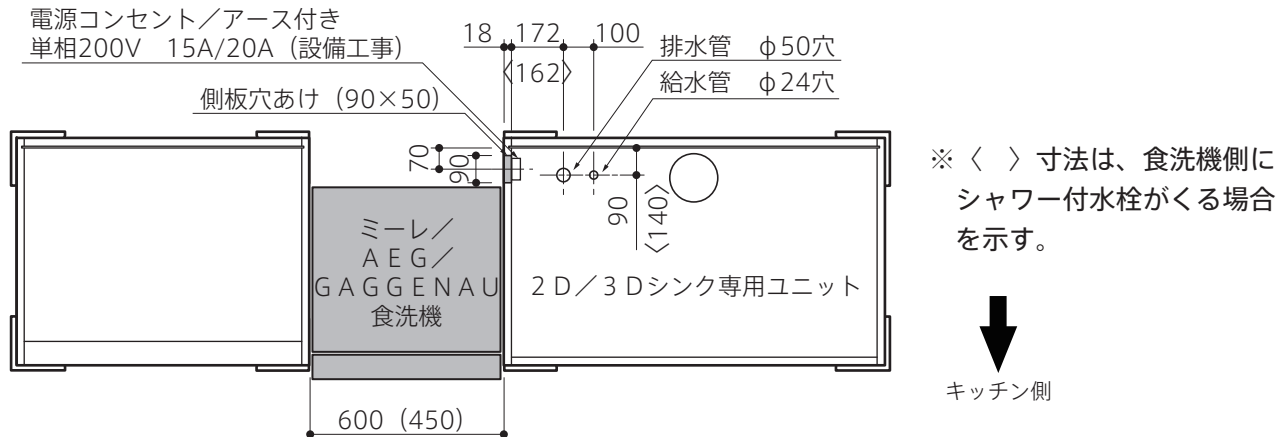
4 オプションの取り付け-6

食器洗い乾燥機配管図 (ミーレ/AEG/GAGGENAU食洗機の場合)

食器洗い乾燥機の配管をシンクユニット内で行う場合、下記のように行います。

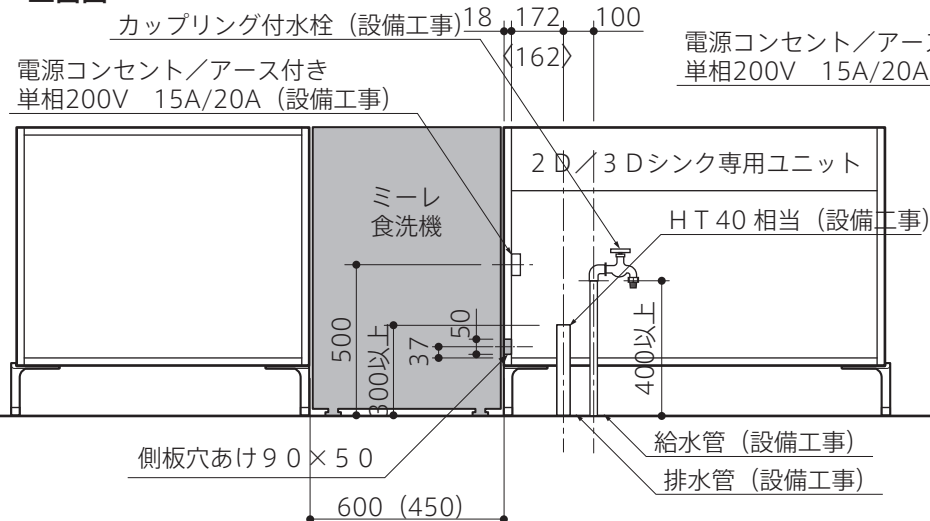
■ 2 D、3 Dシンク専用ユニットの場合

平面図

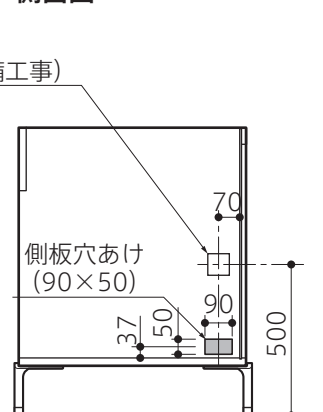


ミーレ食洗機の場合

正面図

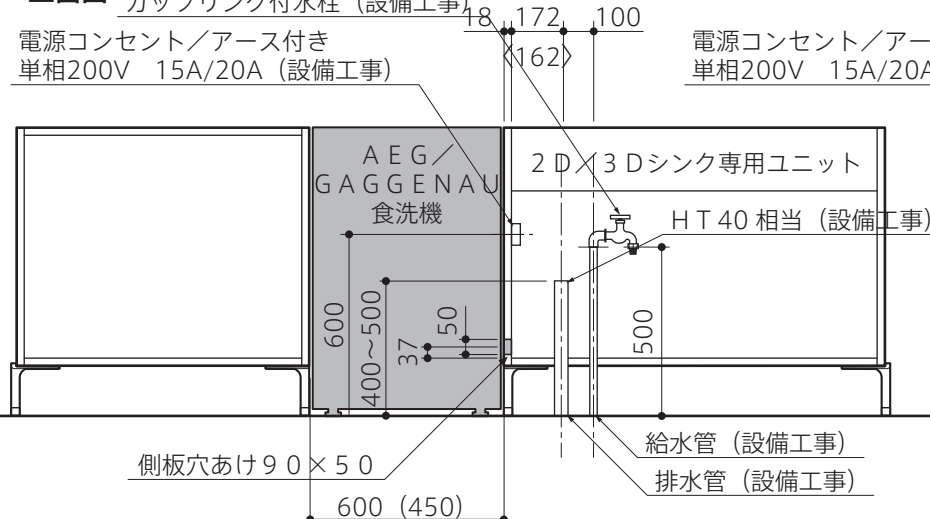


側面図

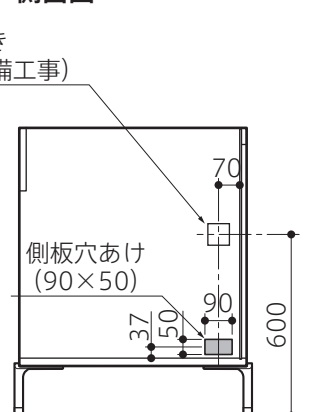


AEG/GAGGENAU食洗機の場合

正面図



側面図

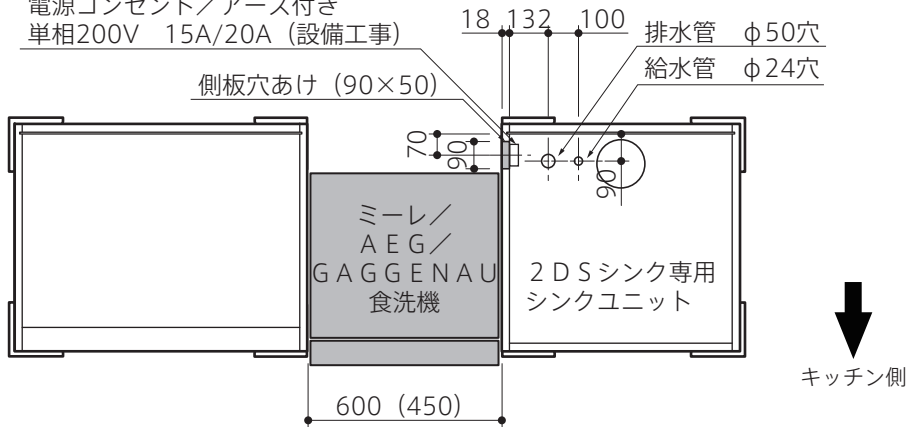


単位 : mm

■ 2 D S シンク専用ユニットの場合

平面图

電源コンセント／アース付き
単相200V 15A/20A (設備工事)

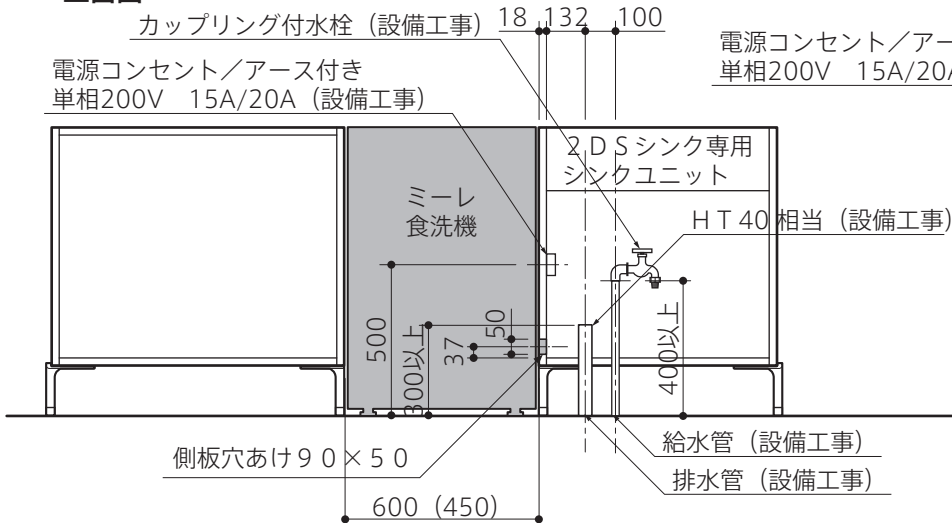


ミーレ食洗機の場合

正面図

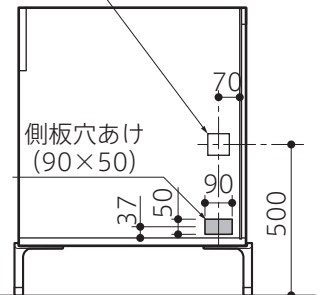
カップリング付水栓（設備工事） 18 132 100

電源コンセント／アース付き
単相200V 15A/20A（設備工事）



側面図

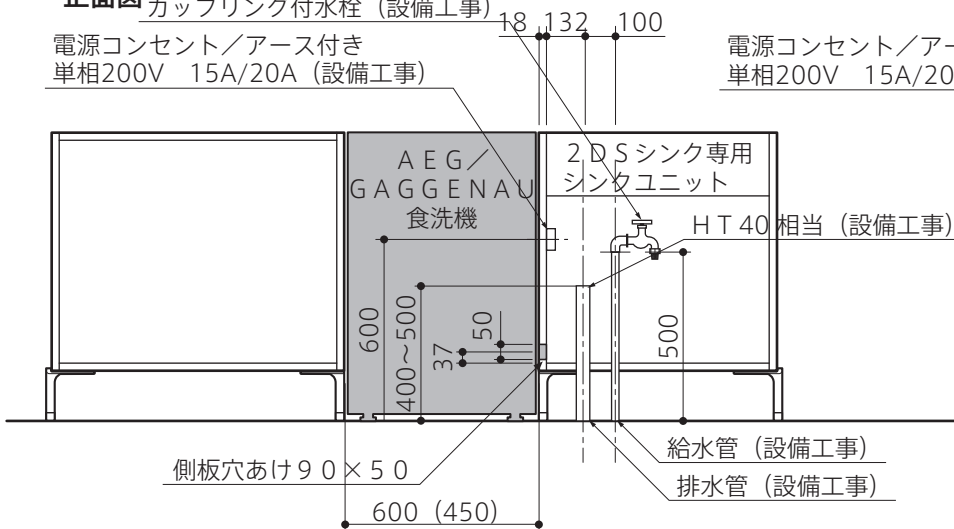
電源コンセント／アース付き
単相200V 15A/20A (設備工事)



AEG/GAGGENAU食洗機の場合

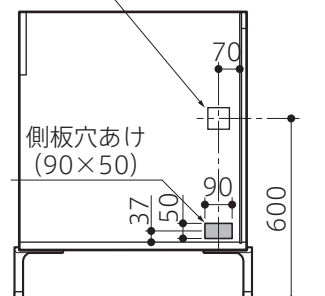
正面図

電源コンセント／アース付き
単相200V 15A/20A (設備工事)



側面図

電源コンセント／アース付き
単相200V 15A/20A（設備工事）

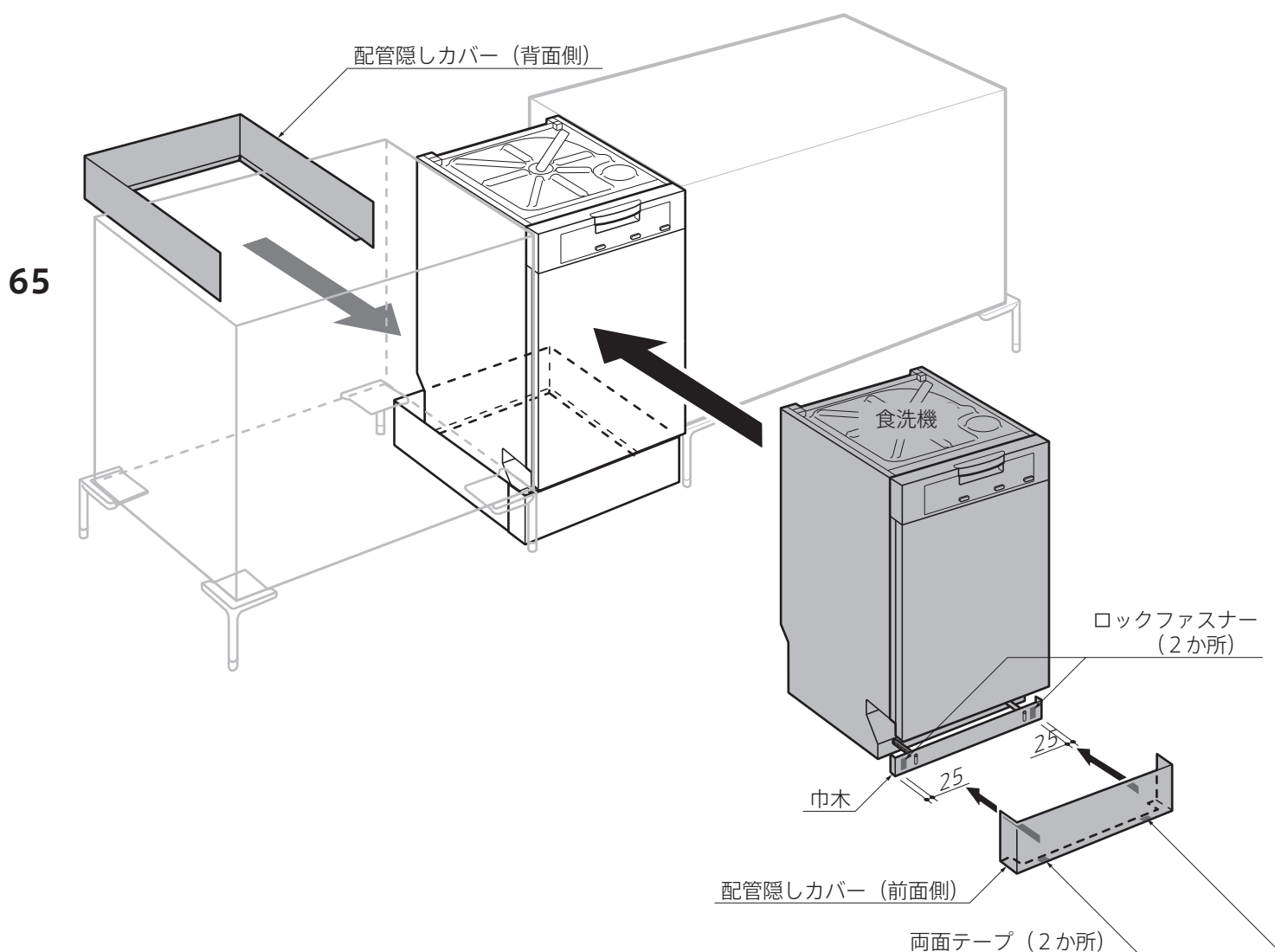


単位 :mm

4 オプションの取り付け-7

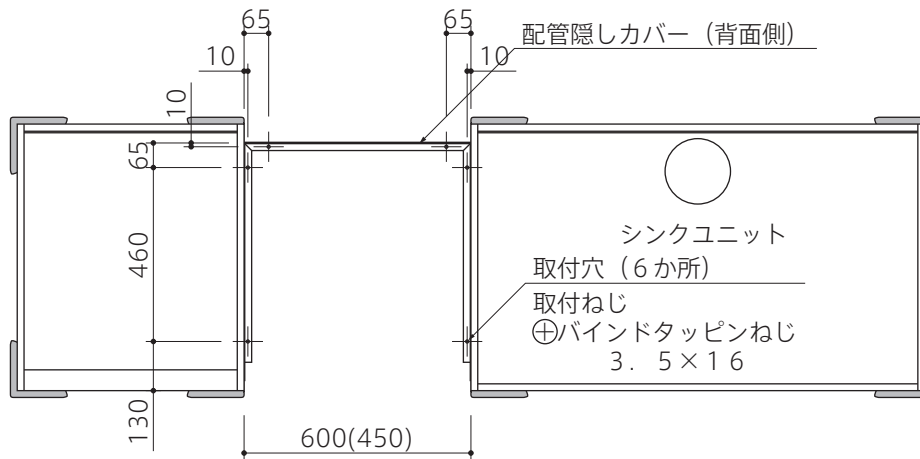
ミーレ食器洗い乾燥機用配管隠しカバー

- ①背面側の配管隠しカバーを床面の指定位置に固定します。
背面側の配管隠しカバーを⊕バインドタッピンねじ（3.5×16）6か所または、両面テープ（市販品）にて床面に固定します。
- ②ミーレ食洗機を設置します。
- ③ミーレ食洗機の中木の指定位置に付属のロックファスナー（2か所）を貼り付けます。
- ④中木に貼り付けたロックファスナーのはく離紙を剥がし、前面側の配管隠しカバーを背面側の配管隠しカバーにかぶせるようにしてミーレ食洗機の中木に貼り付け、床面は両面テープ（2か所）にて固定します。

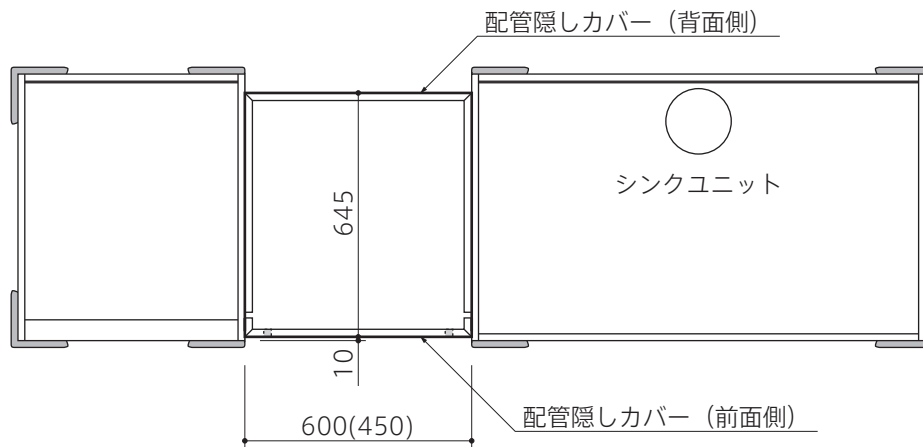


配管隠しカバー（背面側）納まり図 [平面図]

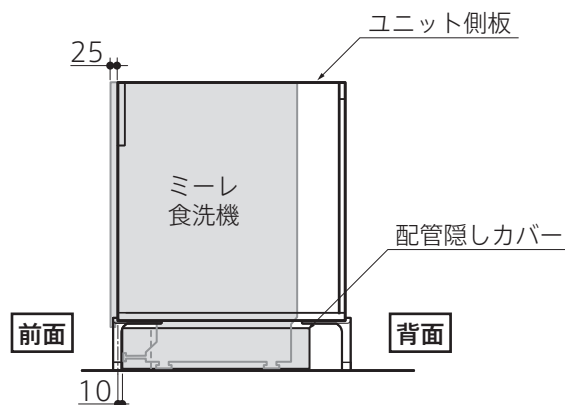
※取付穴は配管隠しカバー（背面側）を取付ねじで固定する場合を示す。



配管隠しカバー（前面側）納まり図 [平面図]



側面図

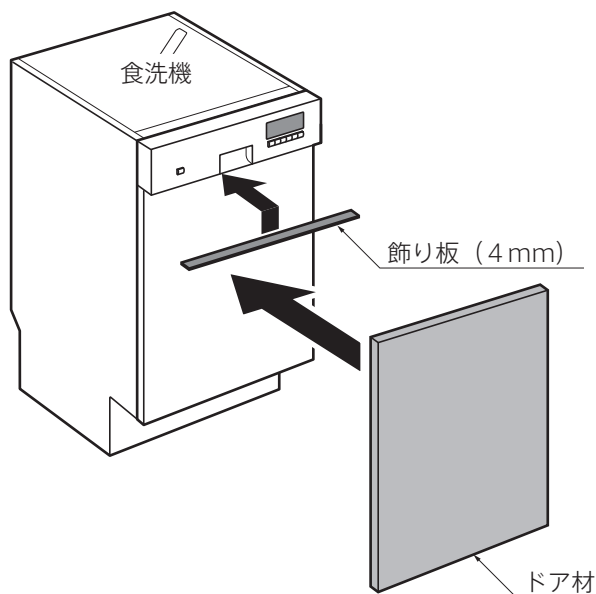


4 オプションの取り付け-8

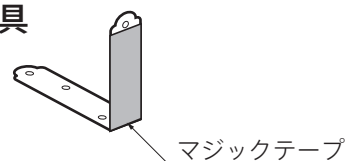
A E G 食器洗い乾燥機用配管隠しカバー

- ① A E G 食洗機に飾り板（4 mm）とドア材を取付けます。
※取り付け方法については、付属の「設置マニュアル」参照。
- ② L 金具に付属のマジックテープを貼り付けます。
- ③ スペーサーの前面（配管隠しカバー（前面側）取付面）に両面テープ（市販品）を貼り付け、背面（L 金具取付面）にもう片方のマジックテープを貼り付けます。
- ④ 前面側の配管隠しカバー裏面にスペーサーを取付けます。
先ほど貼り付けた両面テープにて端から 120 mm の位置に貼り付けます。
- ⑤ 背面側の配管隠しカバーを床面の指定位置に固定します。
背面側の配管隠しカバーを⊕バインドタッピンねじ（3. 5 × 16）6 か所または、両面テープ（市販品）にて床面に固定します。
- ⑥ A E G 食洗機を設置します。
- ⑦ L 金具を床面の指定位置に両面テープ（市販品）または付属のタッピンねじにて固定します。
- ⑧ 前面側の配管隠しカバーを背面側の配管隠しカバーにかぶせるようにして、前面側の配管隠しカバーに取付けたスペーサーのマジックテープ（2 か所）を L 金具のマジックテープに貼り付け、床面は両面テープ（2 か所）にて固定します。

67



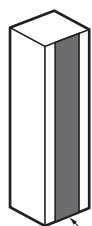
■ L 金具



■ スペーサー

前面

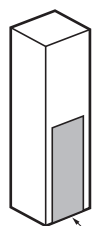
（配管隠しカバー（前面側）
取付面）



両面テープ（市販品）

背面

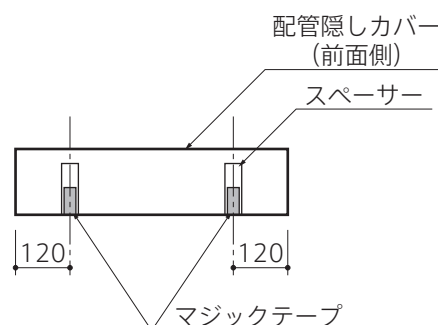
（L 金具取付面）

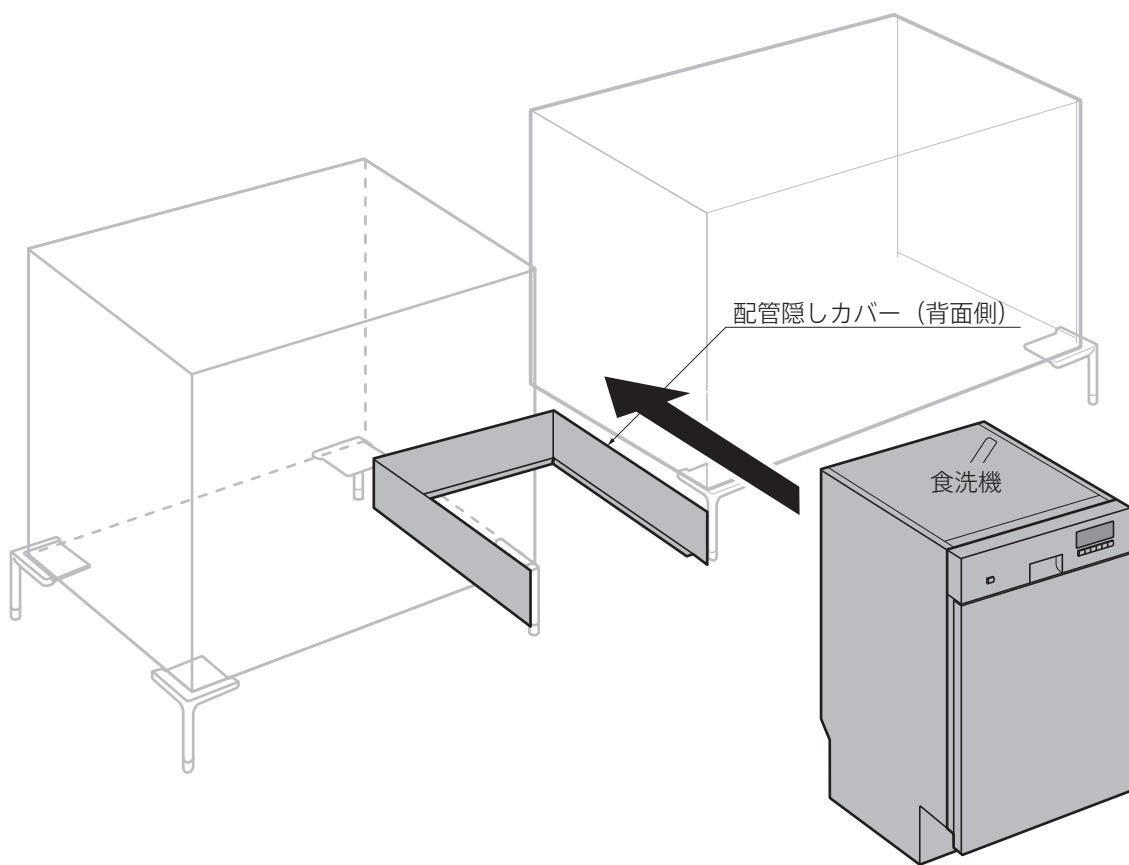


マジックテープ

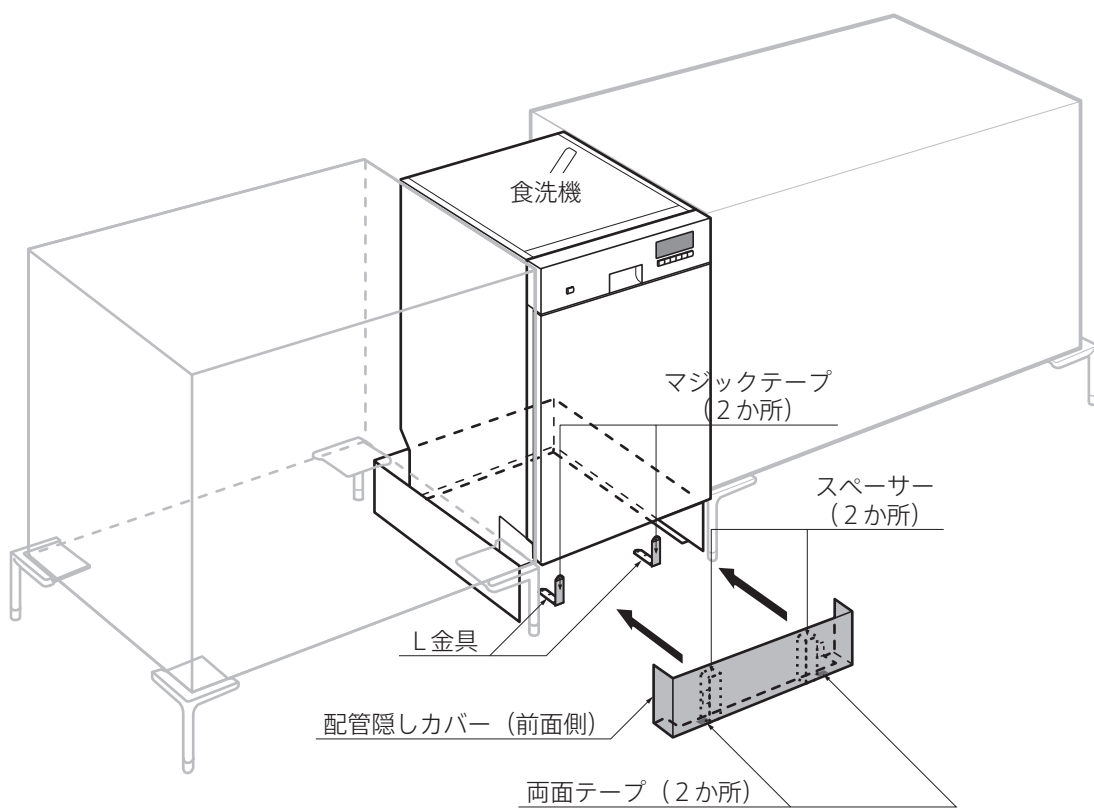
■ 配管隠しカバー（前面側）

スペーサー取付位置（平面図）





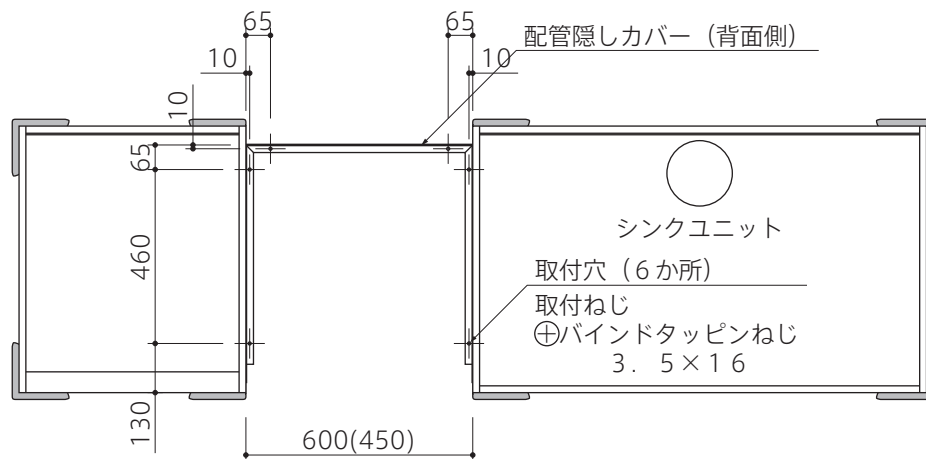
68



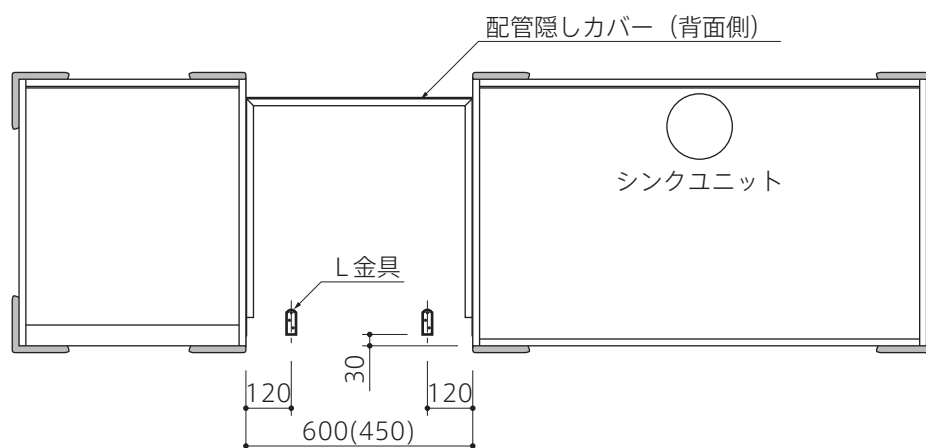
4 オプションの取り付け-9

配管隠しカバー（背面側）納まり図 [平面図]

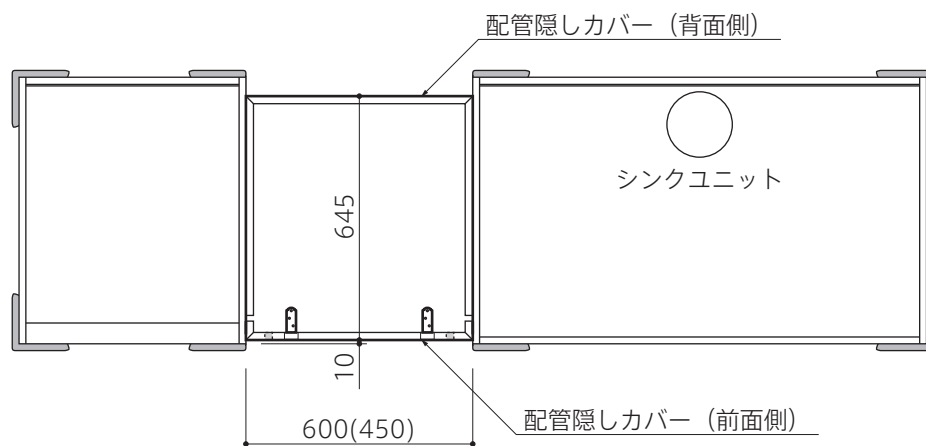
※取付穴は配管隠しカバー（背面側）を取付ねじで固定する場合を示す。



L金具納まり図 [平面図]



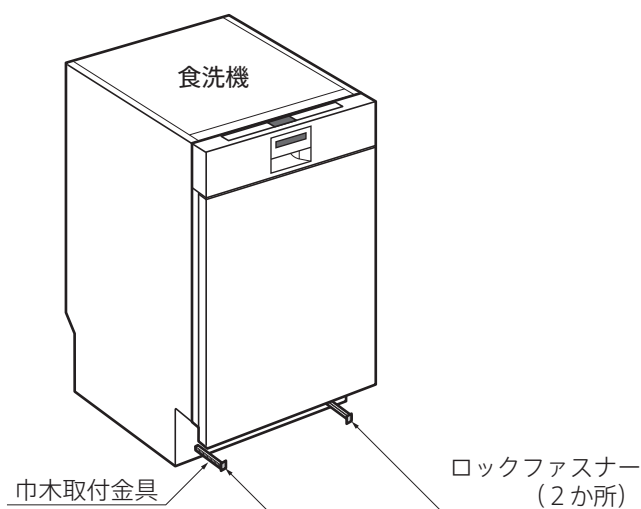
配管隠しカバー（前面側）納まり図 [平面図]



4 オプションの取り付け-10

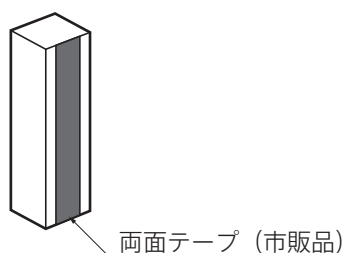
GAGGENAU食器洗い乾燥機用配管隠しカバー

- ①巾木取付金具に付属のロックファスナーを貼り付けます。
- ②スペーサーの片面に両面テープ（市販品）を貼り付けます。
- ③前面側の配管隠しカバー裏面の指定位置にスペーサーを取付けます。
先ほど貼り付けた両面テープにて間口600の場合は端から65mm、間口450の場合は端から55mmの位置に貼り付けます。
- ④背面側の配管隠しカバーを床面の指定位置に固定します。
背面側の配管隠しカバーを⊕バインドタッピンねじ（3.5×16）6か所または、両面テープ（市販品）にて床面に固定します。
- ⑤GAGGENAU食洗機を設置します。
- ⑥巾木取付金具に貼り付けたロックファスナー（2か所）のはく離紙をめくります。
前面側の配管隠しカバーを背面側の配管隠しカバーにかぶせるようにして、前面側の配管隠しカバーに取付けたスペーサー（2か所）を巾木取付金具のロックファスナーに貼り付け、床面は両面テープ（2か所）にて固定します。



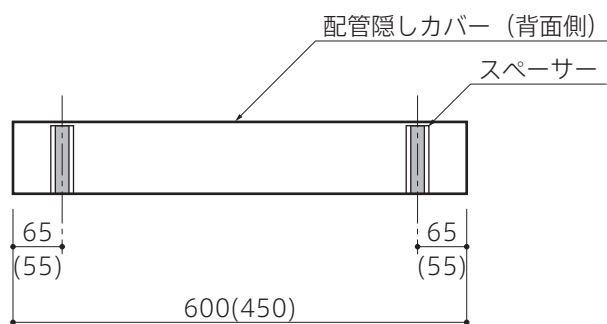
71

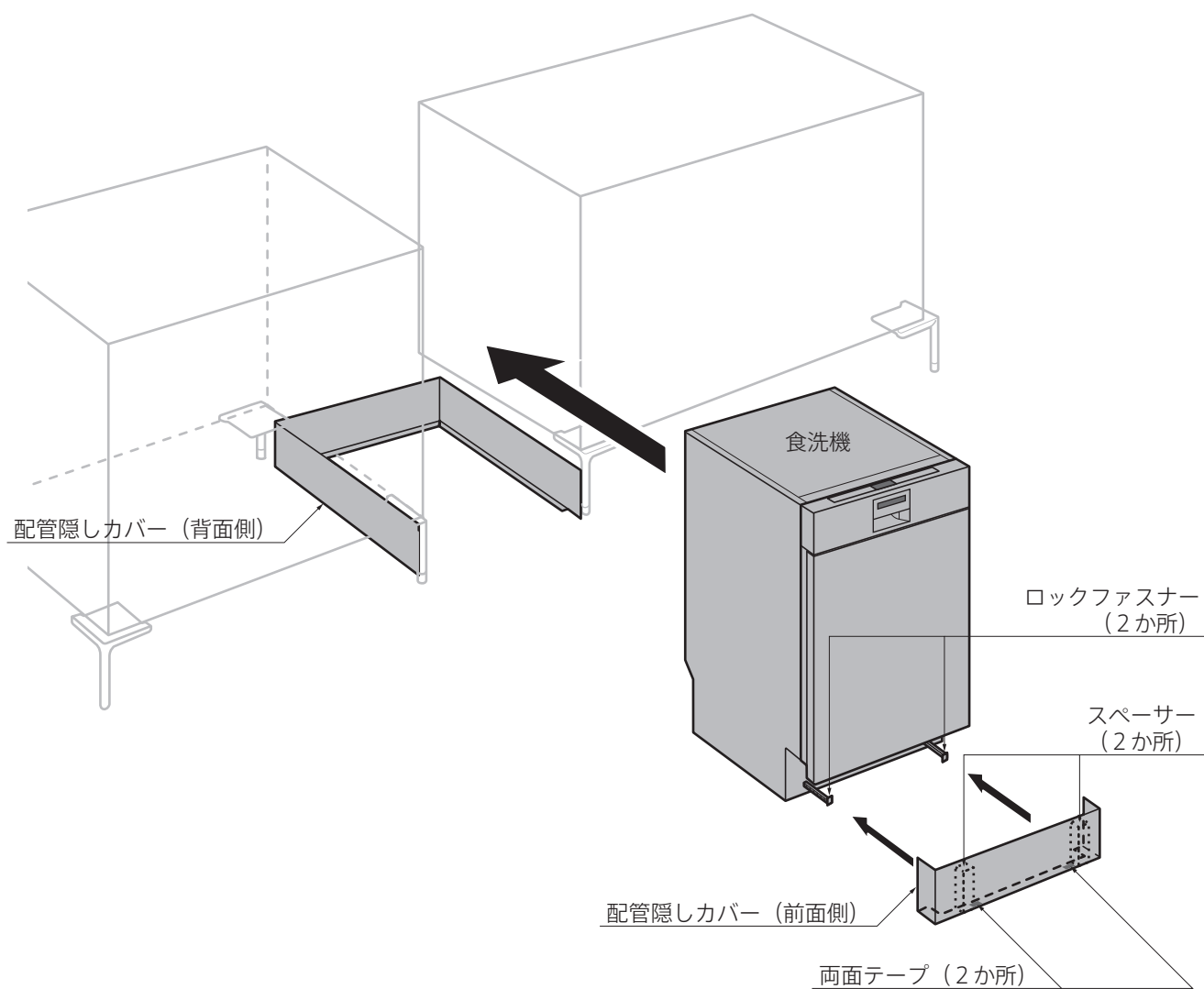
■スペーサー



■配管隠しカバー（前面側）

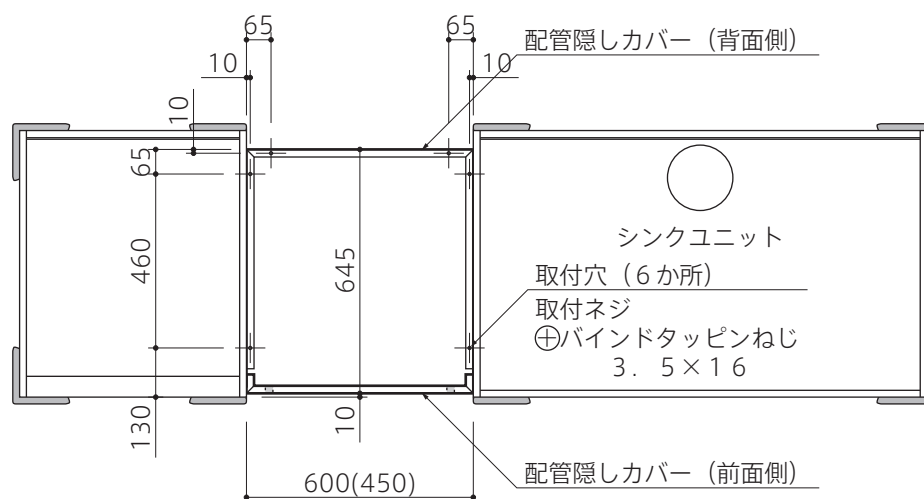
スペーサー取付位置（平面図）





納まり図

※取付穴は配管隠しカバー（背面側）を取付ねじで固定する場合を示す。



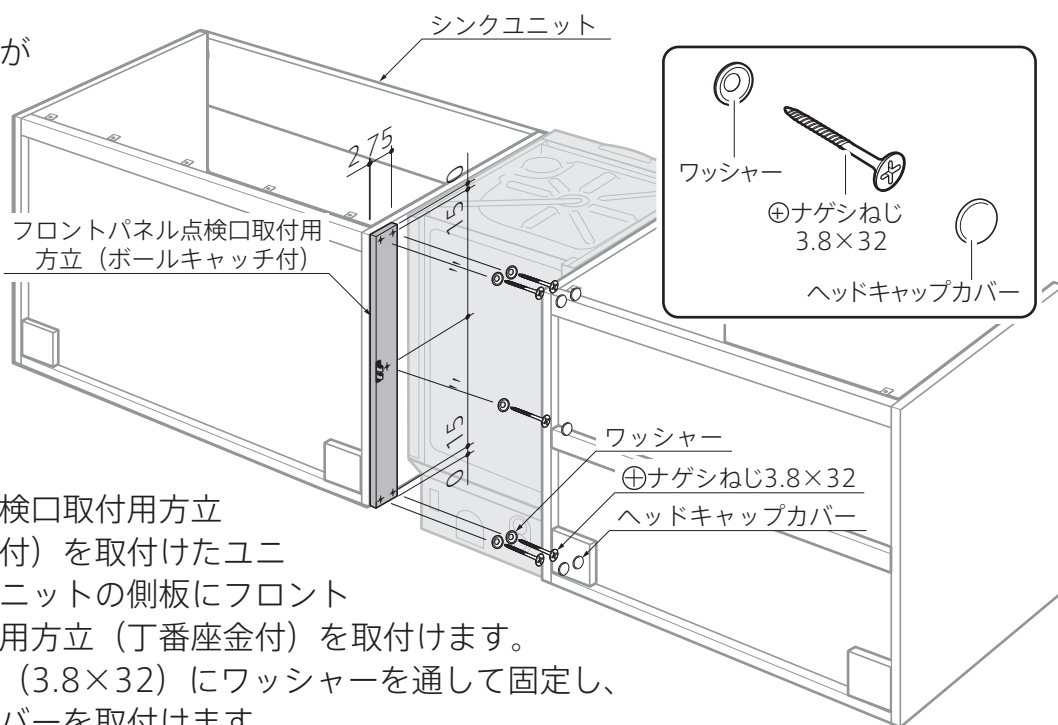
4 オプションの取り付け-11

フロントパネル点検口 (ミール/AEG/GAGGENAU食洗機の場合)

①隣接するユニットの側板にフロントパネル点検口取付用方立 (ボールキャッチ付) を取付けます。

⊕ナゲシねじ (3.8×32) にワッシャーを通して固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

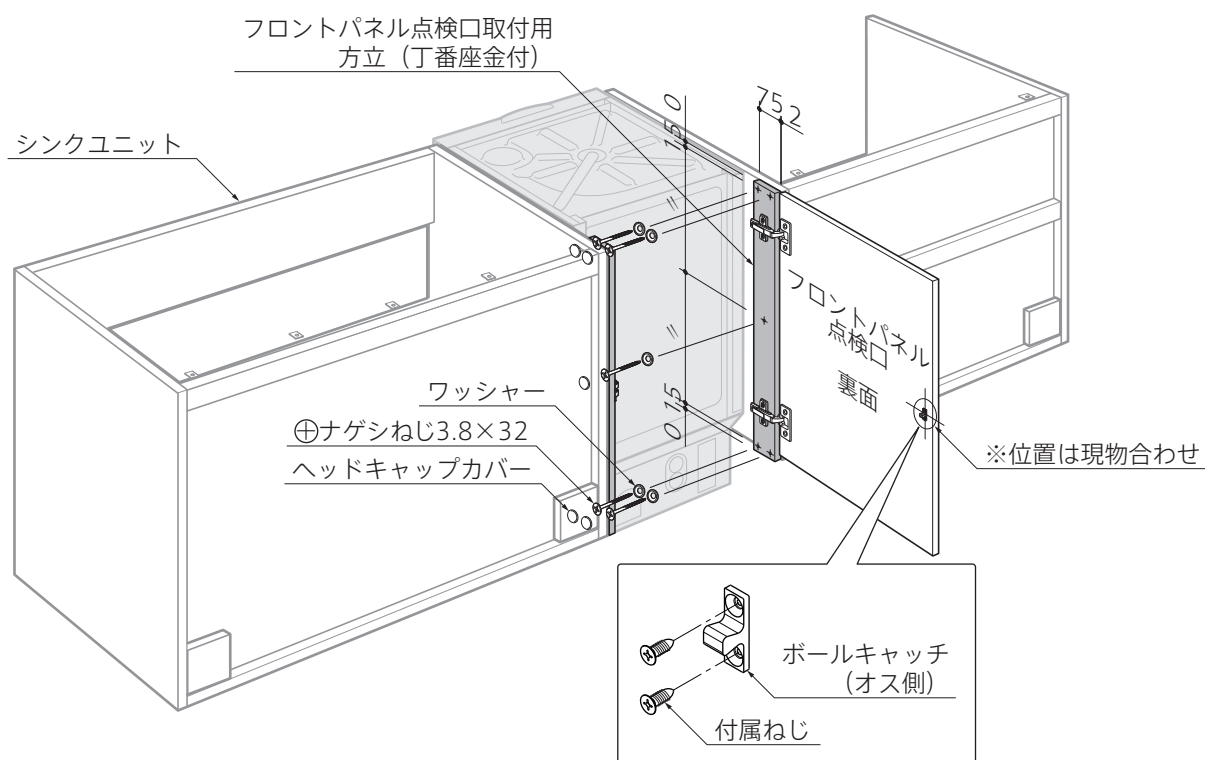
※隣接するユニットがシンクユニットの場合、シンクユニットの側板に取付けます。



②フロントパネル点検口取付用方立 (ボールキャッチ付) を取付けたユニットと反対側のユニットの側板にフロントパネル点検口取付用方立 (丁番座金付) を取付けます。

⊕ナゲシネジねじ (3.8×32) にワッシャーを通して固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

③フロントパネル点検口にボールキャッチ (オス側) を取付けます。ボールキャッチ (メス側) の位置に合わせて、付属ねじにてボールキャッチ (オス側) を取付けます。

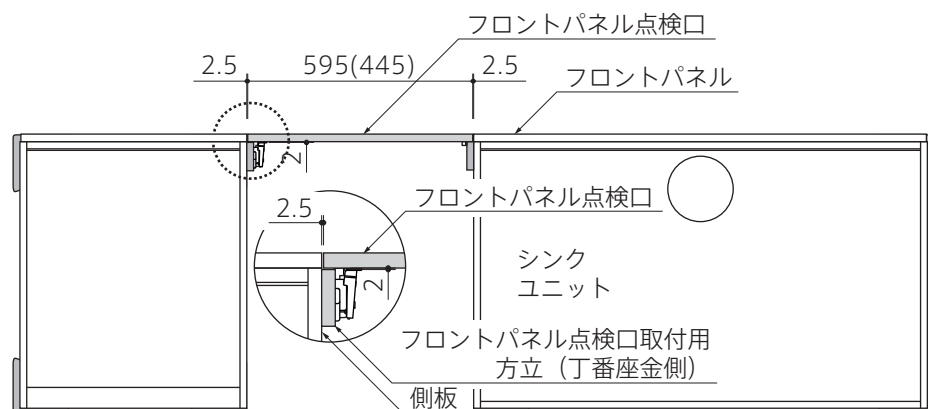


フロントパネル点検口の調整

フロントパネル点検口の目地を確認し、調整を行います。
「丁番の調整を行う」(52ページ参照)

納まり図

平面図

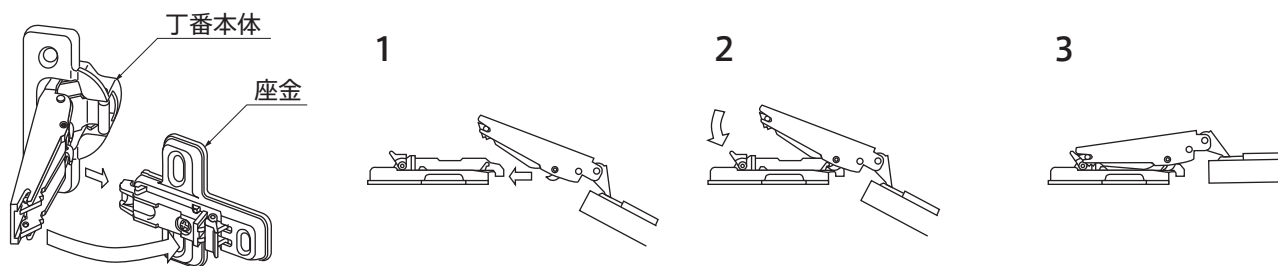


丁番の取り付け、取り外し

フロントパネル点検口の取り付け、取り外し方法を説明します。

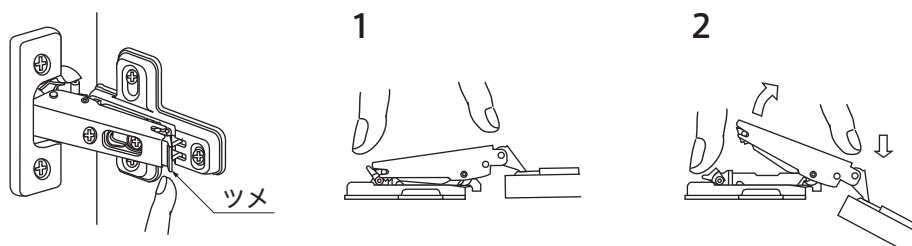
■取り付け

- ・ 丁番本体を座金に取り付けます。



■取り外し

- ・ ツメを押して座金から丁番本体を取り外します。

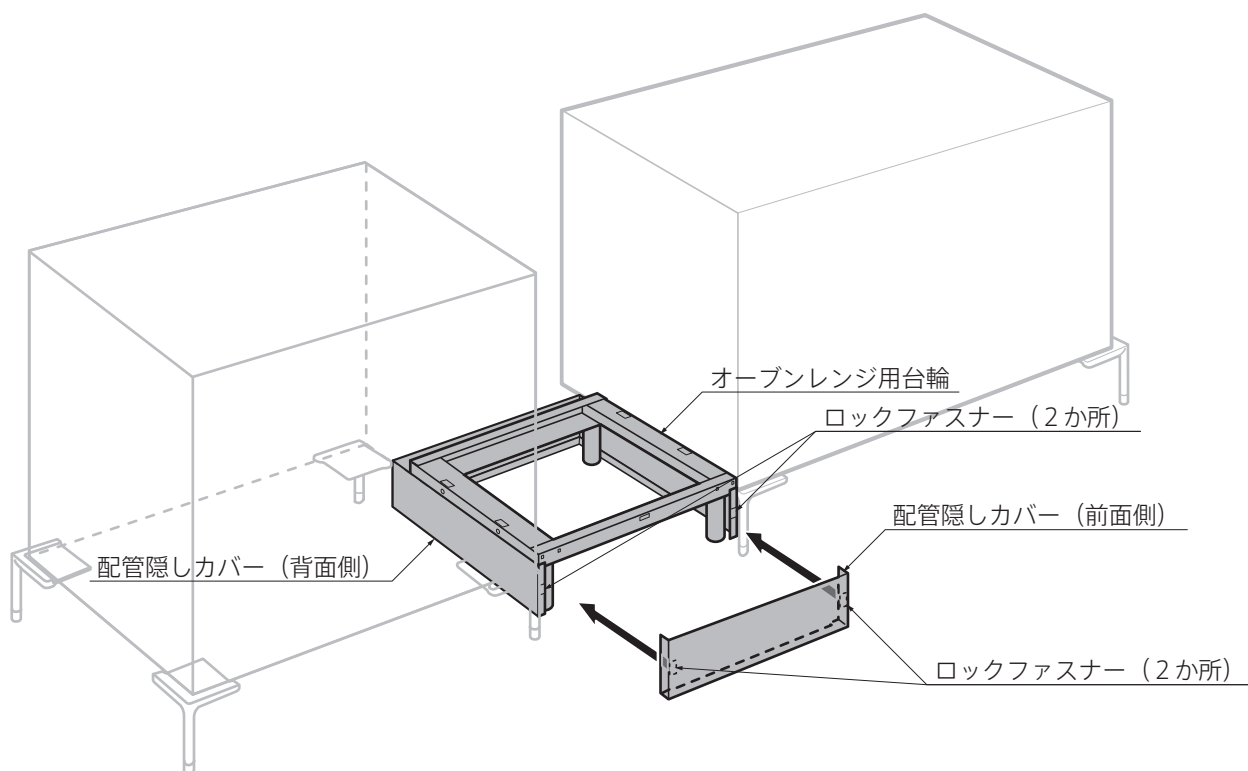


4 オプションの取り付け-12

ガスオーブンレンジ用配管隠しカバー

- ①背面側の配管隠しカバーを床面の指定位置に固定します。
背面側の配管隠しカバーを⊕バインドタッピンねじ（3.5×16）4か所または、両面テープ（市販品）にて床面に固定します。
- ②オープンレンジ用台輪を設置します。
- ③前面側と背面側の配管隠しカバーのロックファスナー（2か所）の位置を合わせ、前面から押さえて固定します。

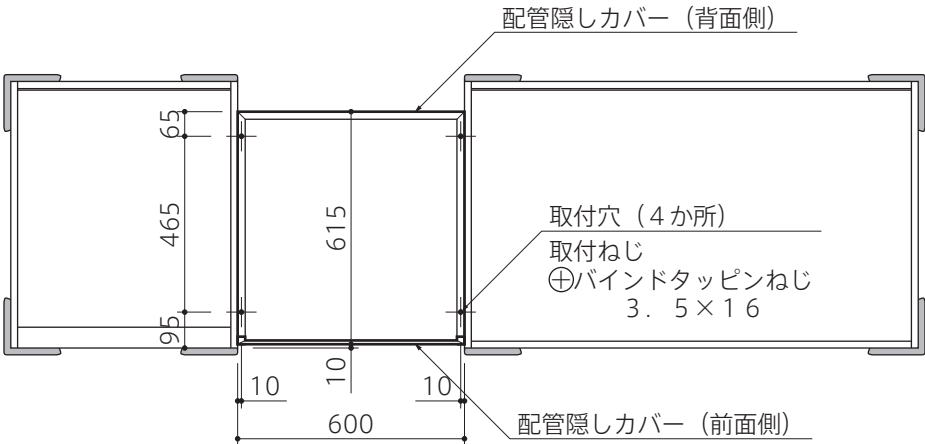
75



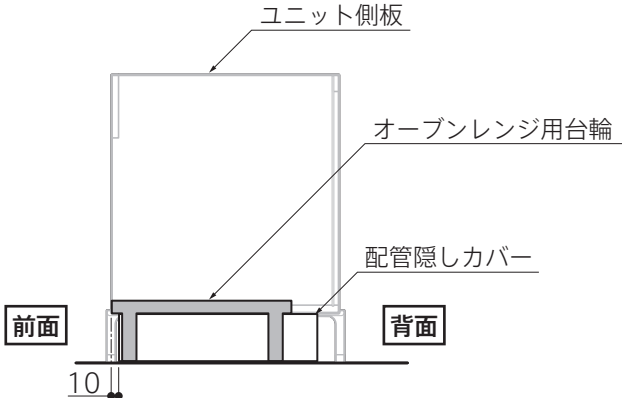
納まり図

平面图

※取付穴は配管隠しカバー（背面側）を取付ねじで固定する場合を示す。



側面図



4 オプションの取り付け-13

日立電気オーブンレンジ用配管隠しカバー

A F仕様【H=100】の場合

- ①背面側の配管隠しカバー両側外面（隣のユニットに接する面）の上端に両面テープ（市販品：幅10mm）を貼ります。（図1）
- ②背面側の配管隠しカバーを図2の位置に設置し、両面テープ貼り付け位置を押さえて、隣接するユニットに固定します。
- ③オーブンを設置します。（付属の「取付設置説明書」に従ってください。）

図1

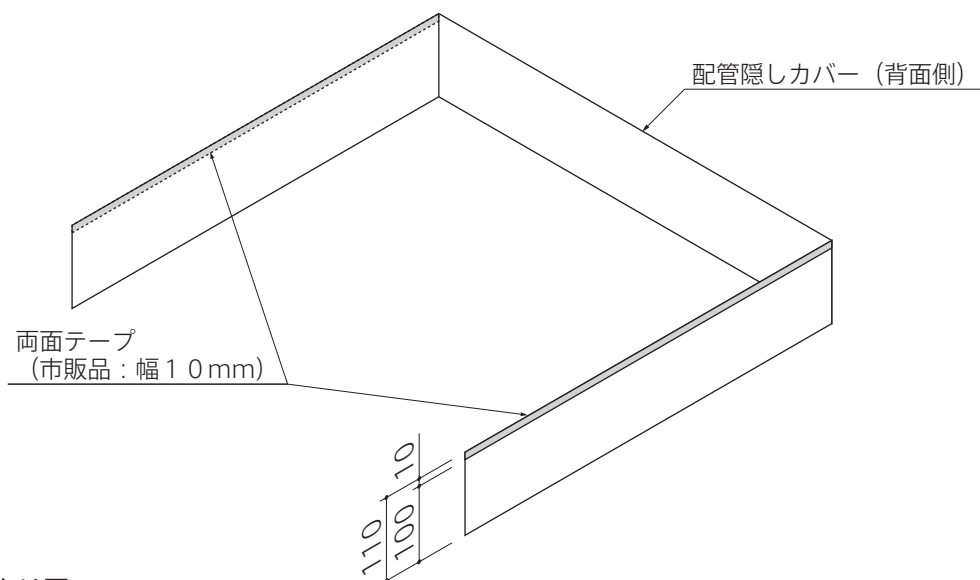
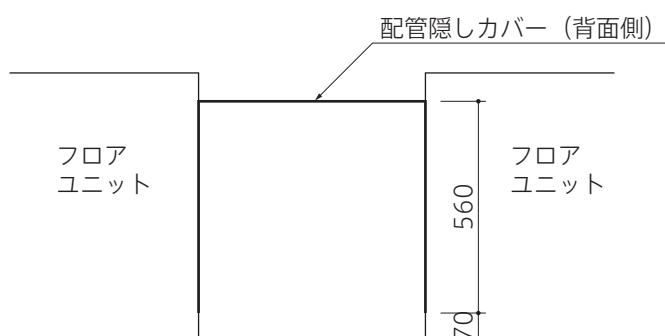
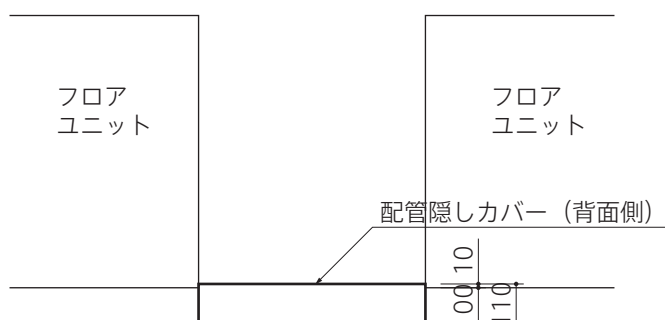


図2 納まり図

平面図



正面図



AF仕様【H=150】の場合

- ①台輪の3方（前面、両側面）に両面テープ（市販品）を貼り、配管隠しカバーを固定します。（図1）
- ②配管隠しカバーを貼り付けた台輪を図2の位置に設置します。
- ③オーブンを設置します。（付属の「取付設置説明書」に従ってください。）

図1

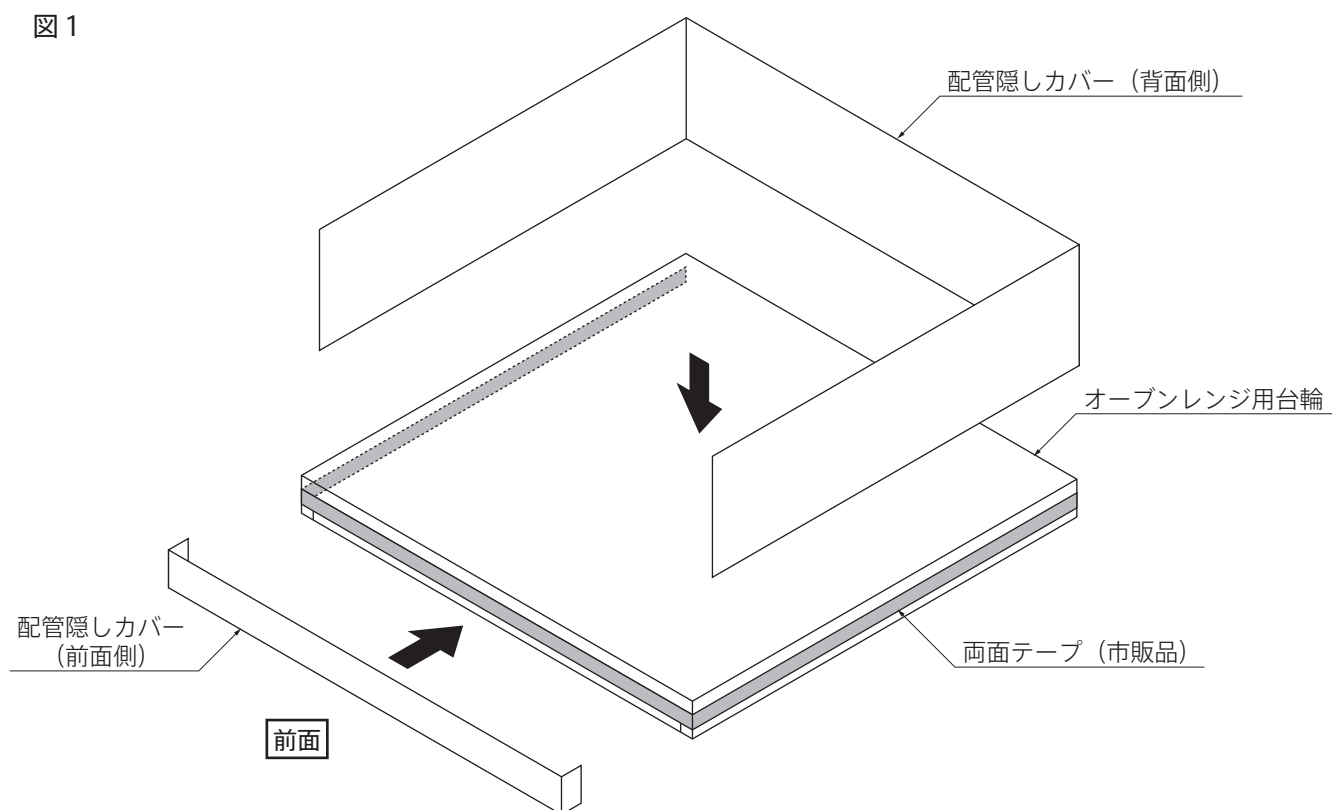
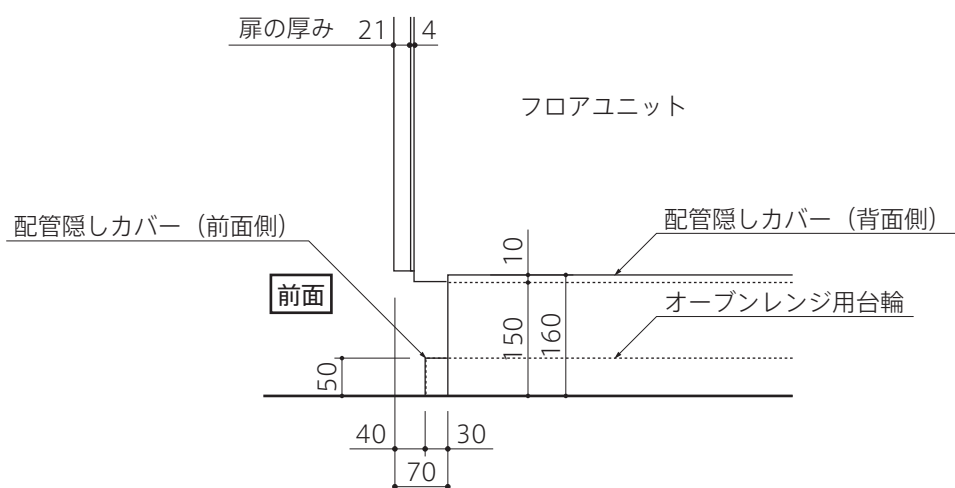


図2 納まり図

側面図



4 オプションの取り付け-14

コンセントの取り付け (オープンユニットの場合)

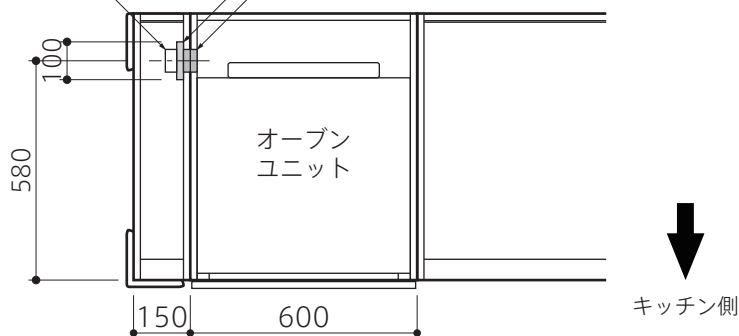
オープンユニットを設置する場合、両隣には必ずユニットが必要です。
オープンユニットの隣にミーレ/AEG/GAGGENAU食洗機も設置可能です。
ただし、オープンユニットとミーレ/AEG/GAGGENAU食洗機がユニットに挟まれるように設置してください。
オープンユニットの隣にプルオープン食洗機ユニットを設置する場合、反対側の隣にユニットを設置してください。

◎間口150mmユニットの場合

平面図

アースターミナル付接地コンセント
単相250V 15A/20A (設備工事)
推奨: パナソニック WKS294 [露出型]

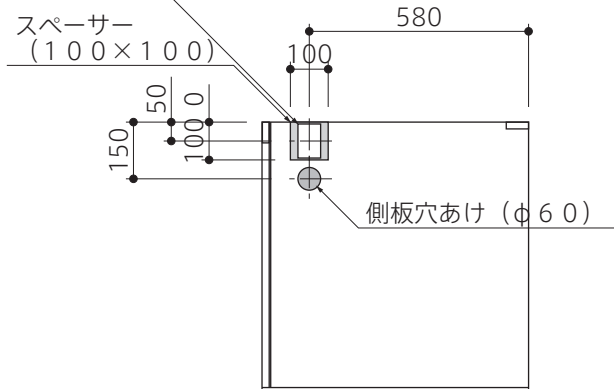
スペーサー
(100×100)
側板穴あけ (φ60)



正面図

アースターミナル付接地コンセント
単相250V 15A/20A (設備工事)
推奨: パナソニック WKS294 [露出型]

アースターミナル付接地コンセント
単相250V 15A/20A (設備工事)
推奨: パナソニック WKS294 [露出型]



スペーサー
(100×100)

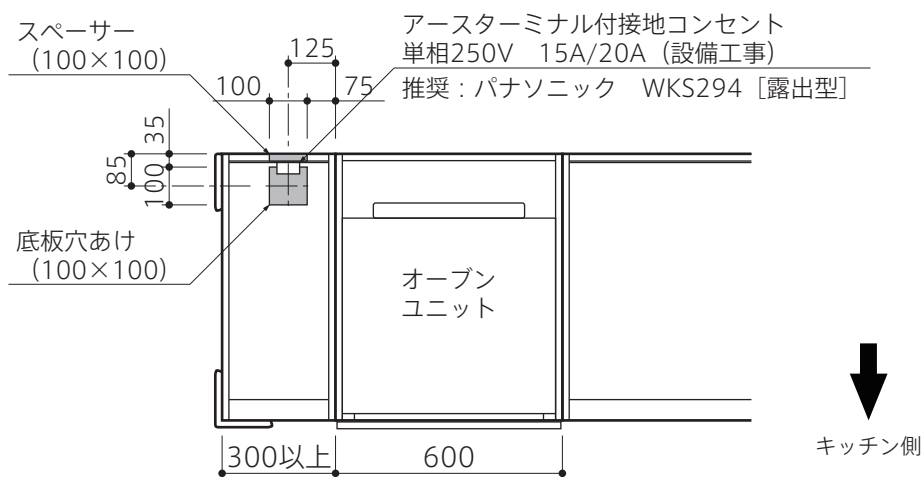
側板穴あけ (φ60)

オープン
ユニット

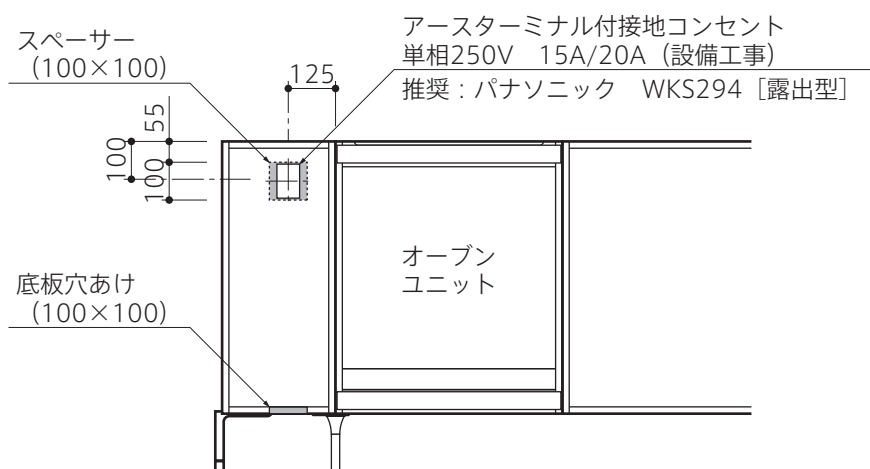
単位 :mm

◎間口300mm以上のユニットの場合

平面図



正面図



単位 : mm

4 オプションの取り付け-15

分岐ヘッド止水栓

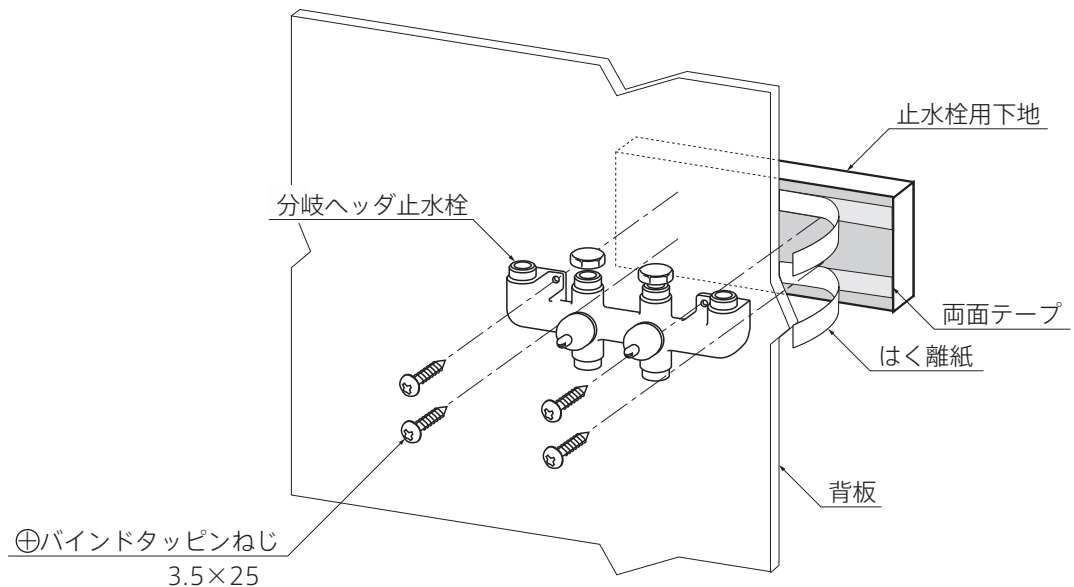
分岐ヘッド止水栓はシングルレバー混合水栓の下側に取り付けます。

シングルレバー混合水栓 2 本および B I G 水栓 2 本の場合、ユニット中央に取り付けます。

※水栓から分岐ヘッド止水栓まで配管が届かない場合は、金属可とう管（別途準備品）等で接続してください。

■取り付け方法

- ①止水栓用下地に両面テープを貼り、ユニットの背板背面に貼ります。
- ②ユニット内から背板をはさみ込むようにして、分岐ヘッド止水栓を
⊕バインドタッピンねじ（3.5×25）にて4か所固定します。



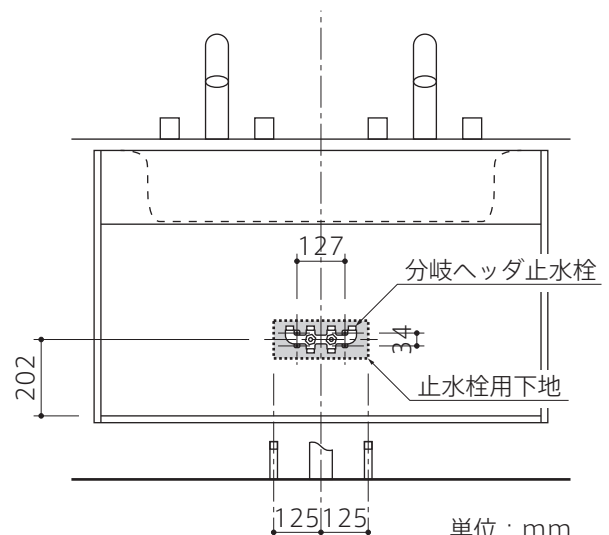
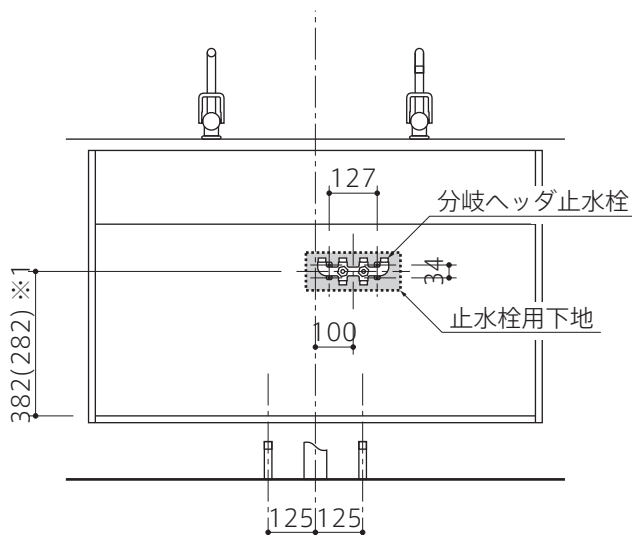
■取り付け位置

※1 () 内寸法は、メタルホース付シングルレバー混合水栓の場合を示す。

B I G 水栓以外の場合

- ・シャワー／ホース／メタルホース付シングルレバー混合水栓
- ・シングルレバー混合水栓

B I G 水栓の場合



単位：mm

ベース固定用下地

※ B I G 水栓を取り付ける場合、シンクユニットにベース固定用下地を取り付けます。

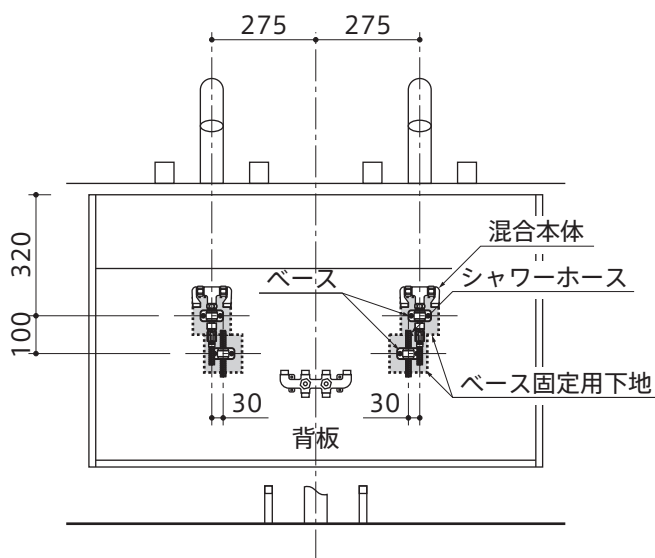
■取り付け方法

- ・シンクユニットの背板背面にベース固定用下地をあて、背板をはさみ込むようにしてユニット内からベースを取り付けます。

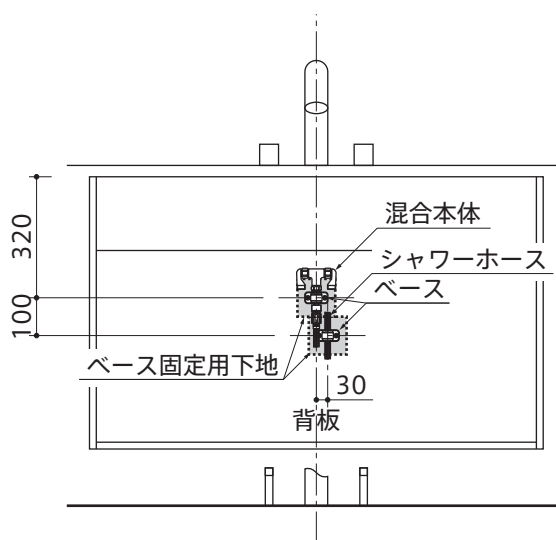
※水栓の取り付けについては、付属の「取付・設置説明書」を参照ください。

■取り付け位置

B I G 水栓 2 本の場合



B I G 水栓 1 本の場合



単位：mm

4 オプションの取り付け-16

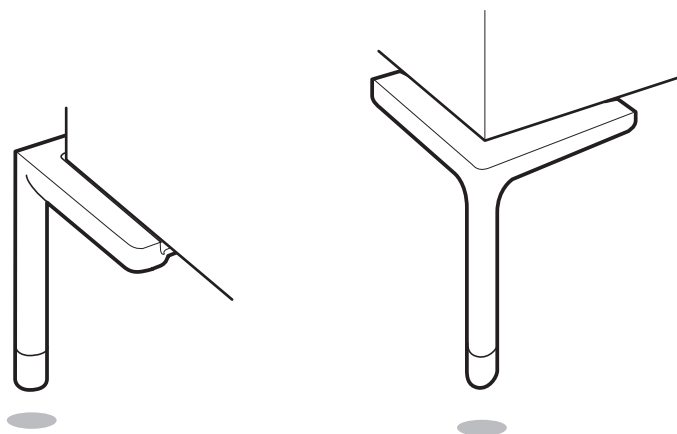
転倒防止パーツ

脚に取り付けることで、転倒を防止することができます。

※ペニンシュラタイプ、オンウォールタイプの場合、壁に接する側は転倒防止パーツは取り付けません。

①ユニットの設置位置を決めます。

②脚の設置位置にマーキングします。



③ユニットの位置をずらします。

④付属のねじで転倒防止パーツを床面に取り付けます。

※コンクリート床、石床の場合、床面に開けた固定用穴の位置に合わせて取り付けます。

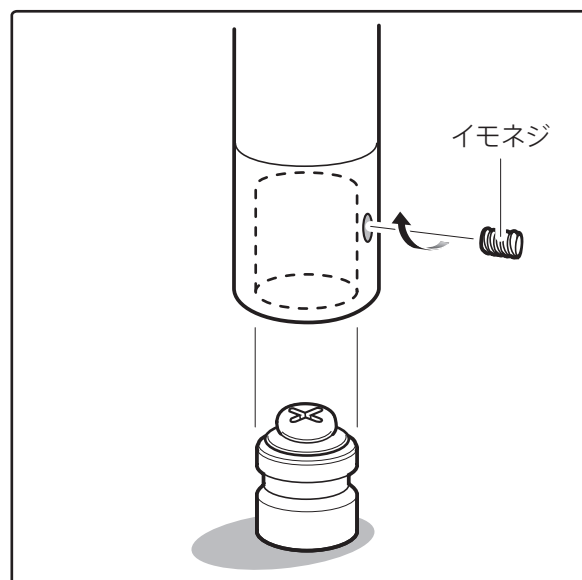
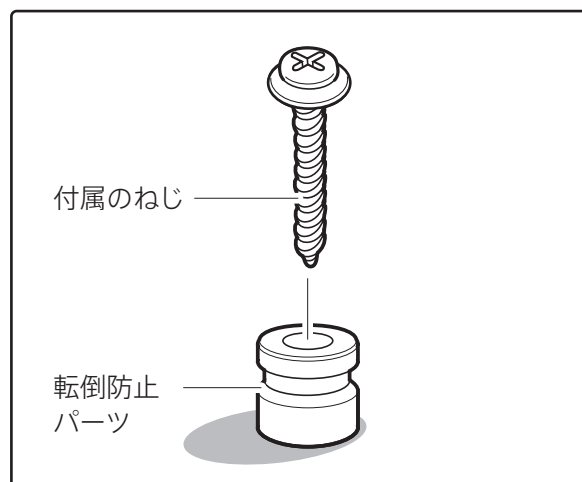
⑤ユニットを持ち上げ、転倒防止パーツが脚におさまるようにセットします。

⑥レベル調整を行います。(26 ページ参照)

※アジャスト部分の固定穴が見えないように内側へ向けてください。

※脚本体とアジャスト部分の形状がそろるように調整してください。

⑦脚の固定穴からイモネジにて転倒防止パーツに固定します。

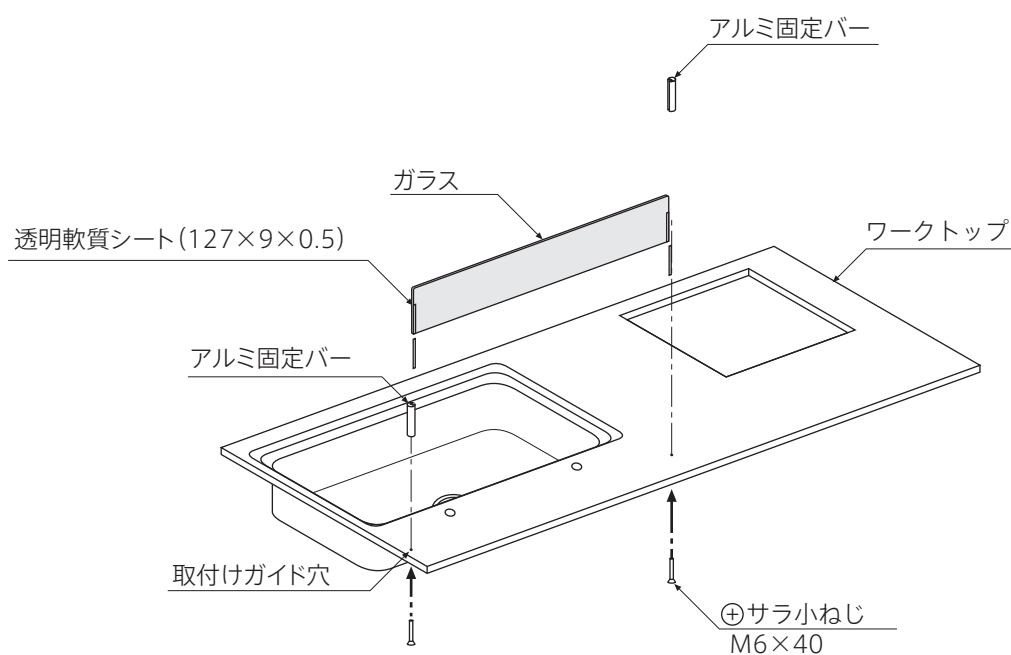


ガラスバックガード

ワークトップをユニットへ固定する前に、ガラスバックガードの取り付けを行います。

- ①左右どちらか一方のアルミ固定バーを、⊕サラ小ねじ（M6×40）にてワークトップの指定位置（取付けガイド穴位置）に固定します。
- ②ガラスの両端両面の下側に、透明軟質シートを合わせて貼り付けます。
- ③手順①で取り付けしたアルミ固定バーの溝部分に、軟質シートを貼ったガラスを垂直に差し込みます。
- ④もう片方のアルミ固定バーをガラスに差し込み、⊕サラ小ねじ（M6×40）にてワークトップの指定位置（取付けガイド穴位置）に固定します。

※ガラスが差し込めない場合は、軟質シートを片面にしてください。



4 オプションの取り付け-17

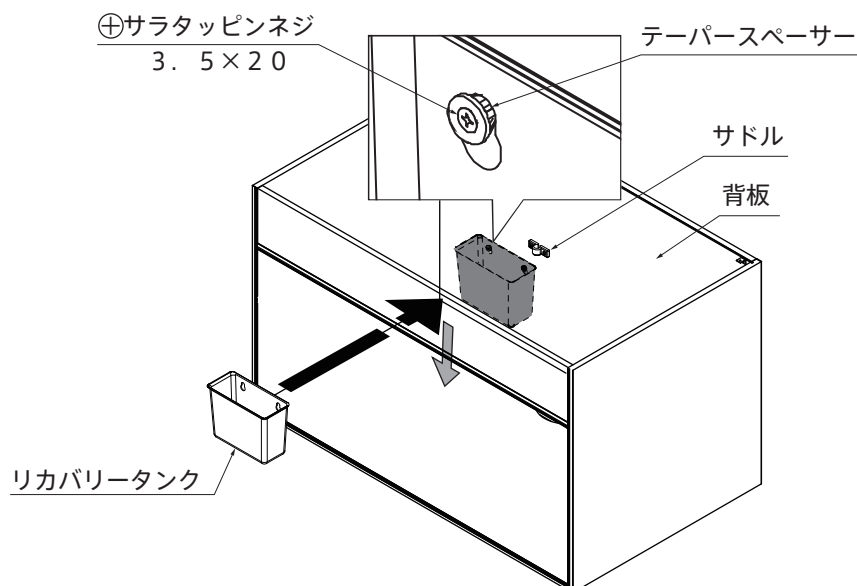
リカバリータンク

リカバリータンクはシャワー付シングルレバー混合水栓、a r w a 製メタルホース付シングルレバー混合水栓、B I G 水栓の下側に取り付けます。

■取り付け方法

- ・ 背板の指定位置にテーパースペースー 2 個を⊕サラタッピンネジ 3. 5 × 2 0 にて取り付けます。
- ・ リカバリータンクは、穴下部分にテーパースペースーを引っ掛けて下方方向に下げ、穴上部分にテーパースペースーを収めて固定します。
- ・ サドルはホースの水栓本体側を固定します。取付位置はリカバリータンク端上部付近へ⊕トラスタッピンネジ 4. 0 × 1 6 （2 本）で取り付けます。（B I G 水栓を除く）

※サドル位置はシャワーを出し入れした際にホースがリカバリータンク内に収まるように調整して取付けてください。



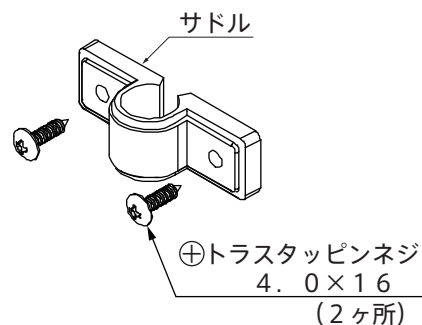
リカバリータンク取付詳細図

⊕サラタッピンネジ
3. 5 × 2 0
(2 ヶ所)

テーパースペースー
(2 ヶ所)

リカバリータンク

サドル取付詳細図

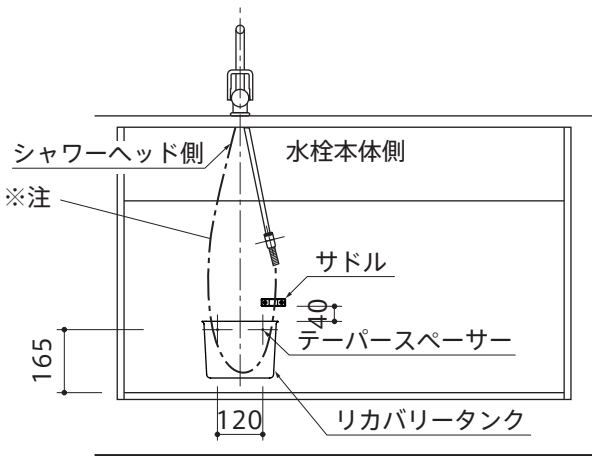
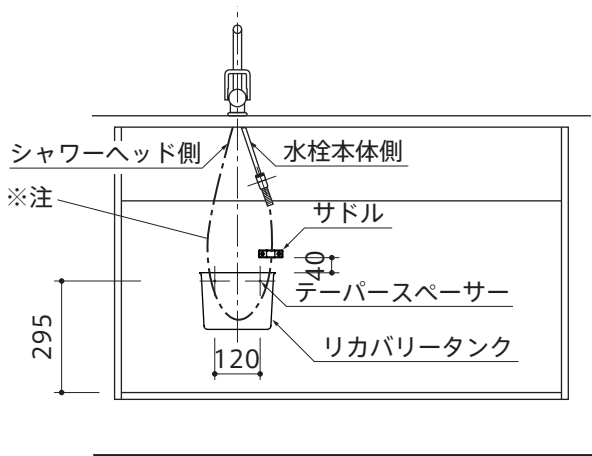


■取り付け位置

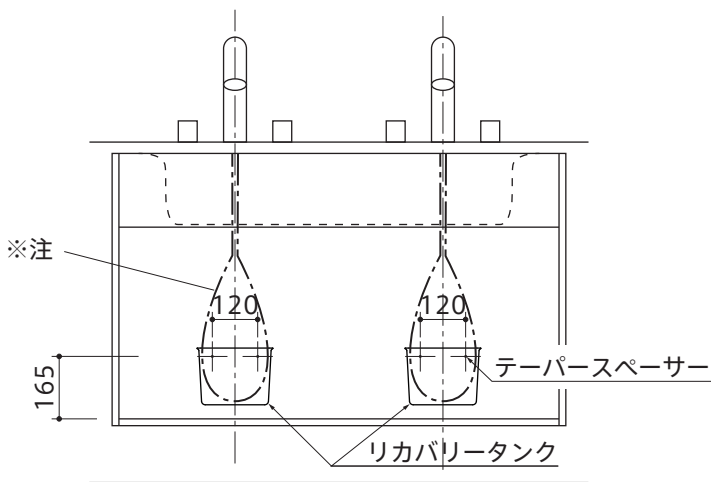
※注 ホースのねじれが無いことを確認してください。

B I G 水栓以外の場合

- ・ホース付シングルレバー混合水栓
- ・シャワー付シングルレバー混合水栓



B I G 水栓の場合



単位：mm

4 オプションの取り付け-18

把手 (Kartell Rail の場合)

- ・サポート (L : 左側、R : 右側) の内側から十字穴付き小ネジ M4 × 20 (付属) を通し、扉表面の把手取付位置に差し込んで回し、扉裏面に付いている鬼目ナットに締めて固定します。(図 1)

※把手に同梱されているタッピンネジ、アンカーは使用しません。

※十字穴付き小ネジを締めすぎないでください。サポートの破損の原因になります。

- ・イモネジを金属プレートに仮止めし (図 2)、サポートの下穴にイモネジが納まるように金属プレートをサポート内に取付けます。(図 3)

- ・把手本体の上下 (「把手本体側面図」参照) を確認し、差込部分をサポートの奥までしっかり差し込みます。

- ・サポートの下側から六角レンチ (付属) でイモネジを軽く締めて固定します。(図 4)

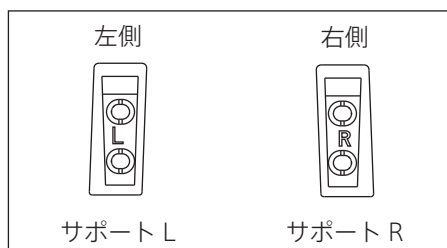
※イモネジは把手本体が動かない程度に軽く締めるだけで固定できます。その場合、サポートの下面からイモネジが飛び出る場合があります。

※イモネジをきつく締めすぎないでください。

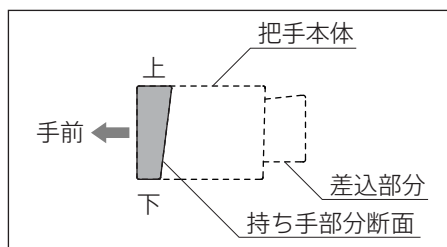
締めすぎるとサポートの上面およびイモネジ周辺がひび割れたり、経年破損の原因になります。

※把手本体の差し込み部分にバリがでている場合、カッターややすりなどで平らになるように削ってください。(「把手本体差込部分のバリ」参照)

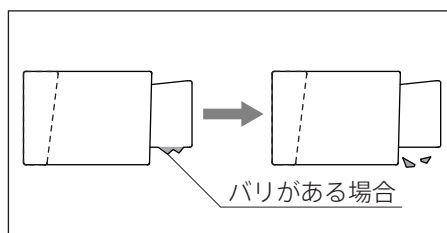
■サポートの L / R



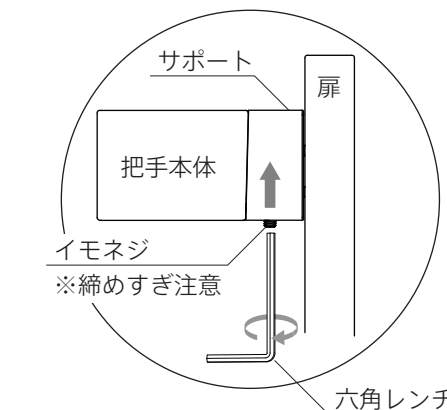
■把手本体側面図



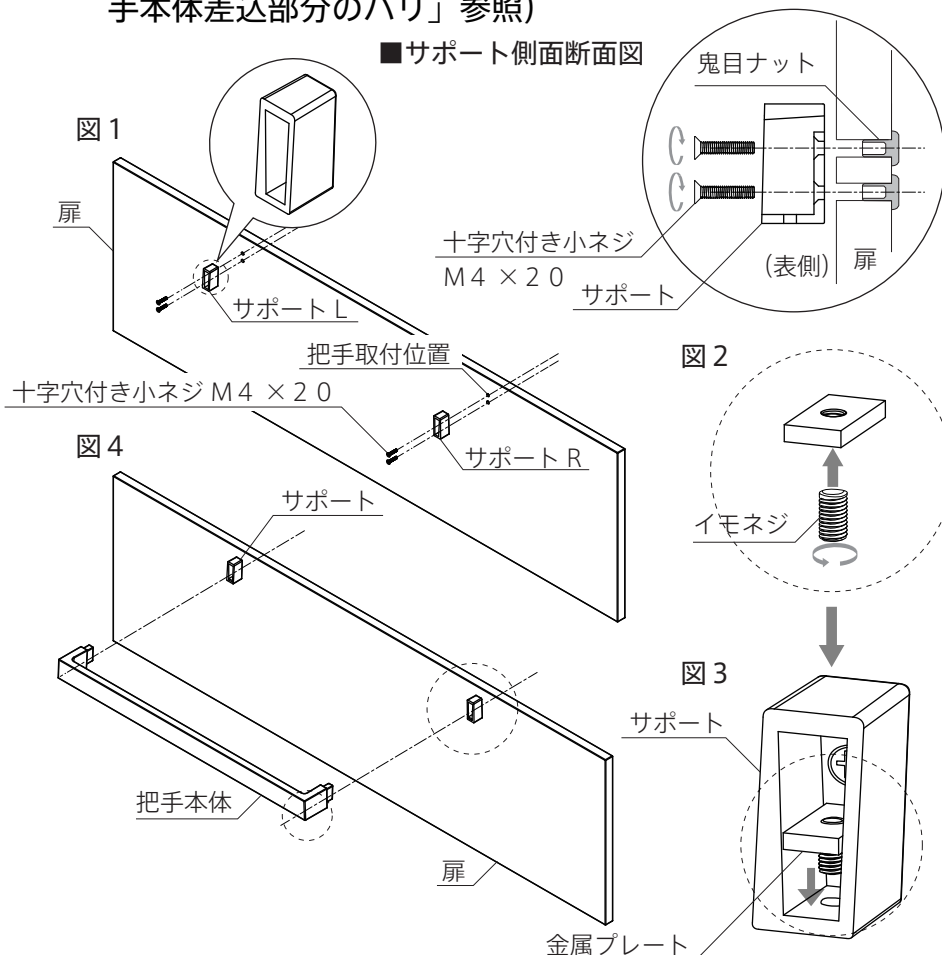
■把手本体差込部分のバリ



■把手本体取付断面図

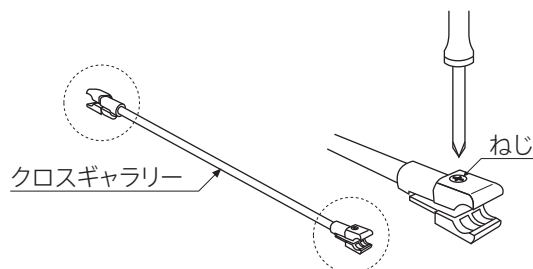


■サポート側面断面図

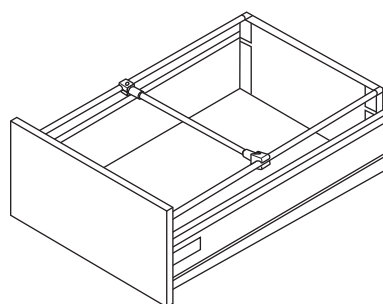
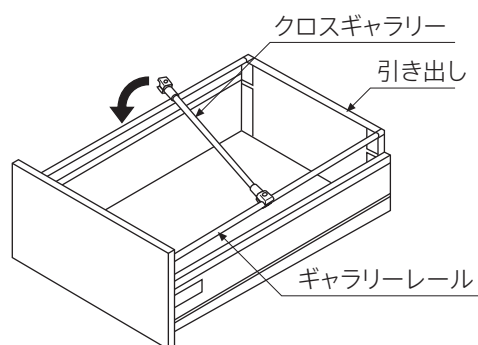


クロスギャラリー

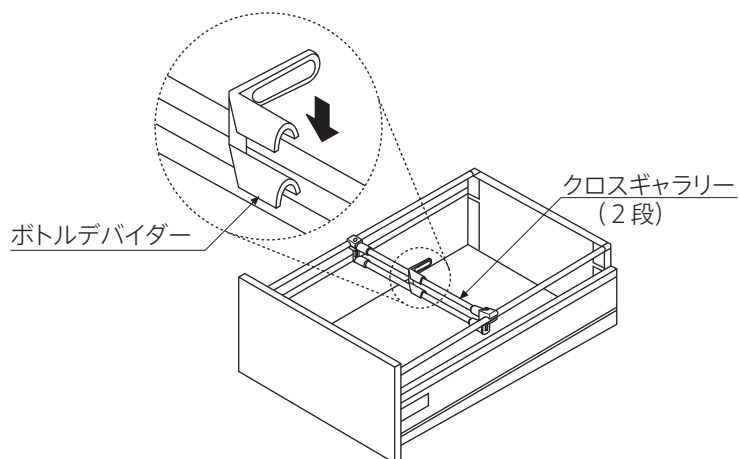
①クロスギャラリーのねじをゆるめます。



②ギャラリーレールにクロスギャラリーを取り付け、ねじを締めます。



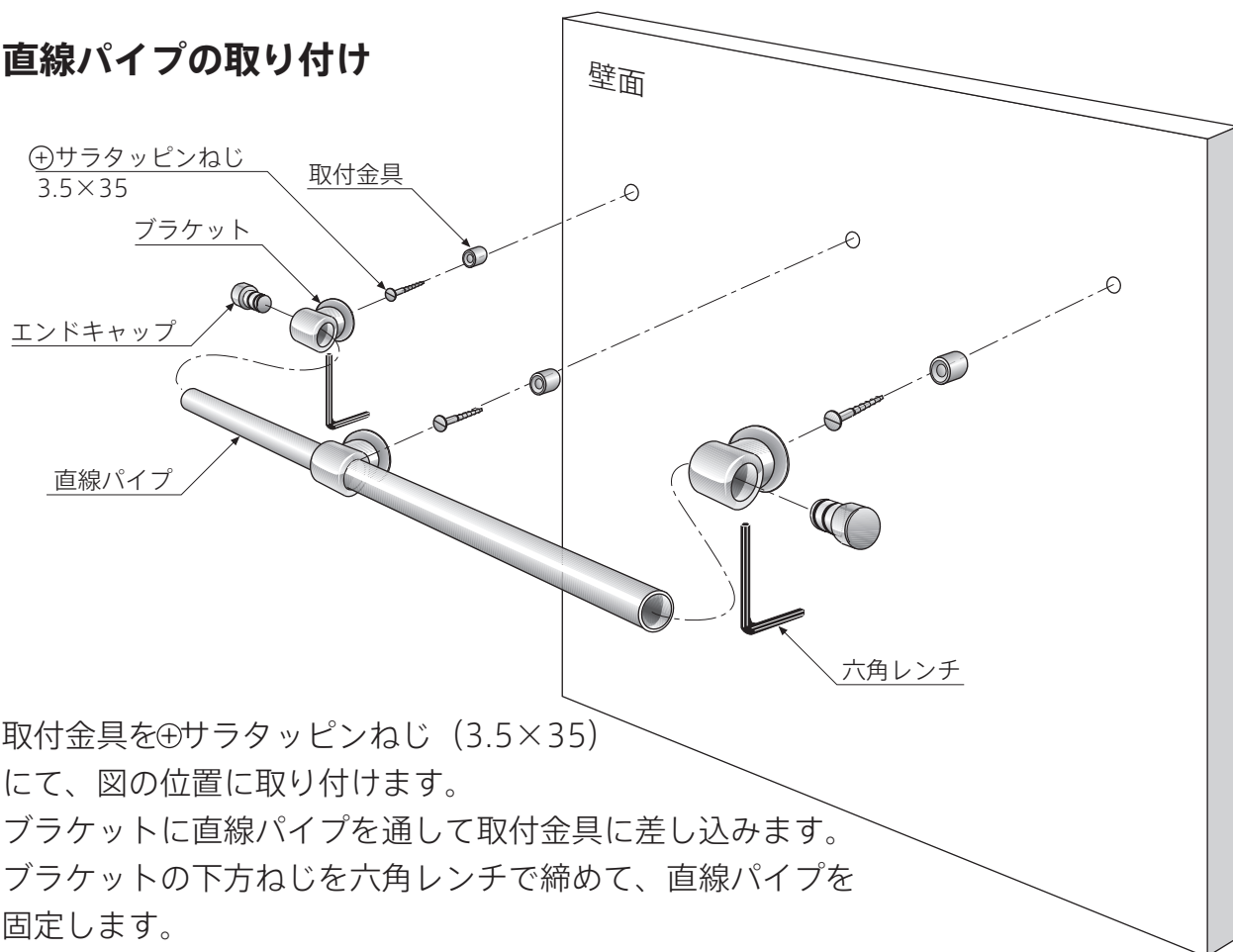
●クロスギャラリー2段タイプの場合は、ボトルデバイダーを上から落とし込むようにクロスギャラリー2段にはめ込みます。



4 オプションの取り付け-19

パイプラックパーツ

■直線パイプの取り付け



- ・ 取付金具を⊕サラタッピンねじ (3.5×35) にて、図の位置に取り付けます。
- ・ ブラケットに直線パイプを通して取付金具に差し込みます。
- ・ ブラケットの下方ねじを六角レンチで締めて、直線パイプを固定します。
- ・ 直線パイプの両端にエンドキャップを取り付けます。

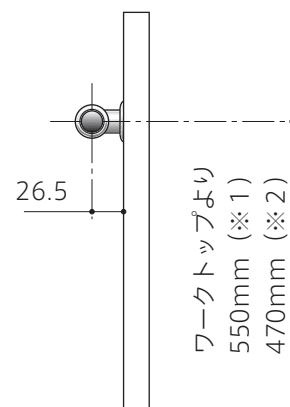
89

■ブラケット数

間口によって中間ブラケットの数が変わります。

間口	ブラケット数
900mm以下	2個 (両端のみ)
901～1500mm	3個
1501～2100mm	4個
2101～3000mm	5個

■取り付け位置

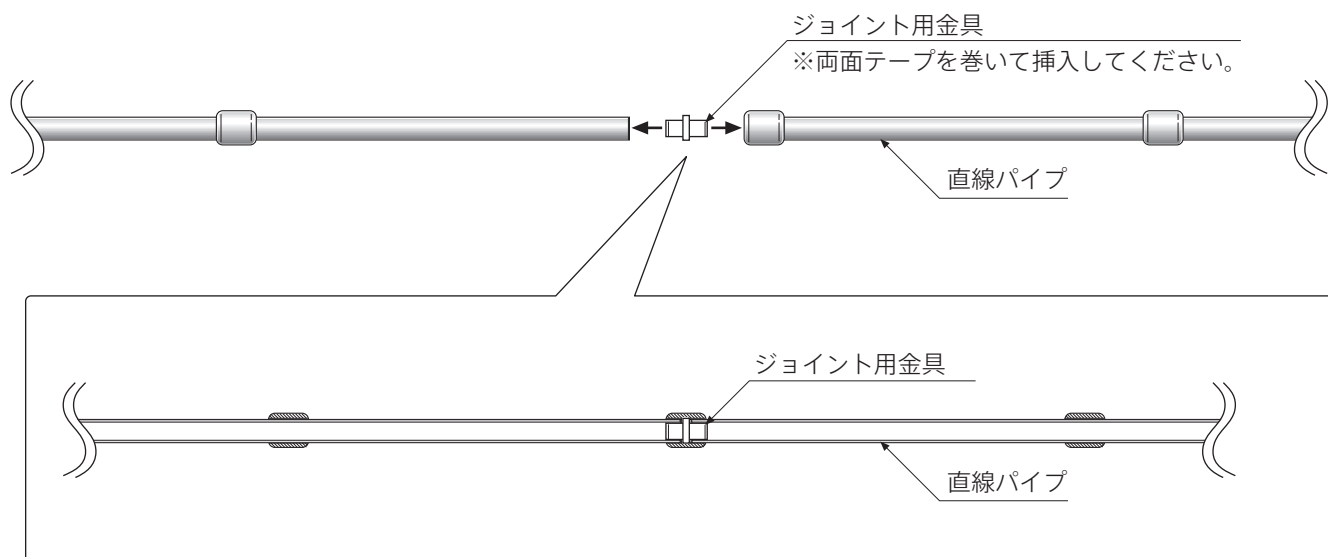


- ※1：ウイングチップ以外のウォールユニット、レンジフードの下に取り付ける場合
- ※2：ウイングチップの下に取り付ける場合

- 中間ブラケットの位置は原則として均等割にしてください。
- ラックの種類により均等割できない場合は、中間ブラケットの位置を考慮してください。
- ブラケット間の最大寸法は900mmです。

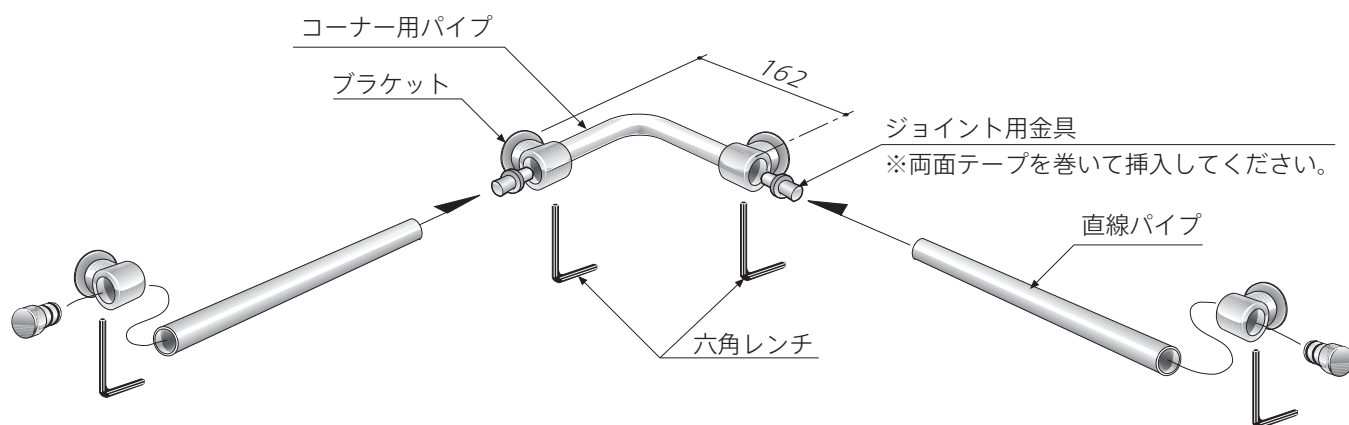
■直線パイプを延長する場合

直線パイプを延長する場合は、ジョイント用金具を使用します。
ジョイント用金具に両面テープを巻いて直線パイプに差し込みます。



■コーナー用パイプを取り付ける場合

- ① 取付金具を⊕サラタツピンねじ (3.5×35) にて取り付けます。
- ② ブラケットにコーナー用パイプを通して取付金具に差し込みます。
- ③ ブラケットの下方ねじを六角レンチで締めて、コーナー用パイプを固定します。
- ④ ジョイント用金具に両面テープを巻いてコーナー用パイプに差し込みます。
- ⑤ 直線パイプをジョイント用金具に差し込み、コーナー用パイプにつなぎます。



4 オプションの取り付け-20

ステンレス照明カバー・照明器具



警告



配線工事は関連する法令、規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。

接続や固定が不完全な場合は、火災の原因になることがあります。

1. 照明カバーを付属の⊕トラスタッピンねじ（3.5×12）にて、図1の位置に取り付けます。

ウォールユニットの場合、ユニット前面（扉を含まない）より0～2mm、側面より0～1mm入った位置に取り付けます。（図1）

ウイングチップの場合、前面より30mm、側面より0～1mm入った位置に取り付けます。（図2）

両面テープ（できるだけ薄いもの）を併用すると、位置合わせが簡単で正確に行えます。

図1

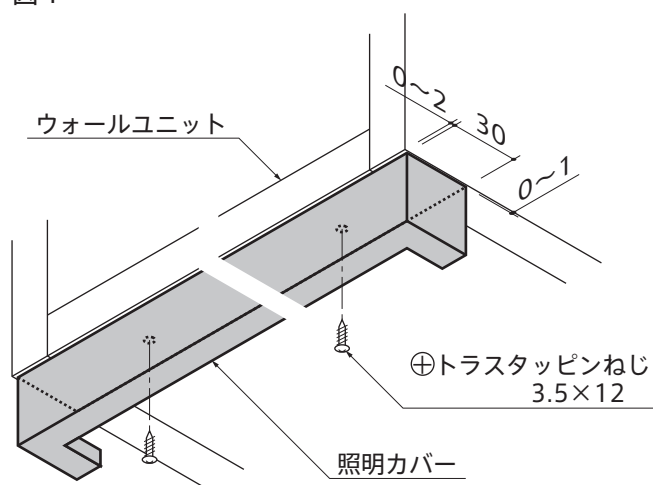


図2

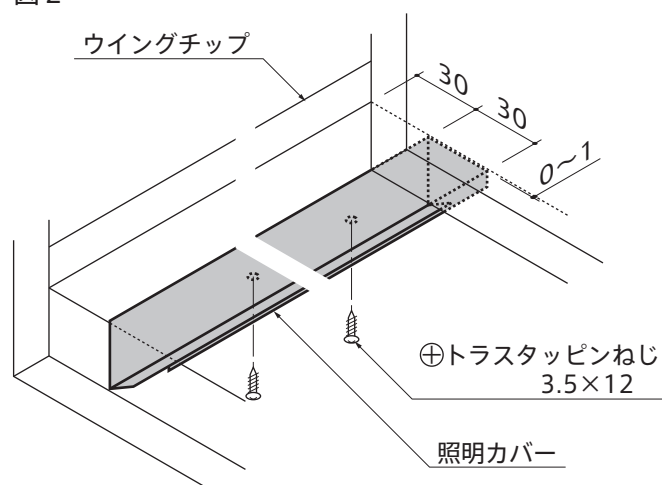
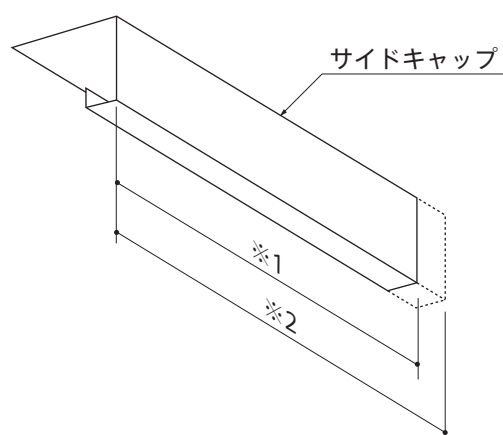


図3



※1 壁面パネル仕様

L = 306mm (ウォールユニットD=350mm用)

L = 361mm (ウォールユニットD=405mm用)

※2 壁付け仕様

L = 318mm (ウォールユニットD=350mm用)

L = 373mm (ウォールユニットD=405mm用)

2. サイドキャップは壁面パネルがある場合と無い場合で長さが異なります。(図3・図4)
- ※ ウイングチップの場合、サイドキャップはありません。(図5)
3. サイドキャップを照明カバーの側面に合わせて付属の⊕トラスタッピンねじ(3.5×12)にて取り付けます。(図6)
- 注意：ウォールユニット側面より0～1mm入った位置に取り付けます。

図4 ウォールユニット

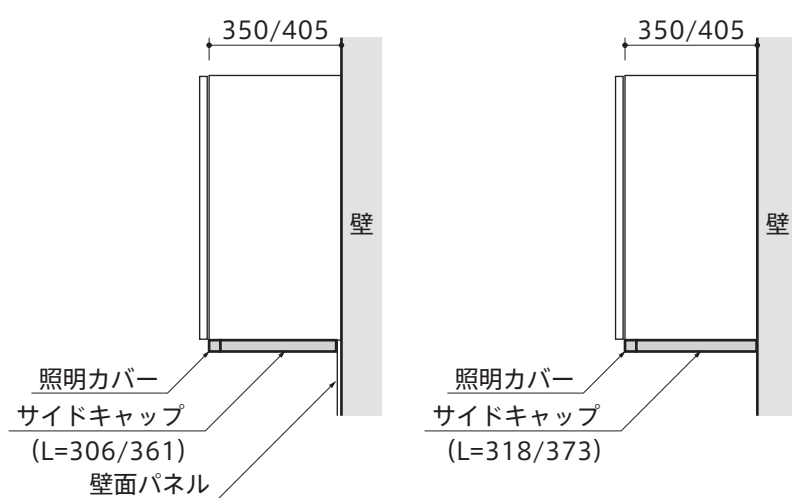


図5 ウイングチップ

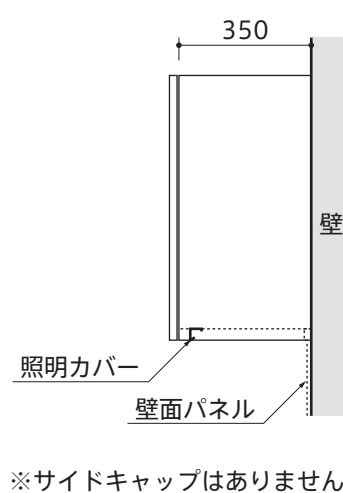
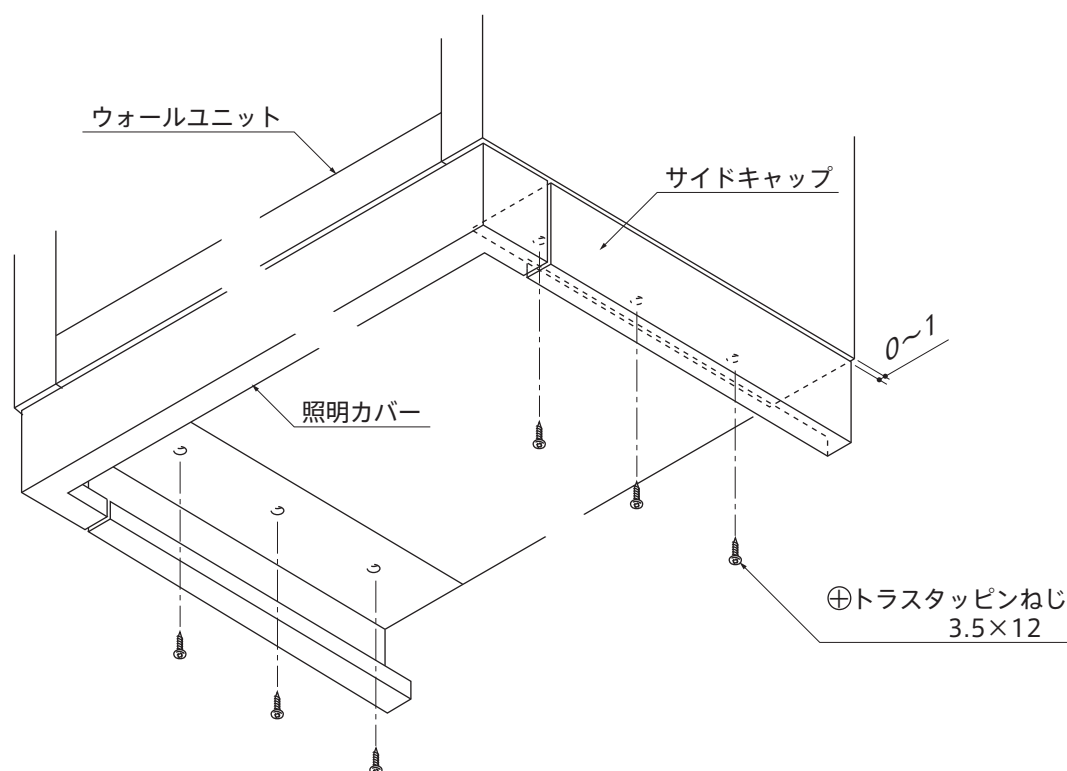


図6

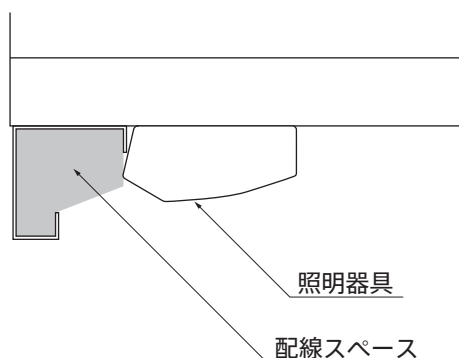


4 オプションの取り付け-21

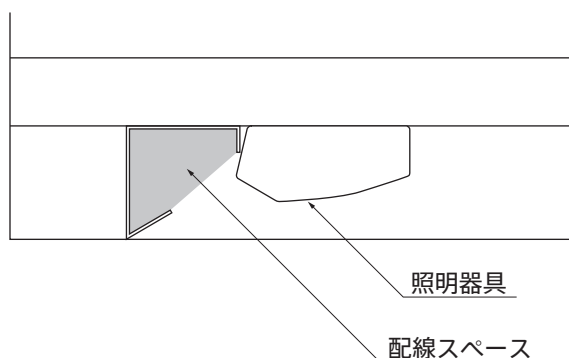
4. 照明器具を付属の⊕トラスタッピンねじ（3. 5×12）にて、図7の位置に取り付けます。
配線モールを使用する場合は、Φ10～Φ12mmの穴あけ後、取付けてください。
穴あけが見える場合は、コーキング等（設備工事）で穴塞ぎをしてください。
なお、電源コード類は照明カバー内の配線スペースに収納してください。
注意：照明器具を2本以上連結する場合、付属の延長コードを使用してください。（図8）

図7

ウォールユニット

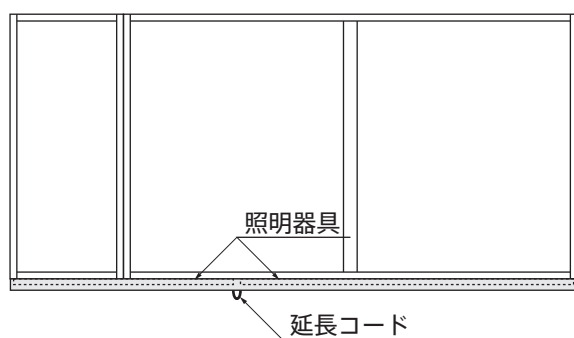


ウイングチップ



93

図8



取付・設置の後に

取付・設置後の確認

- 取付・設置後に、次の内容を確認してください。不具合がある場合は、調整を行ってください。
- ☐ 「安全上のご注意」および本書の内容に従って、正しく取付・設置されているかを再度確認してください。
 - ☐ 水漏れ等異常がないか確認してください。

養生

- ワークトップや扉等損傷する恐れのある部分は、必ず梱包材を利用して養生してください。
- シンク・加熱機器等破損する恐れのある部分は、ビニール等で中が見えるように養生してください。
- 養生に使うテープは、粘着力の弱いマスキングテープ等を使用してください。

清掃と引き渡し

- 表面の汚れやほこりを拭き取り、傷等の損傷がないか確認します。
- 清掃が終了したら、お客様に本書（取付・設置説明書）をお渡しください。

ホルムアルデヒド発散区分

商品名	システムキッチン【CORE】	
ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分および下地部分とも	F☆☆☆☆
表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチンバス工業会 表示指針による	
製造番号	本体に貼り付けの検査証をご確認ください。	
ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	化粧パネル（PB）	F☆☆☆☆
	MDF	F☆☆☆☆
	合板	F☆☆☆☆
	接着剤	F☆☆☆☆

V O C 放散性能

V O C 放散性能	4 V O C 基準適合（木質建材）
表示ルール	「住宅部品V O C 表示ガイドライン」による

※4 V O Cとは、トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンを示します。

トーヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入いただけます。
詳しくは、store.toyokitchen.co.jpをご覧ください。

トーヨーキッチンスタイルカスタマーサービス <https://www.toyokitchen.co.jp/ja/maintenance/>
トーヨーキッチンスタイルカスタマーサービスでは、保証期間内、経過後のメンテナンスやパーツの販売を承ります。

お問い合わせ先

T E L 050 - 3852 - 2392 〈受付時間 平日9:00~18:00（※土・日・祝日・夏期・年末年始は除く）〉
メール tk@toyo1.toyokitchen.co.jp
F A X 0575 - 23 - 1262

スマートフォンからでも
修理／メンテナンスの
依頼ができます。

アクセスはこちらから →

